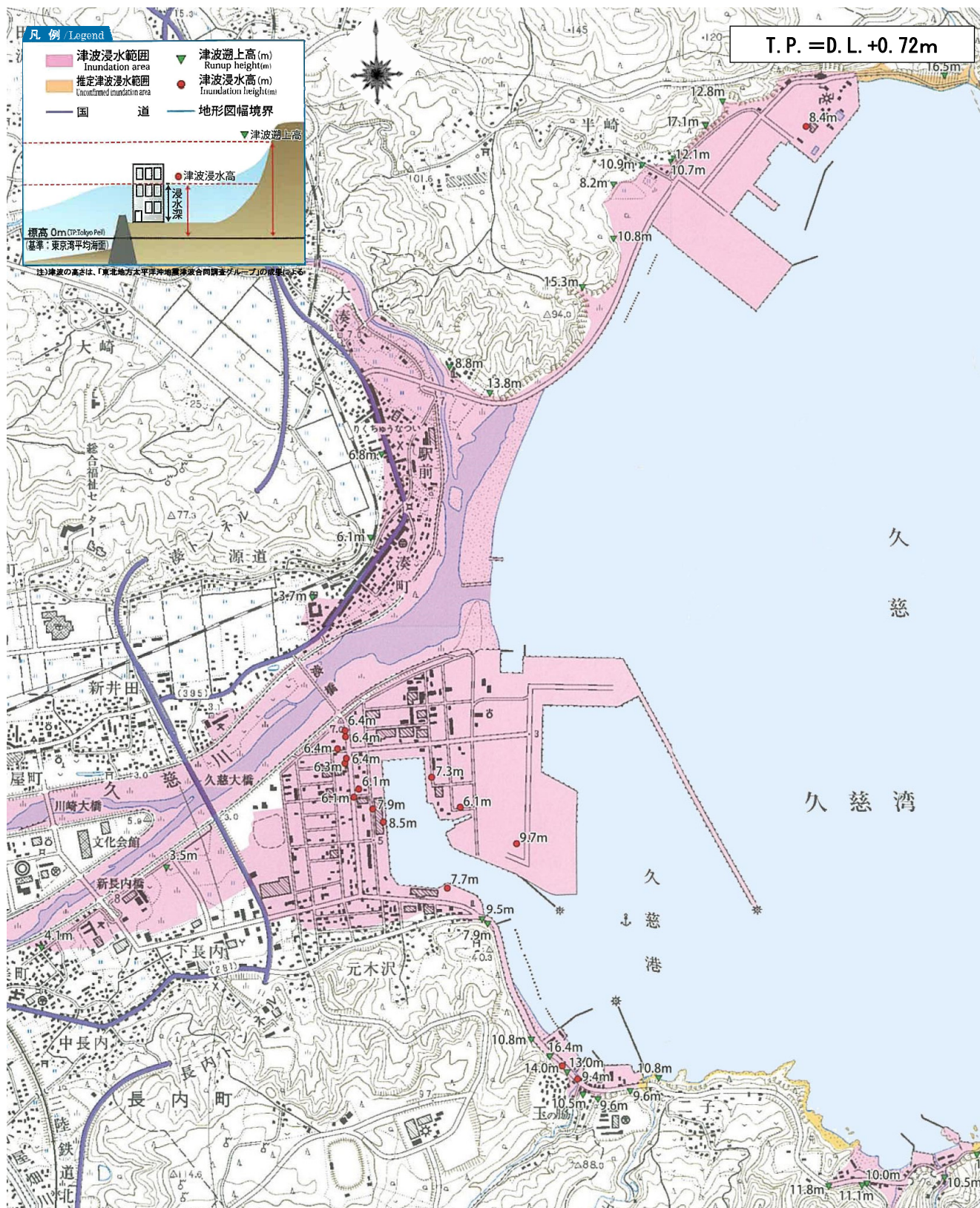


久慈港湾計画図

(久慈港)
- 863 -



図一A.4.2 久慈港の津波痕跡図¹⁾

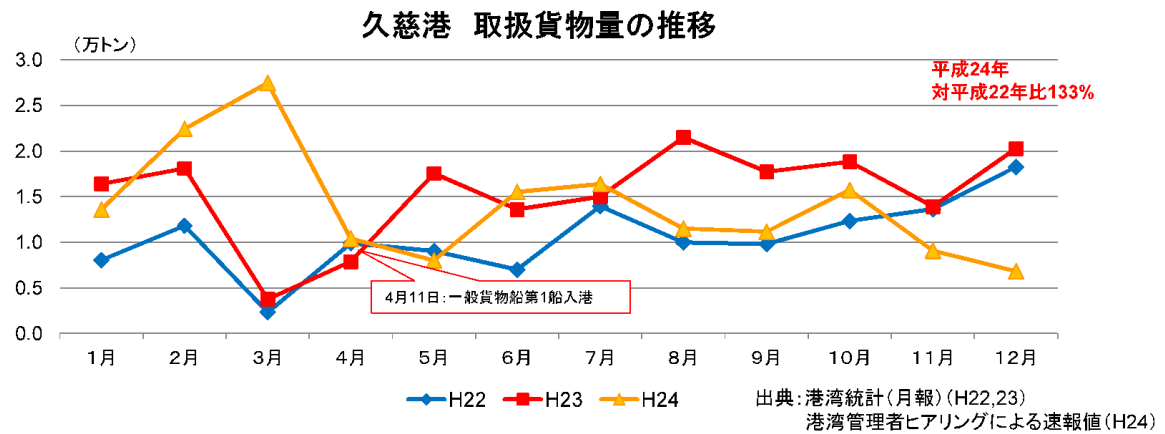
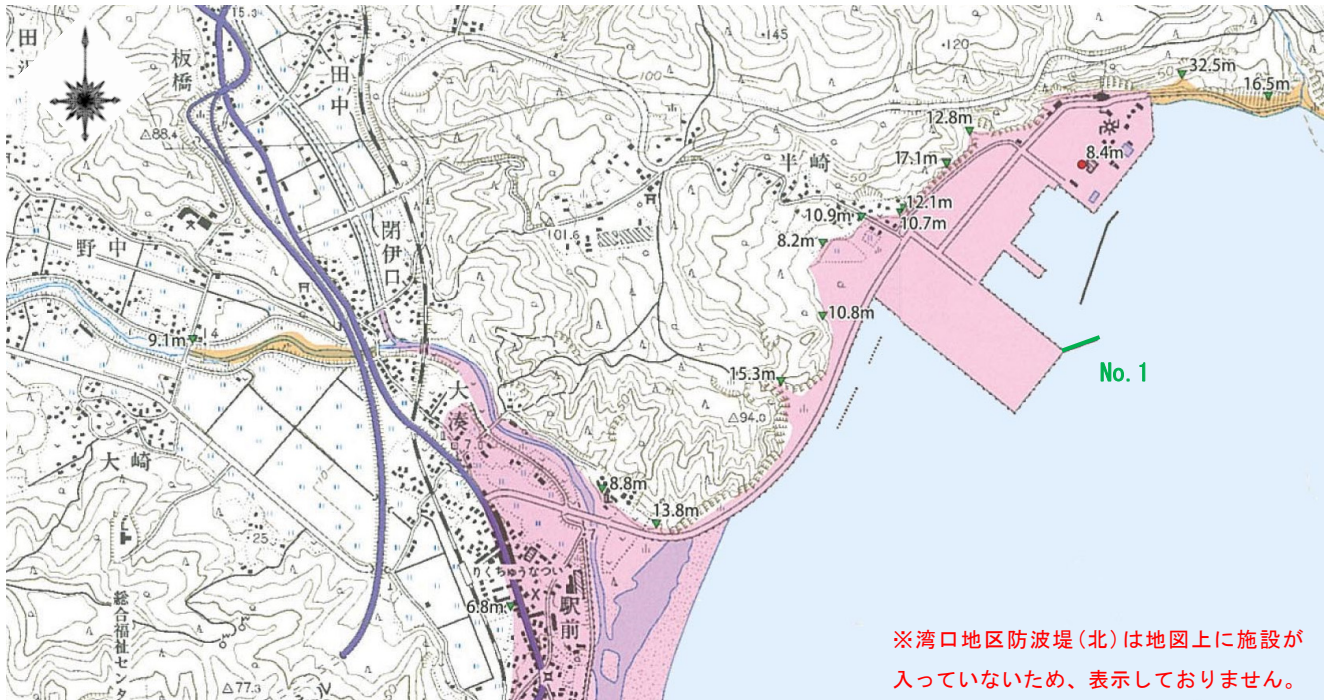


図-A. 4. 3 久慈港 港湾取扱貨物の復旧状況

久慈港 外郭施設（直轄分）



図－A. 4. 4 久慈港の被災港湾移設（外郭施設，直轄分）¹⁾に加筆

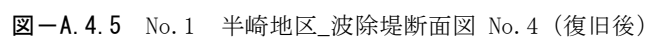
表－A. 4. 1 久慈港の被災施設一覧（外郭施設，直轄分）

No.	施設名	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	半崎地区_波除堤	—	253m	ブロック式	—	D.L.+4.60m	—	253m
2	湾口地区_防波堤（北）	—	375m	ケーソン式	-25m	D.L.+4.0m	—	375m

表－A. 4. 2 No. 1 半崎地区_波除堤の設計条件

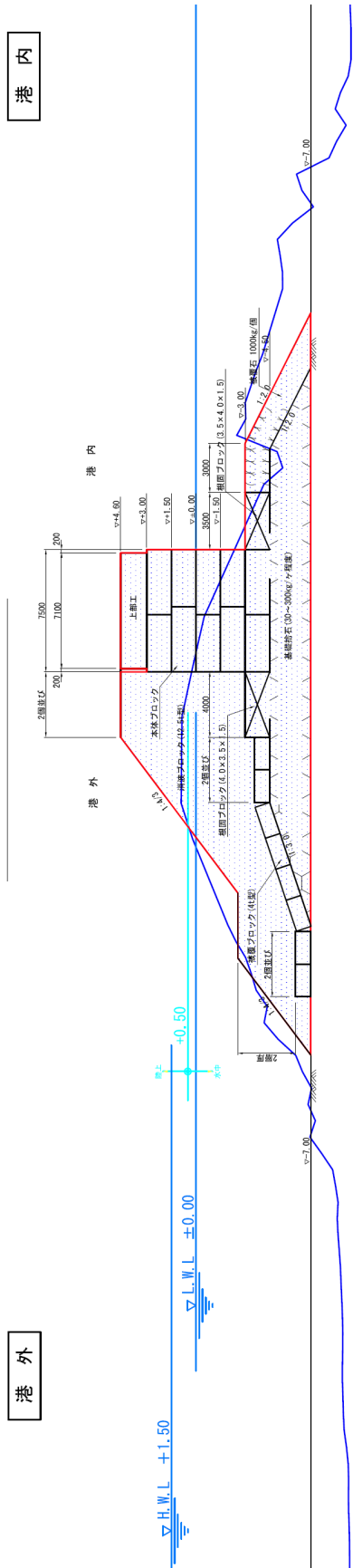
設計年度		平成20年度
設計延長		252.00m
設計供用期間		—
設計水深		—
潮位		HWL+1.50m LWL±0.00m
土質条件	地盤改良	—
	γ_t	18.0kN/m ³
	ϕ	33.1°、39.1°
	c	—
波浪条件		Hmax：+8.40m H _{1/3} ：+5.10m T(s)：13.0 $\beta(^{\circ})$ ：4.0
設計震度		—
利用条件（係留施設）		—

港外



- 867 -

No. 8



図一A.4.6 No.1 半崎地区_波除堤断面図 No.8 (復旧後)

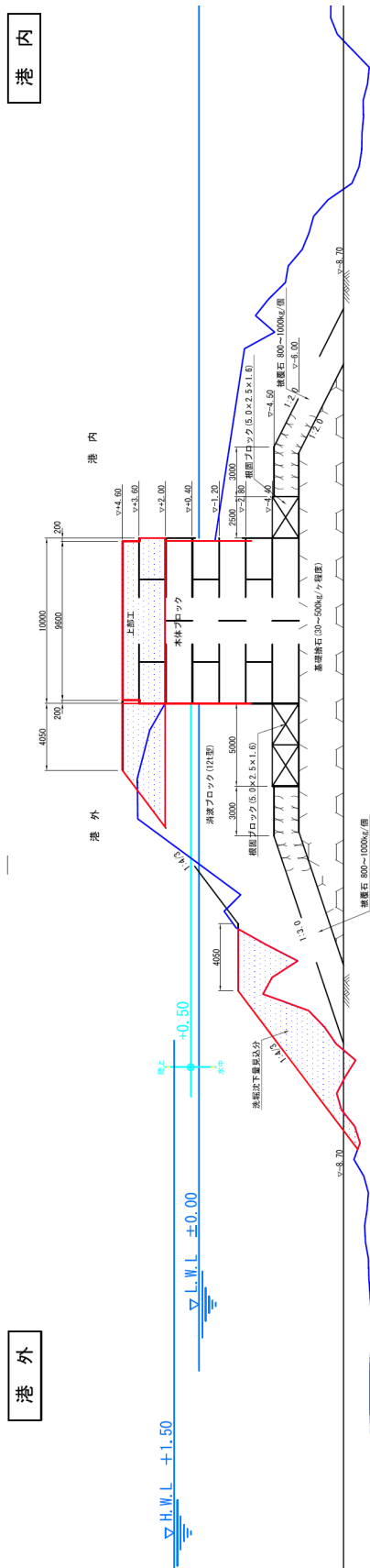


図-A.4.7 No.1 半崎地区_波除堤断面図 No.12 (復旧後)

久慈港 外郭施設（補助分）

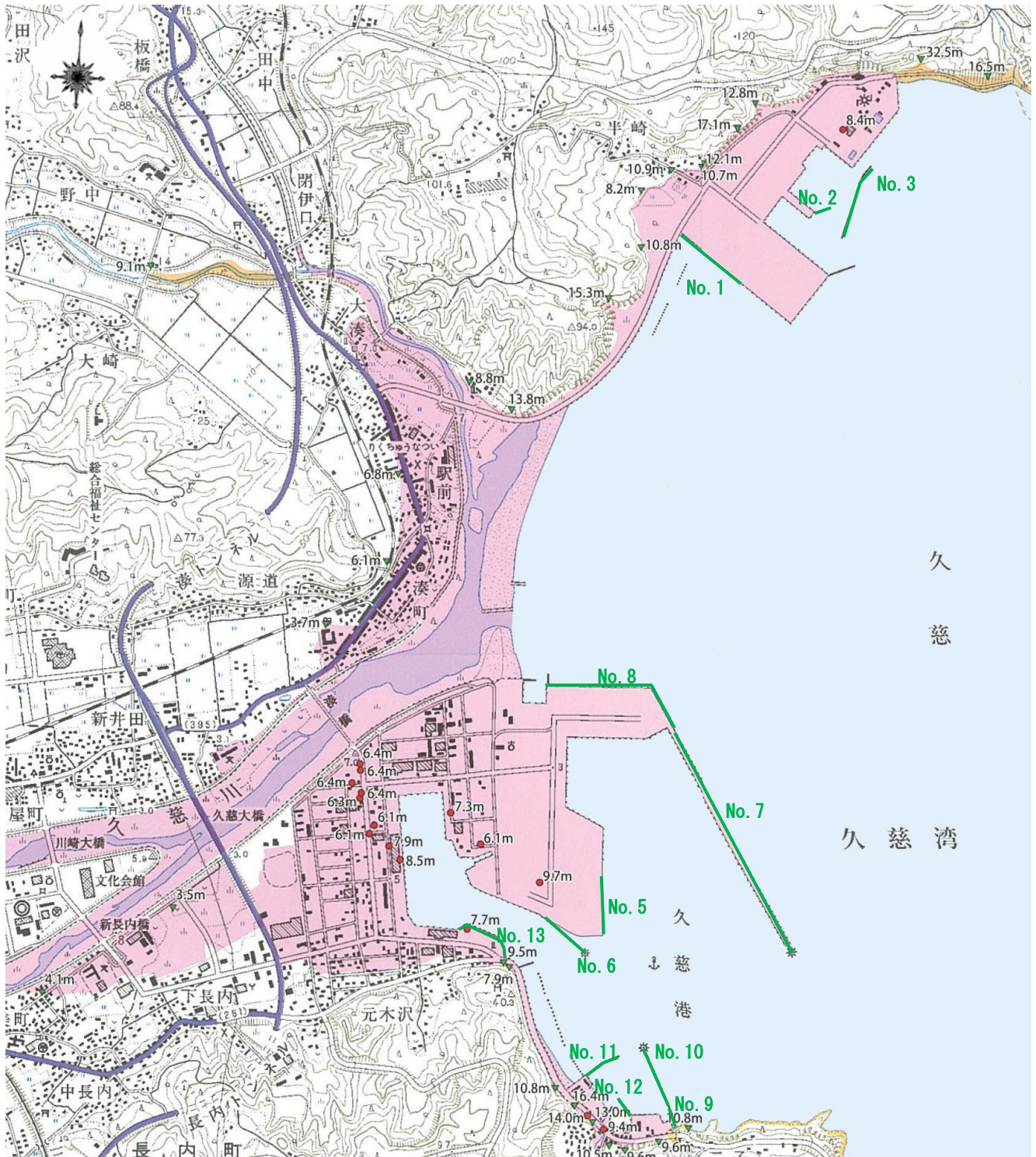


図-A.4.8 久慈港の被災港湾移設（外郭施設，補助分）¹⁾に加筆

表－A. 4. 3 久慈港の被災施設一覧（外郭施設，補助分）

No.	施設名	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	半崎地区_1号護岸	H3	236m	混成	—	+5.0~5.5m	0.10	236m
2	半崎地区_波徐堤	S63	34m	傾斜	—	—	—	34m
3	半崎地区_防波堤	—	320m	混成	—	+5.0~5.6m	—	23m
4	牛島島地区_防波堤	S9	71m	直立	—	+3.3m	—	66m
5	諏訪下地区_1号護岸	H10	—	—	—	+3.50m	—	60.0m
6	諏訪下地区_防波堤	S42	—	—	—	+3.0~4.5m	—	5.0m
7	諏訪下地区_外防波堤	S61	—	—	—	+6.5m	—	293.1m
8	諏訪下地区_護岸防波（1）（2）	S57	—	—	—	+6.0~7.5m	—	125.0m
9	玉の脇地区_南護岸	—	—	—	—	+4.0~6.0m	—	36.5m
10	玉の脇地区_外防波堤	S50	—	—	—	+5.6~6.0m	—	296.9m
11	玉の脇地区_北防波堤	S55	—	—	—	+4.0m	—	151.7m
12	玉の脇地区_内防波堤	—	—	—	—	+2.5m	—	95.0m
13	堀込地区_航路南護岸	—	—	—	—	+3.0m	—	112.3m

表－A. 4. 4 No. 1 半崎地区_1 号護岸の設計条件

設計年度		不明
設計延長		236m
設計供用期間		
設計水深		D.L.±0.00m
潮位		D.L.+1.50m
土質条件	地盤改良	
	γ_t	岩盤
	ϕ	
	c	
波浪条件		H1/3=2.9m Hmax=3.7m T=12.0sec
設計震度		0.1
利用条件（係留施設）		護岸

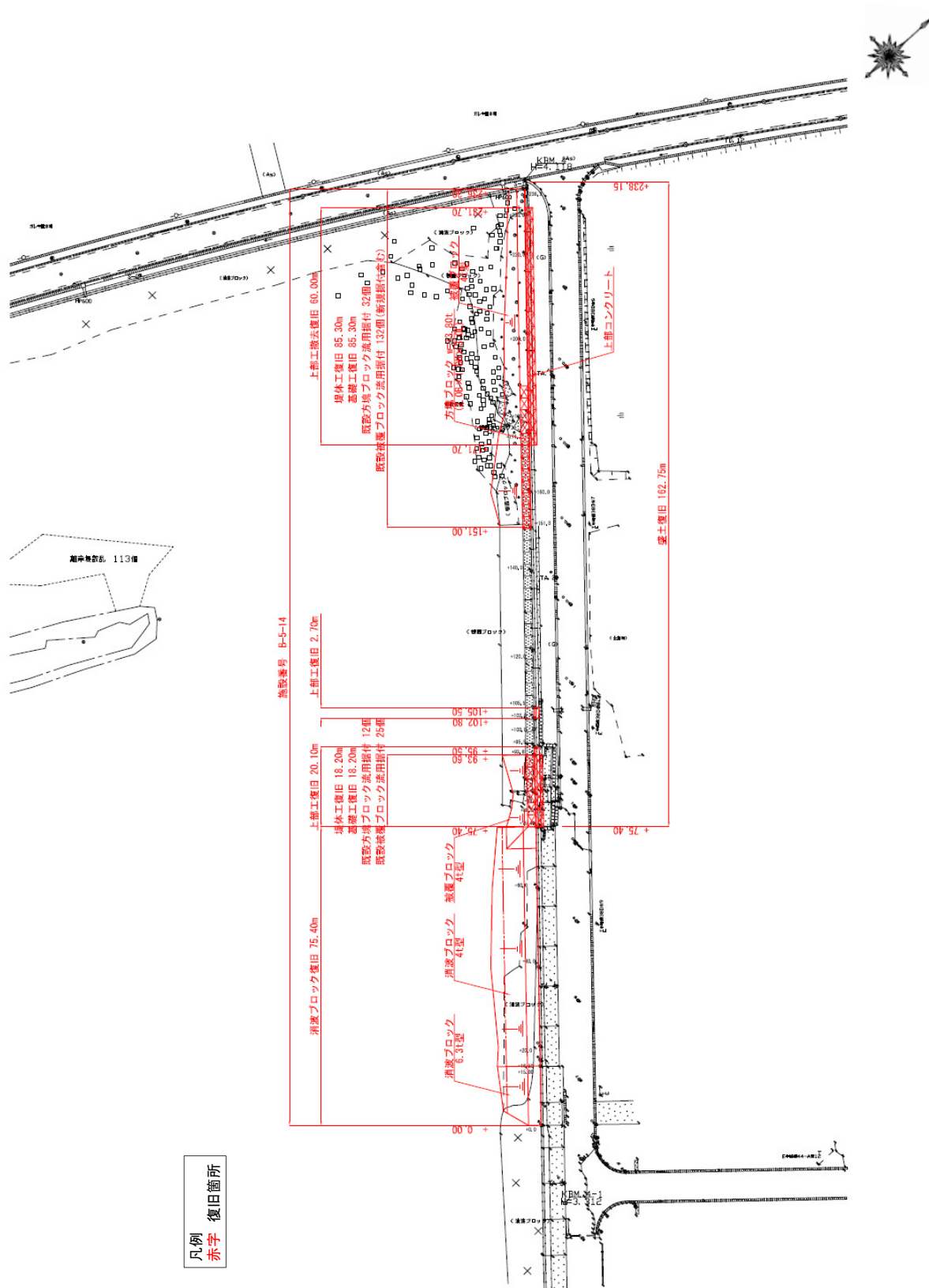
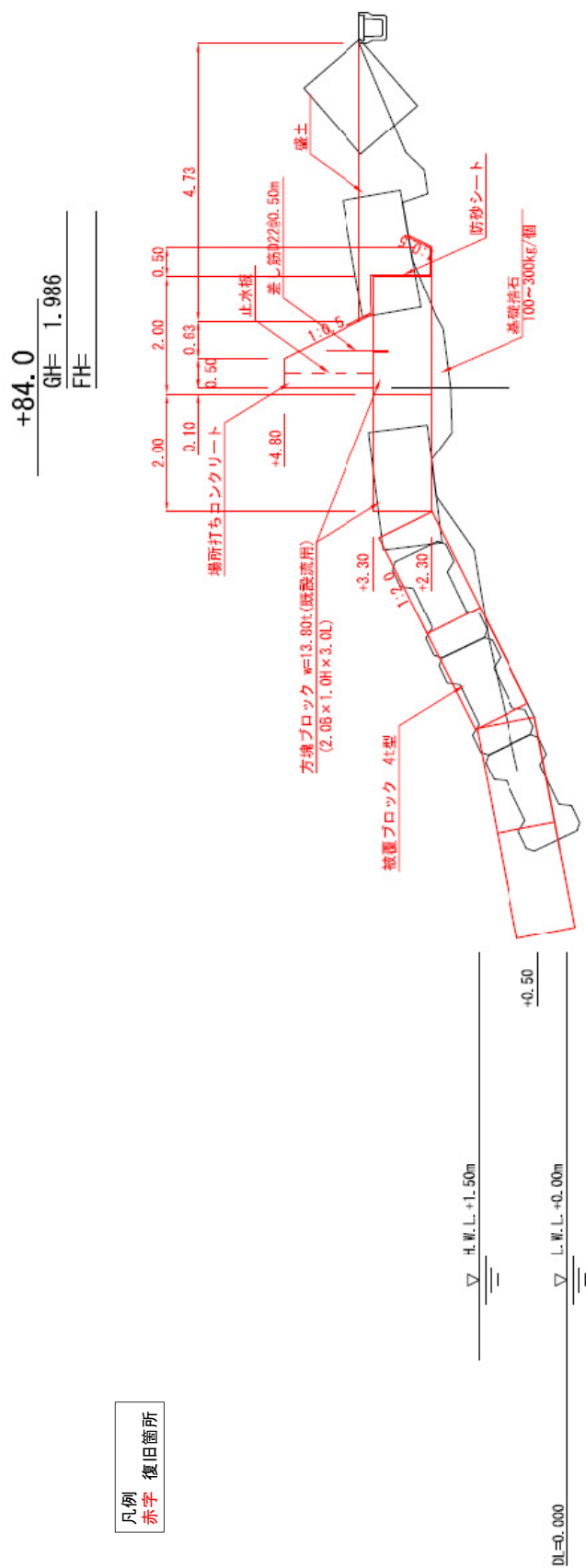


図-A.4.9 No.1 半崎地区_1号護岸平面図(復旧後)



凡例
 赤字 復旧箇所

図-A. 4. 12 No. 1 半崎地区_1 号護岸断面図② (復旧後)



図－A. 4. 13 No. 1 半崎地区_1 号護岸の被災状況

表－A. 4. 5 No. 2 半崎地区_波除堤の設計条件

設計年度		S63
設計延長		34m
設計供用期間		
設計水深		D.L.－5.50m
潮位		D.L.＋1.50m
土質条件	地盤改良	なし
	γt	10kN/m ³
	ϕ	35°
	c	
波浪条件		H1/3=3.0m T=12.0sec
設計震度		
利用条件（係留施設）		防波堤

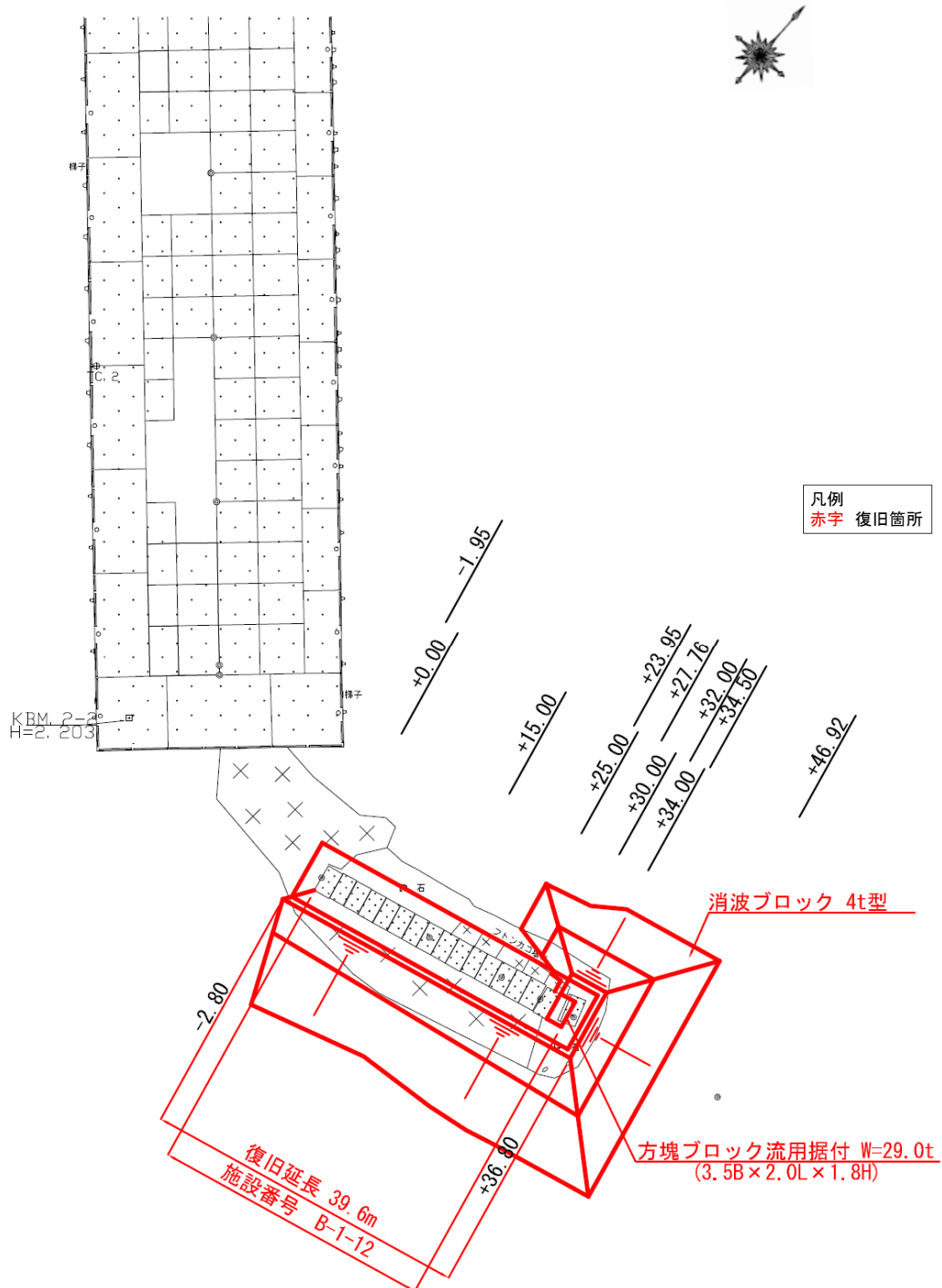


図-A.4.14 No.2 半崎地区_波除堤平面図（復旧後）

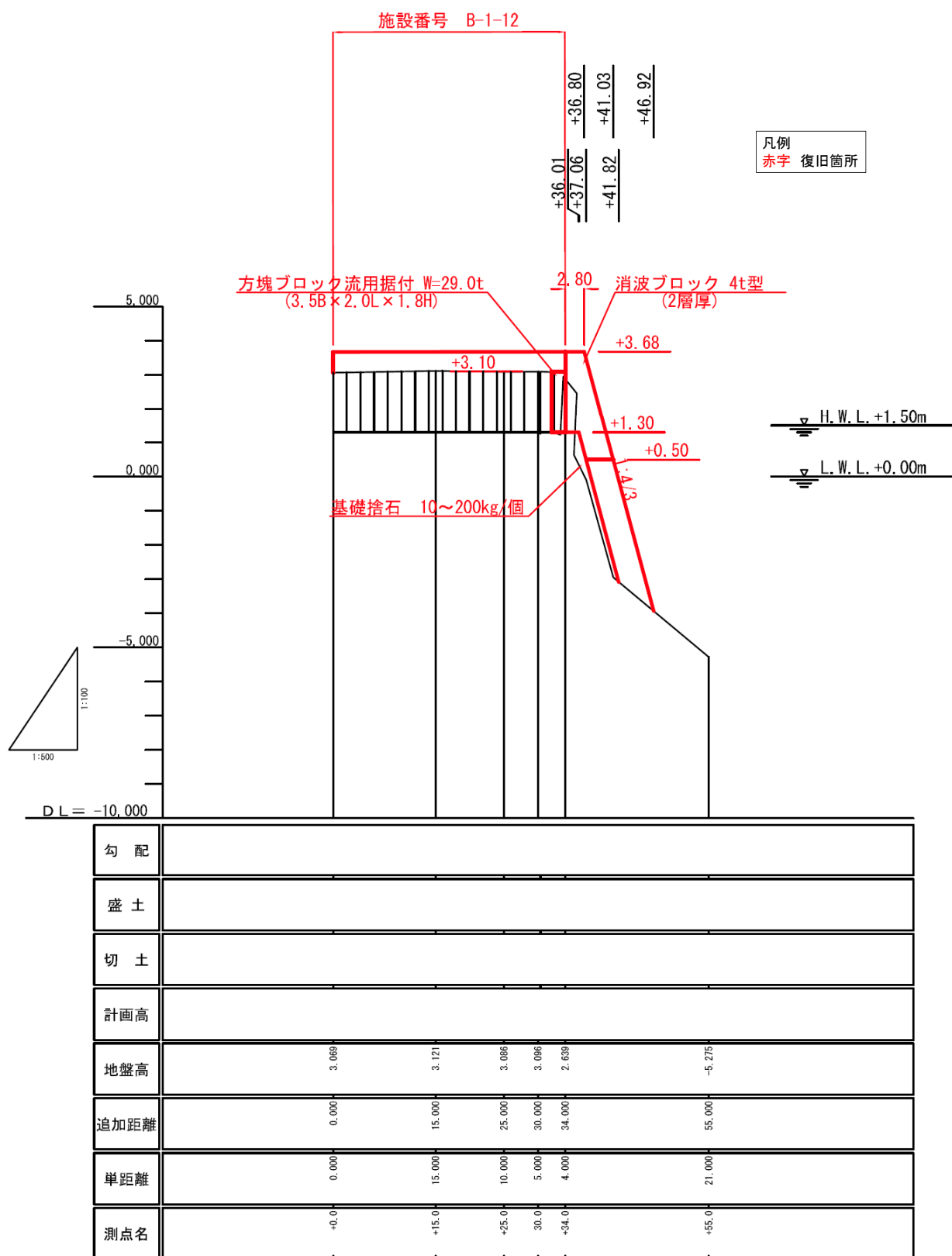
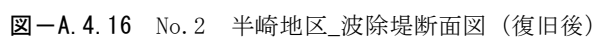


図-A.4.15 No.2 半崎地区_波除堤縦断面図(復旧後)



- 879 -

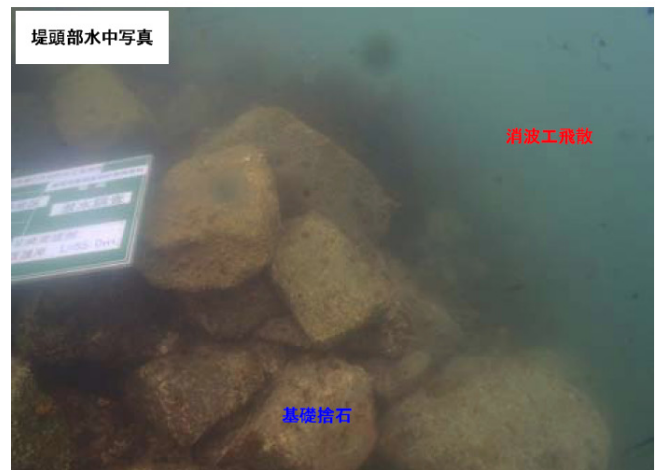


図-A. 4. 17 No. 2 半崎地区_波除堤の被災状況

表-A.4.6 No.3 半崎地区_防波堤の設計条件

設計年度		
設計延長		320m
設計供用期間		
設計水深		D.L.－3.70m
潮位		D.L.＋1.50m
土質条件	地盤改良	
	γ_t	
	ϕ	
	c	
波浪条件		H1/3=3.5m T=12.0sec
設計震度		
利用条件（係留施設）		防波堤

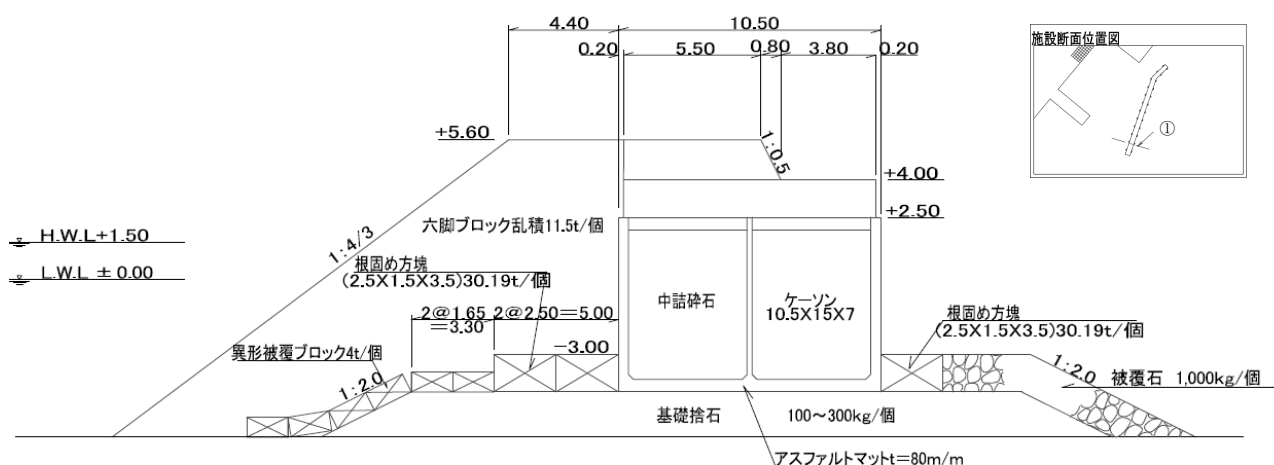


図-A.4.18 No.3 半崎地区_防波堤断面図 ① (被災前)

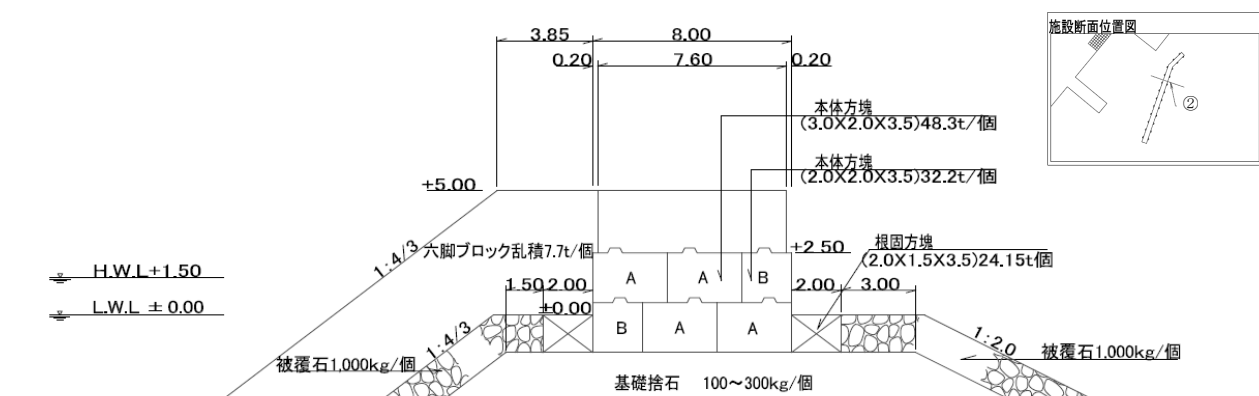


図-A.4.19 No.3 半崎地区_防波堤断面図 ② (被災前)

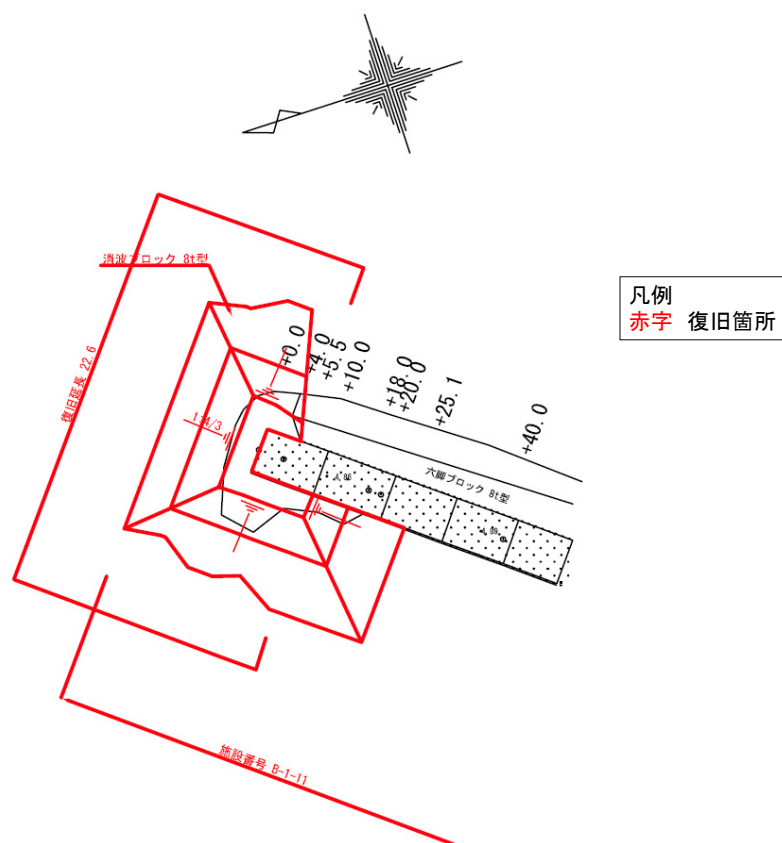
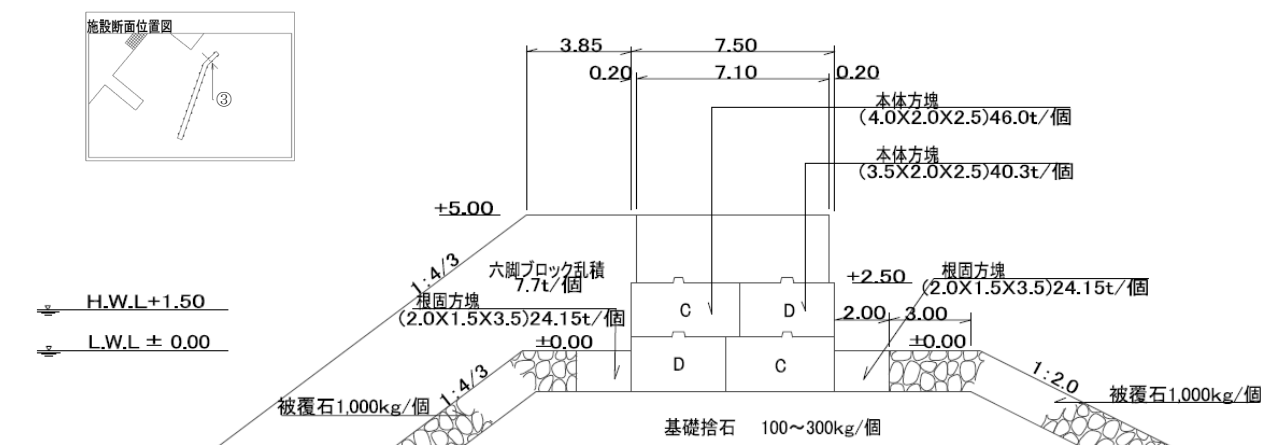


図-A.4.21 No.3 半崎地区_防波堤平面図 (復旧後)

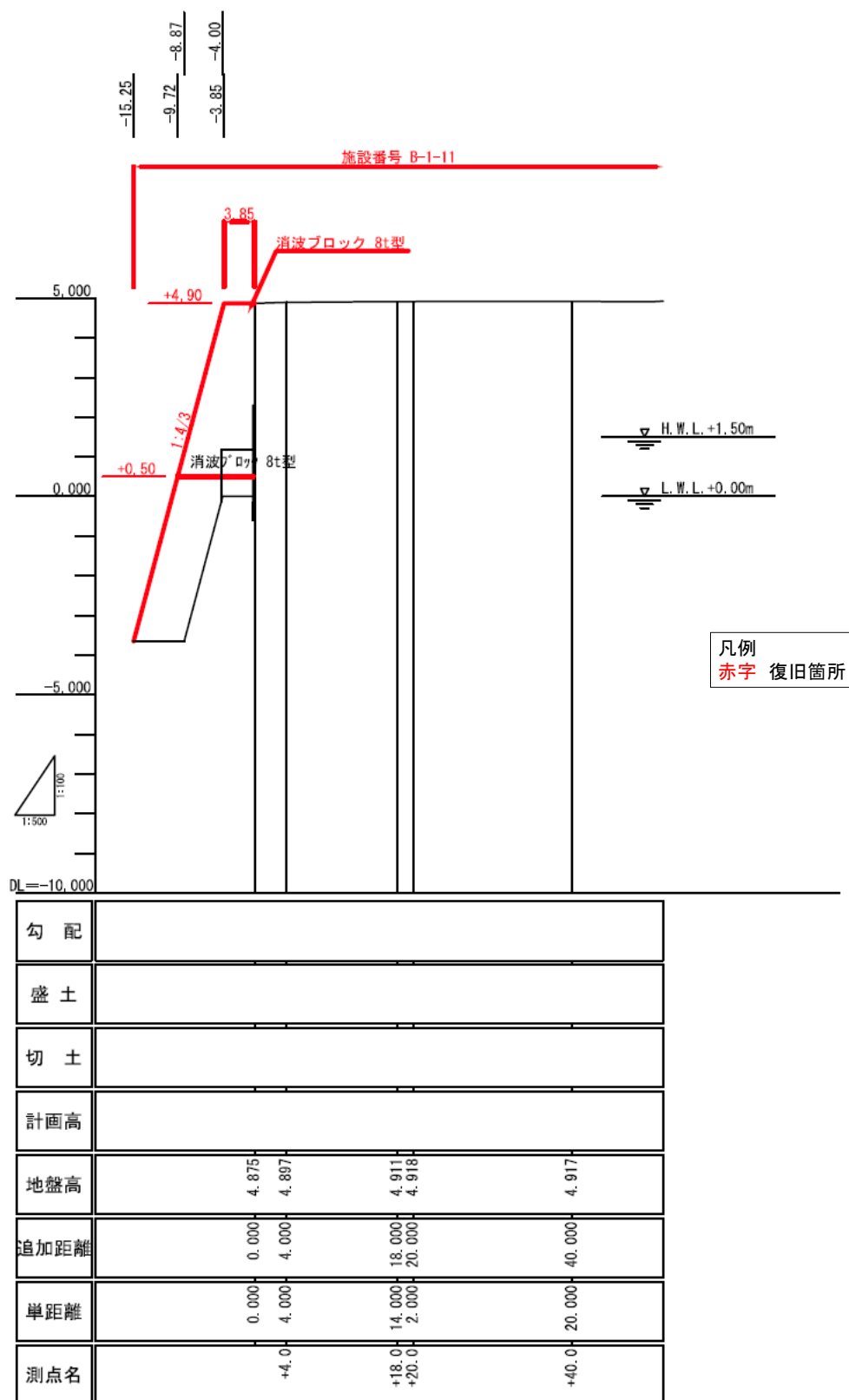


図-A.4.22 No.3 半崎地区_防波堤縦断面図（復旧後）

凡例
赤字 復旧箇所

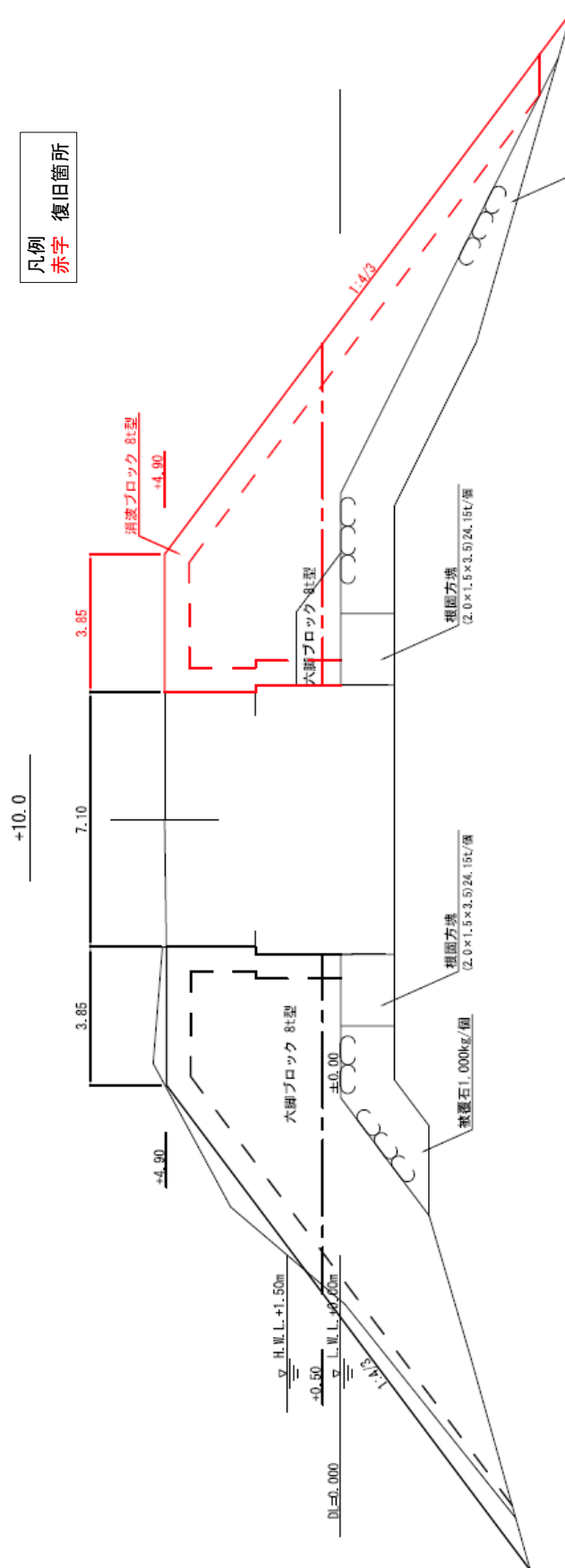


図-A. 4. 23 No. 3 半崎地区_防波堤断面図+0.0' (復旧後)

(久慈港)

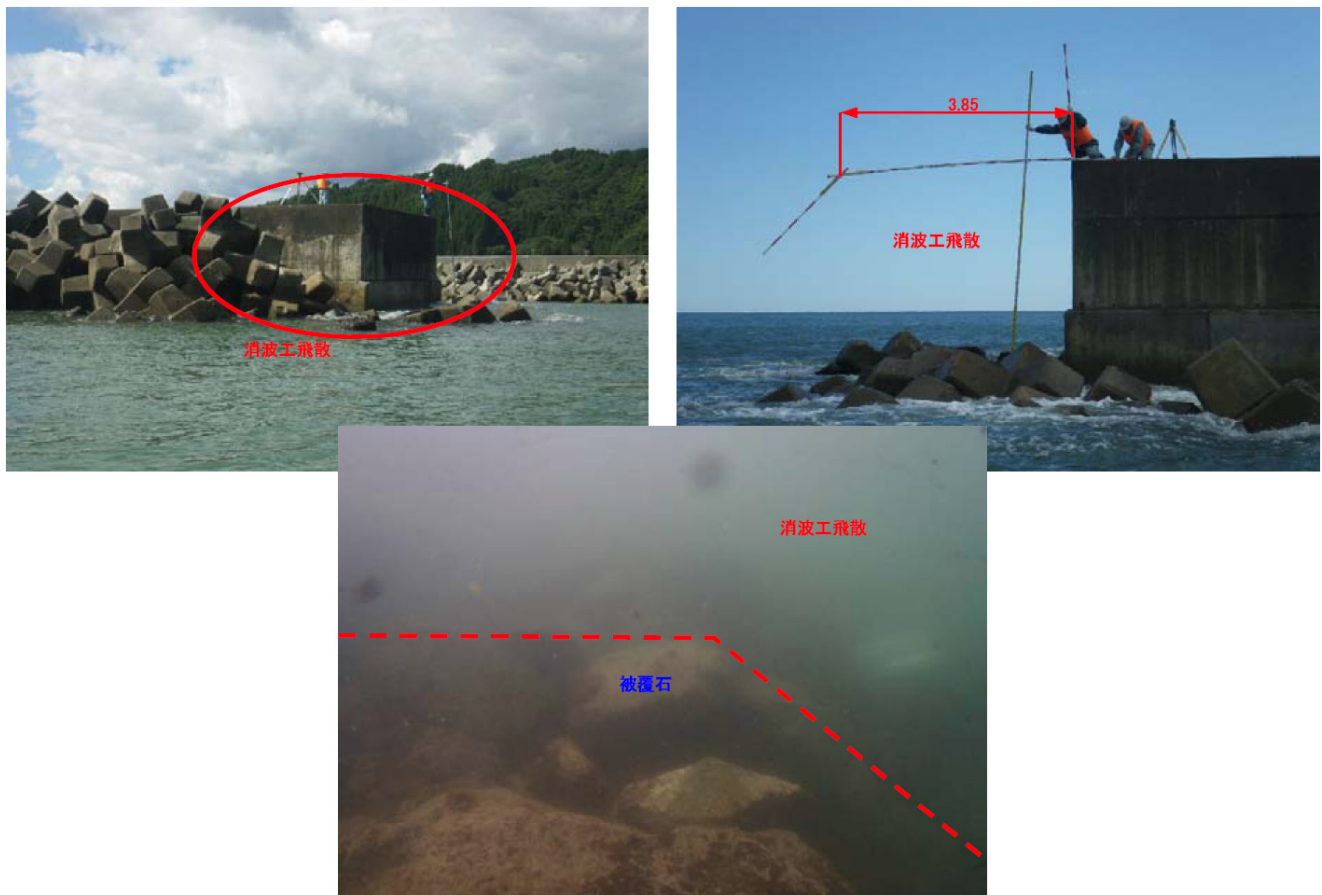


図-A. 4. 25 No. 3 半崎地区_防波堤の被災状況

表-A.4.7 No.4 牛島地区_防波堤の設計条件

設計年度		
設計延長		71m
設計供用期間		
設計水深		D.L.-0.70m
潮位		D.L.+1.50m
土質条件	地盤改良	
	γt	岩盤
	ϕ	
	c	
波浪条件		H1/3=3.0m T=12.0sec
設計震度		
利用条件（係留施設）		防波堤

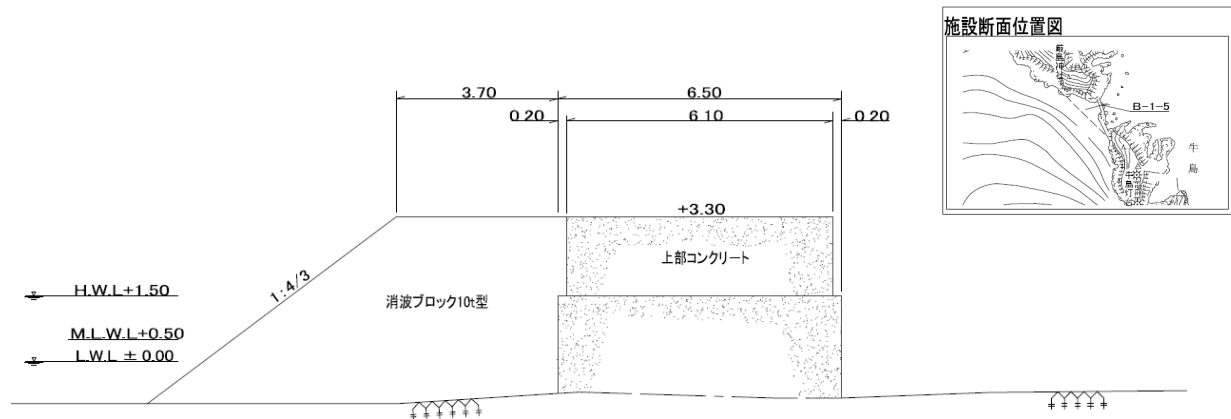


図-A.4.26 No.4 牛島地区_防波堤断面図 B-1-5（被災前）

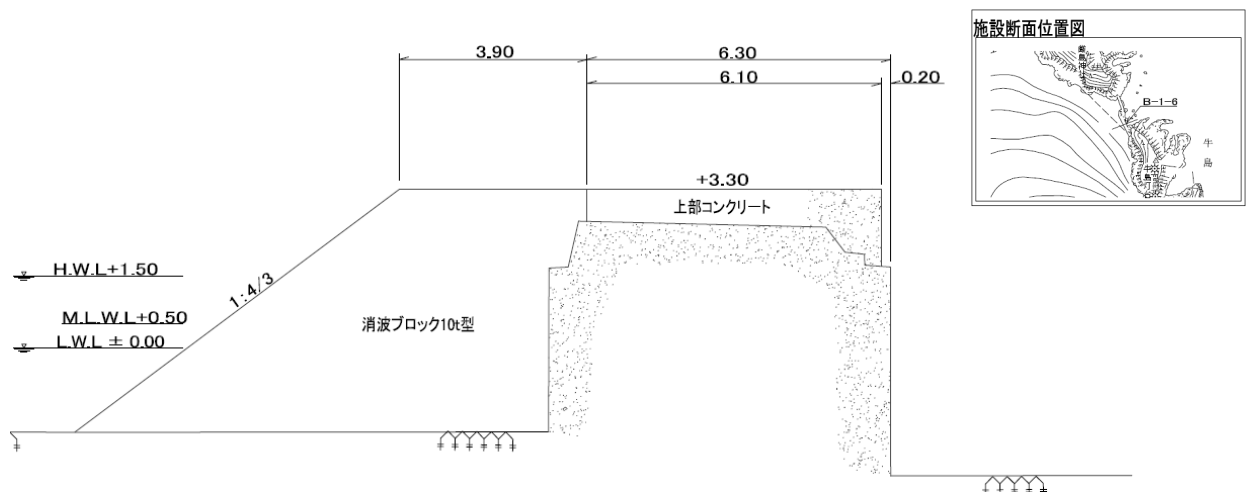


図-A.4.27 No.4 牛島地区_防波堤断面図 B-1-6（被災前）

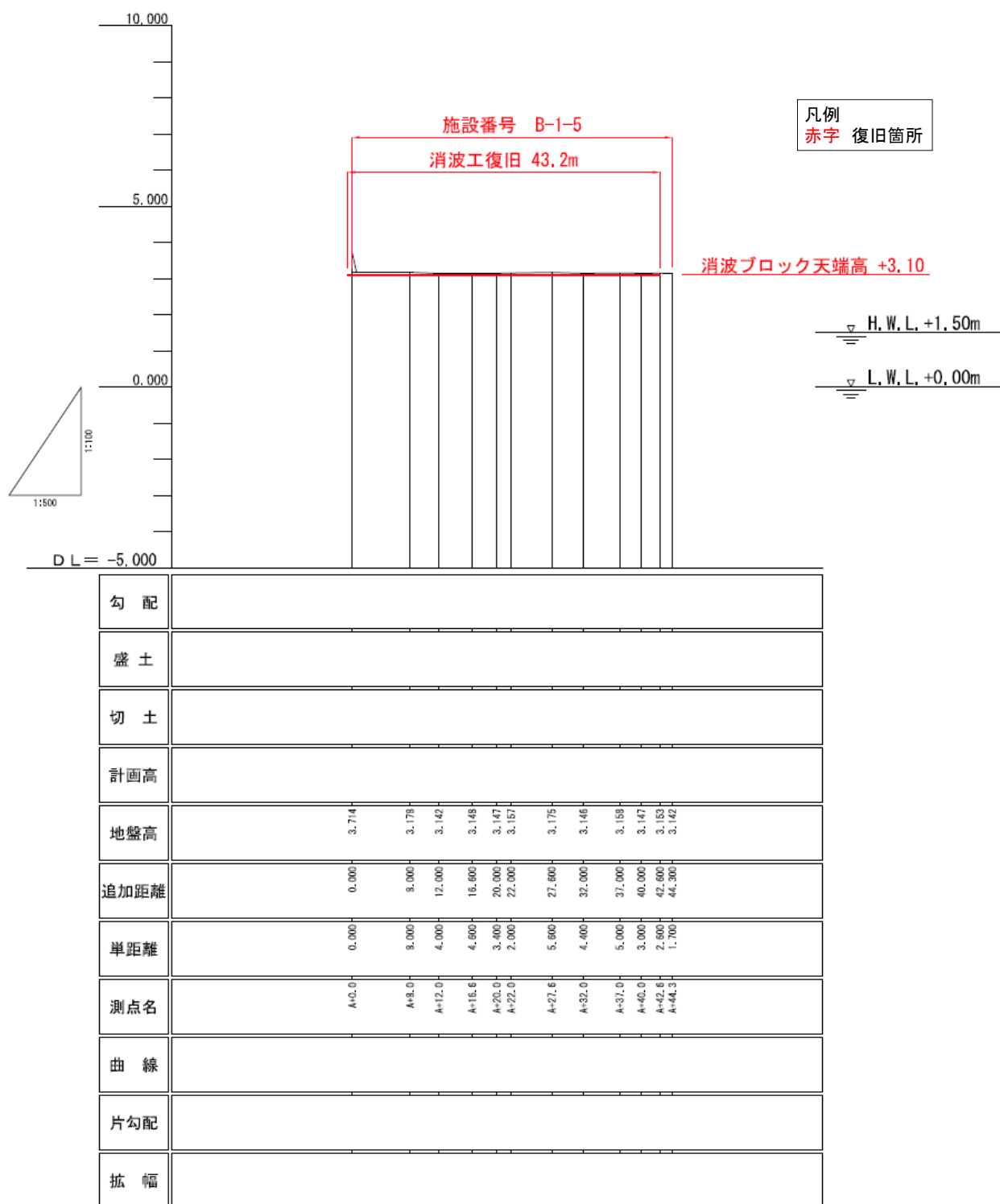
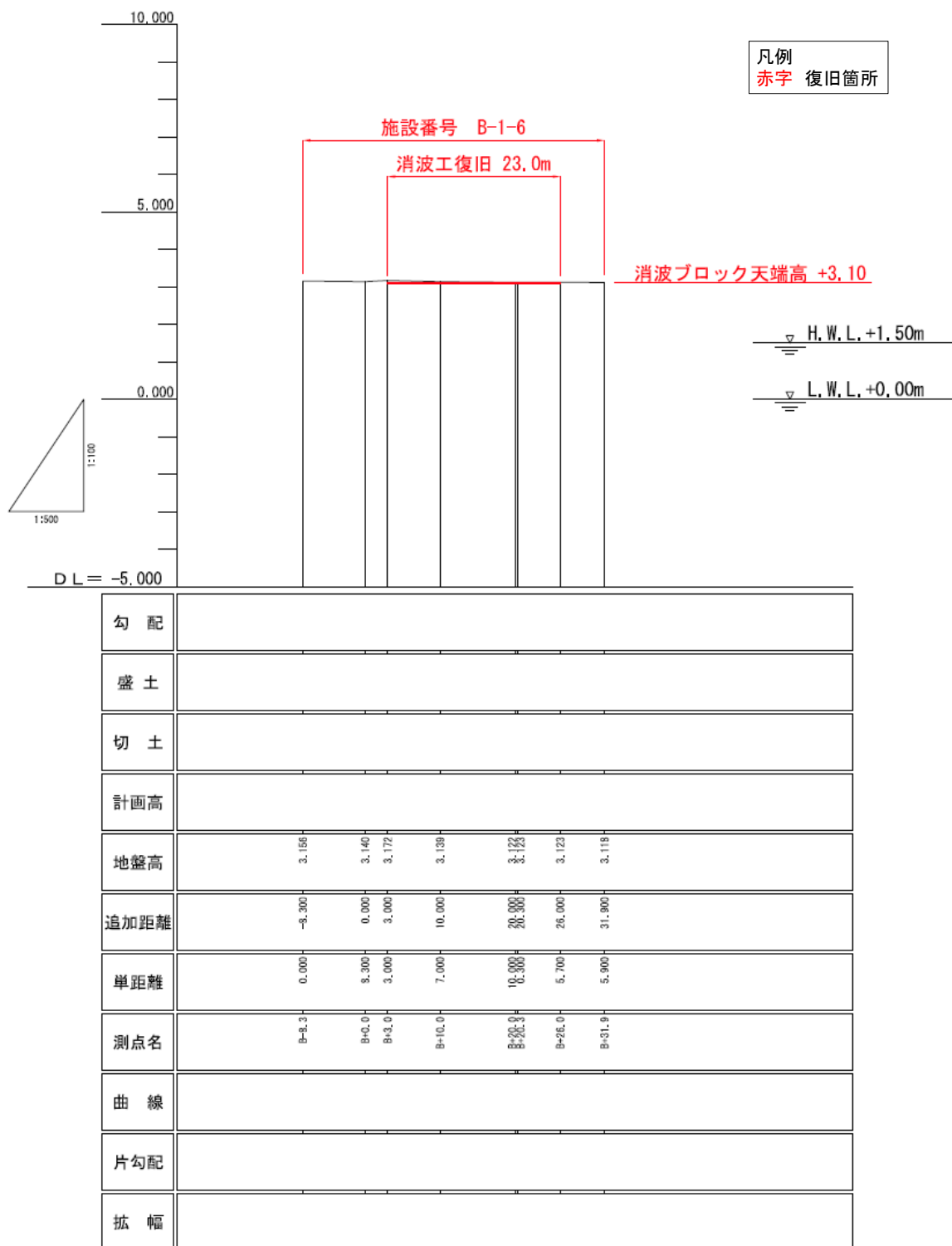


図-A. 4. 29 No. 4 半島地区_防波堤縦断面図① (復旧後)



図—A. 4. 30 No. 4 牛島地区_防波堤縦断図②（復旧後）

施設番号 (B-1-6)

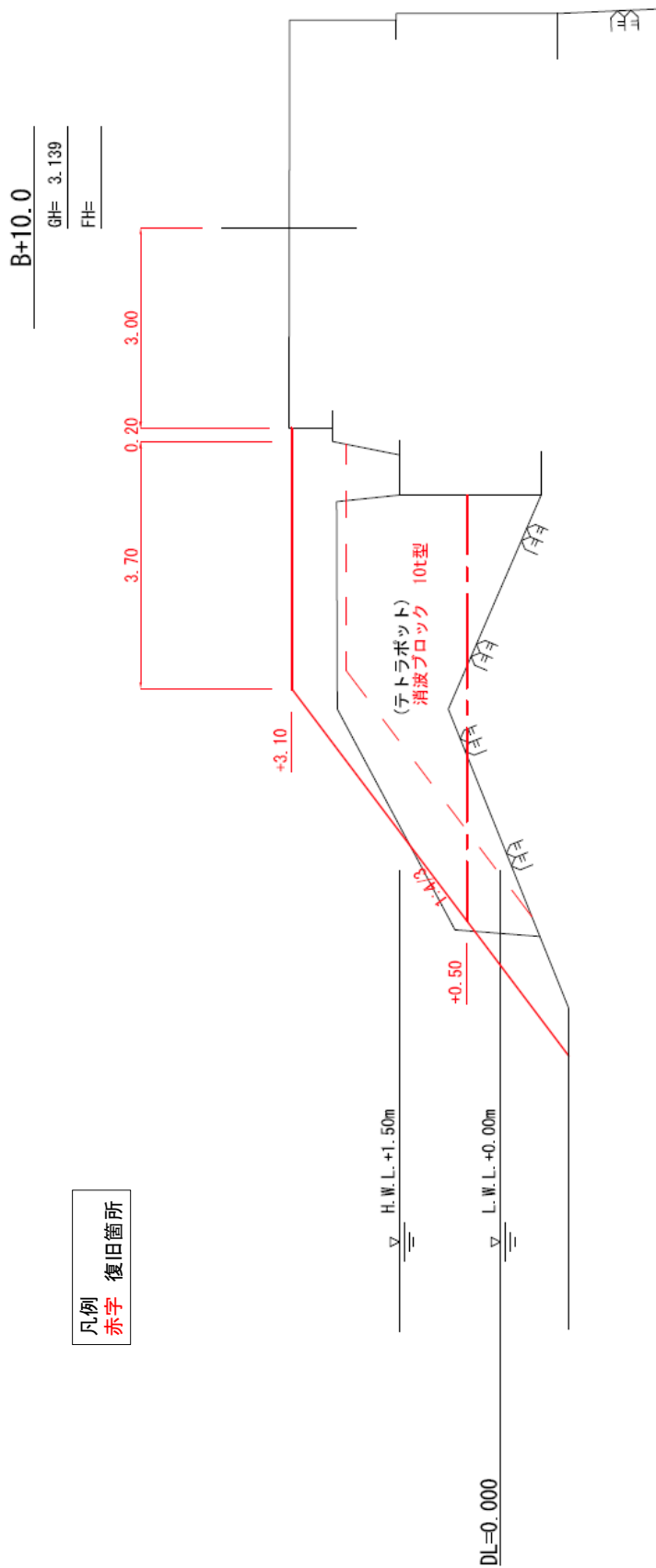


図-A. 4. 31 No. 4 牛島地区_防波堤断面図① (復旧後)

施設番号 (B-1-5)

A+16.6

GH= 3.148

FH=

凡例
赤字 復旧箇所

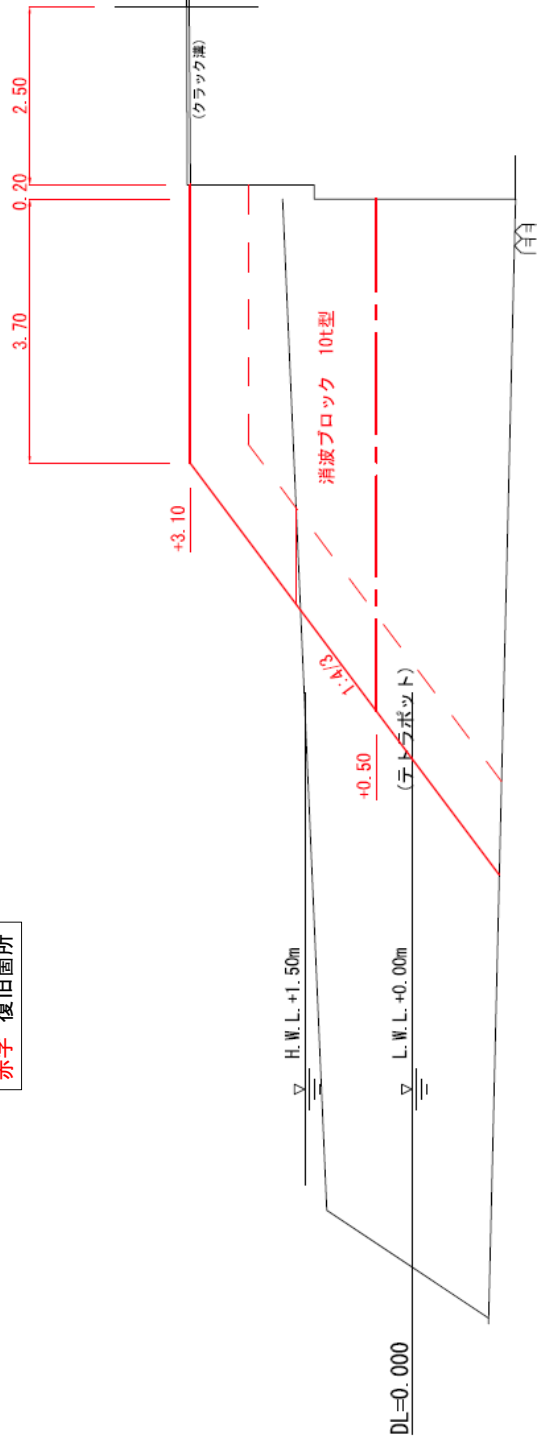


図-A.4.32 No.4 牛島地区_防波堤断面図② (復旧後)

(久慈港)

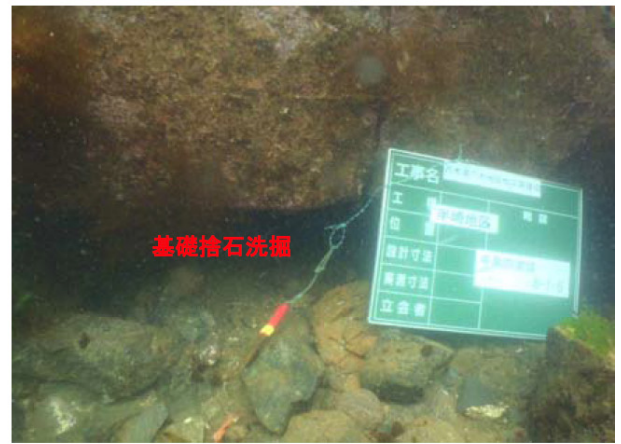
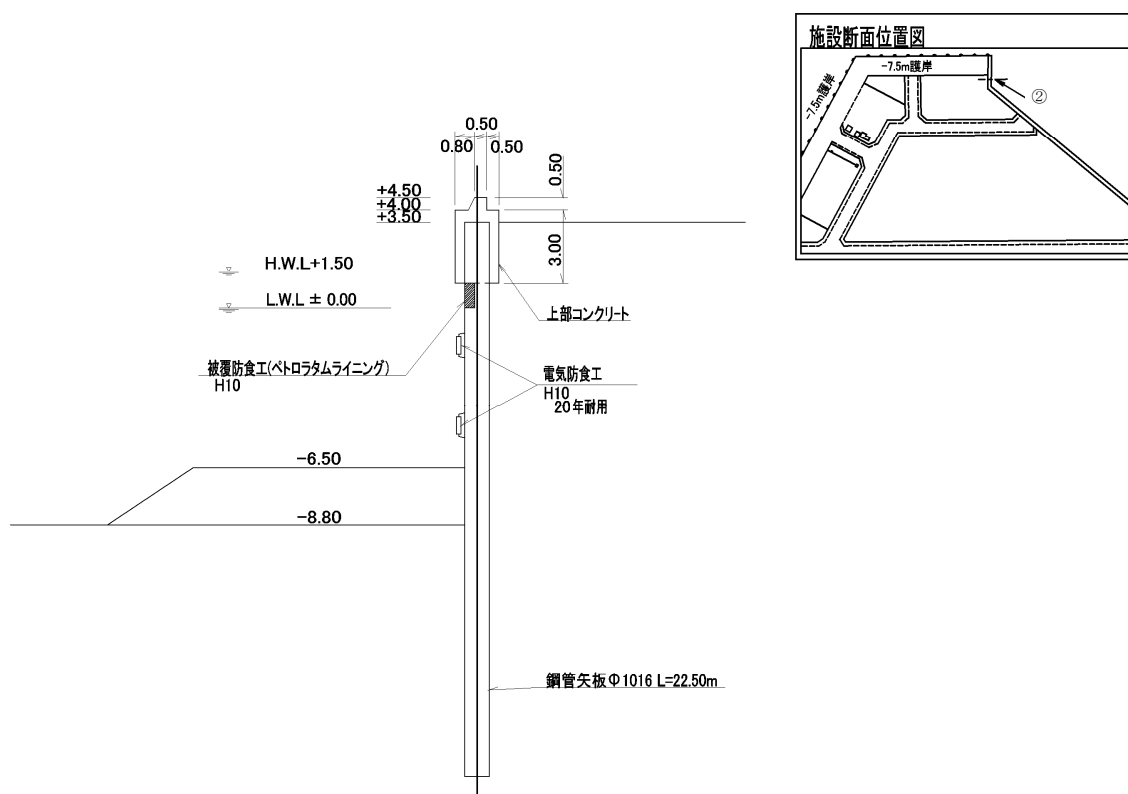
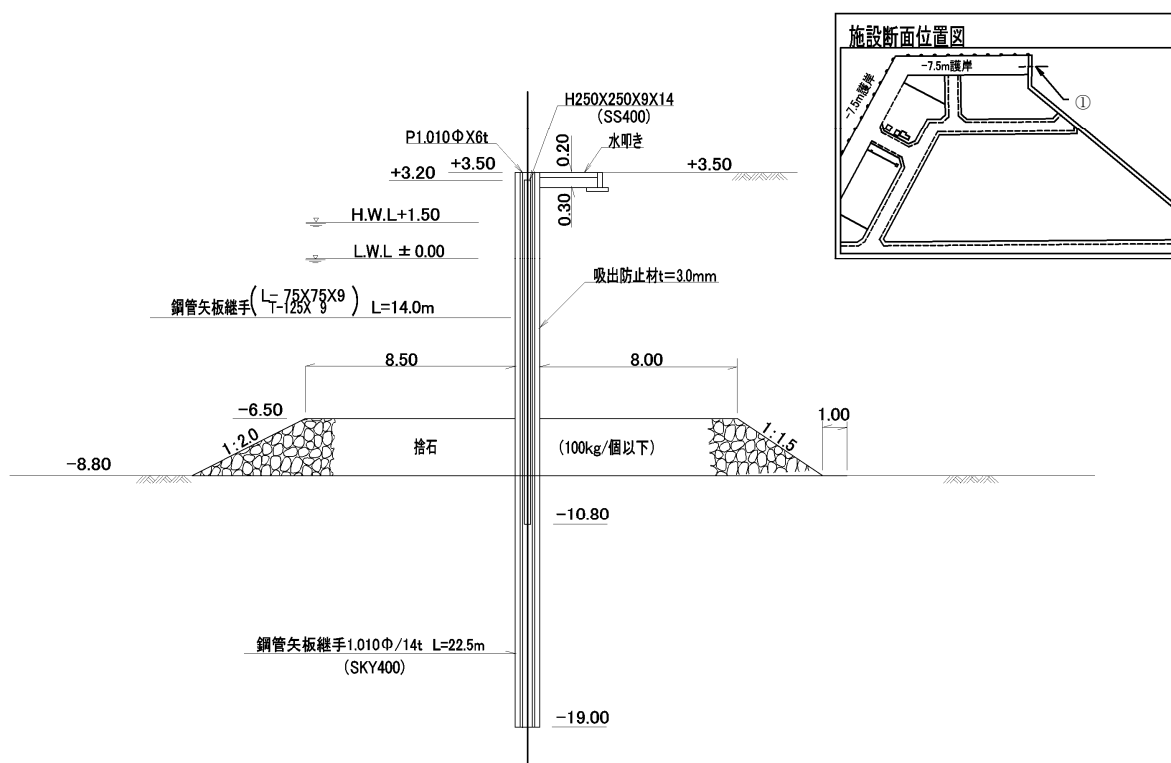
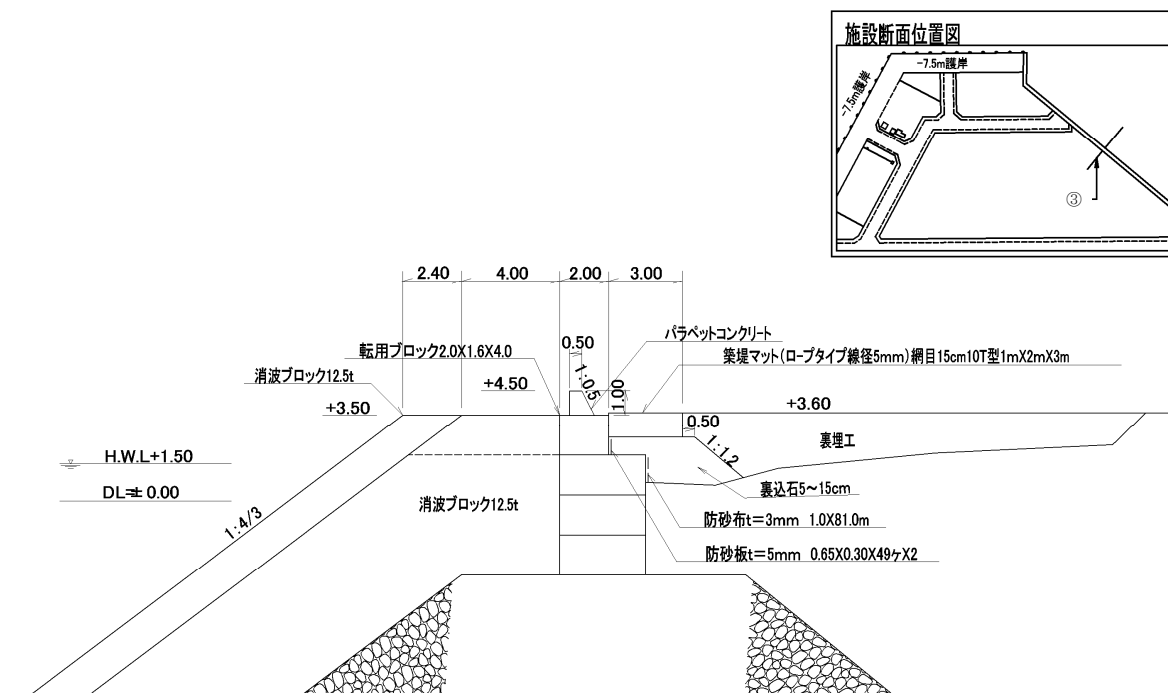
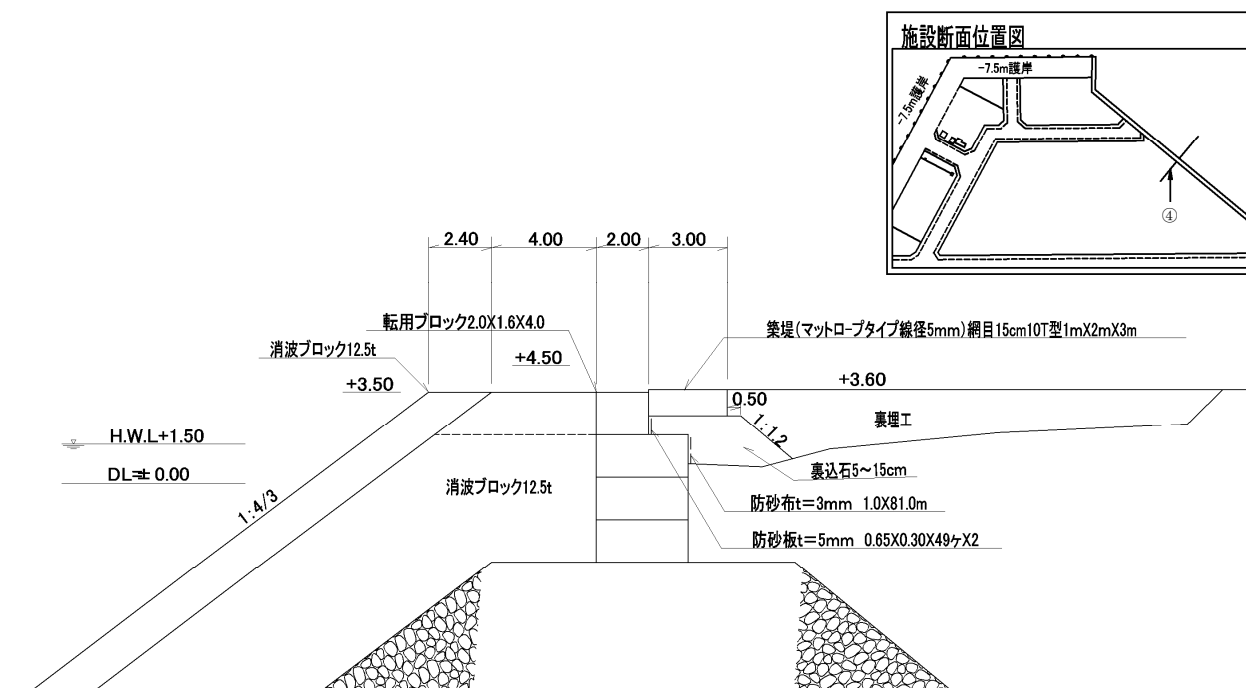


図-A. 4. 33 No. 4 牛島地区_防波堤の被災状況





図－A. 4. 36 No. 5 諏訪下地区_1号護岸の断面図③（被災前）



図－A. 4. 37 No. 5 諏訪下地区_1号護岸の断面図④（被災前）

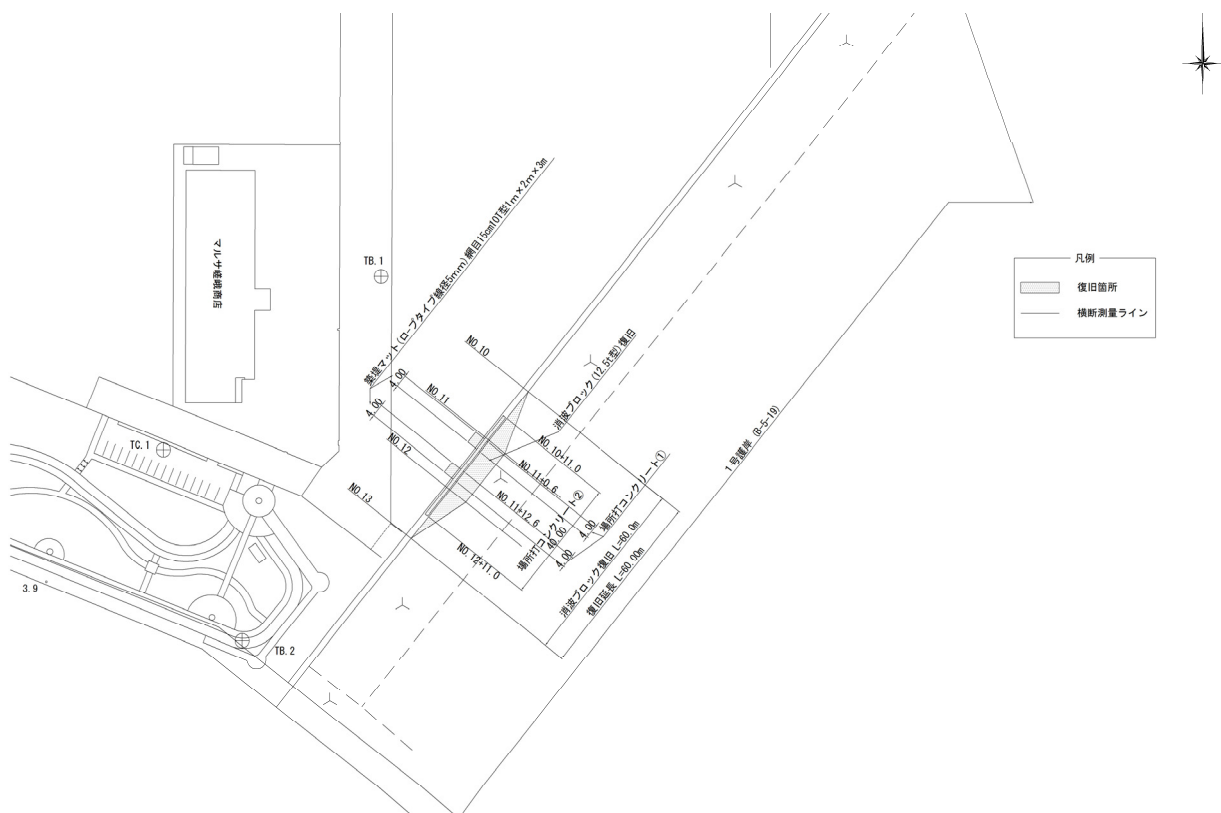


図-A.4.38 No.5 諏訪下地区_1号護岸の平面図(復旧後)

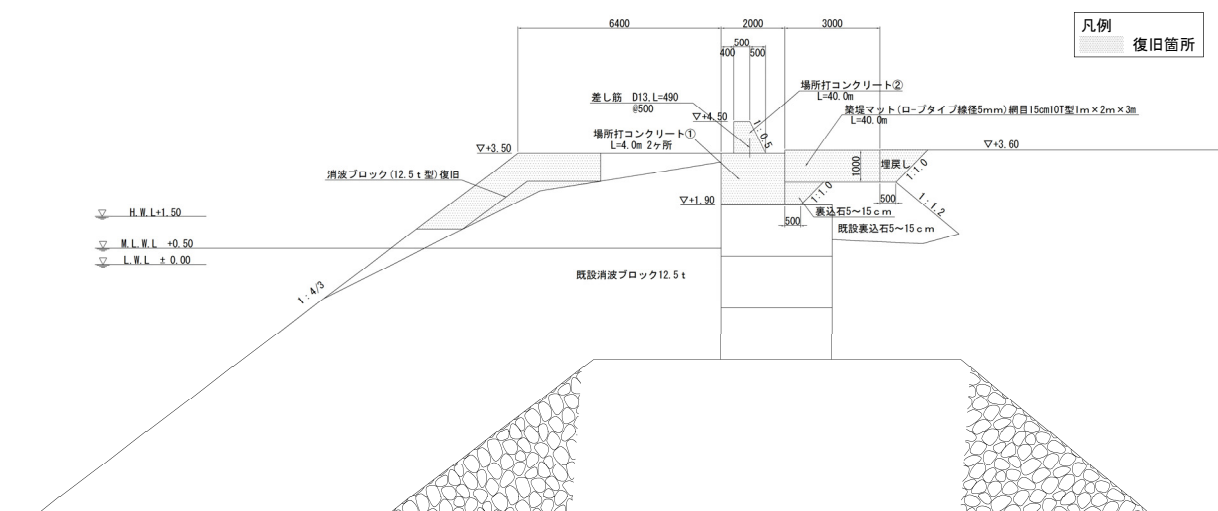
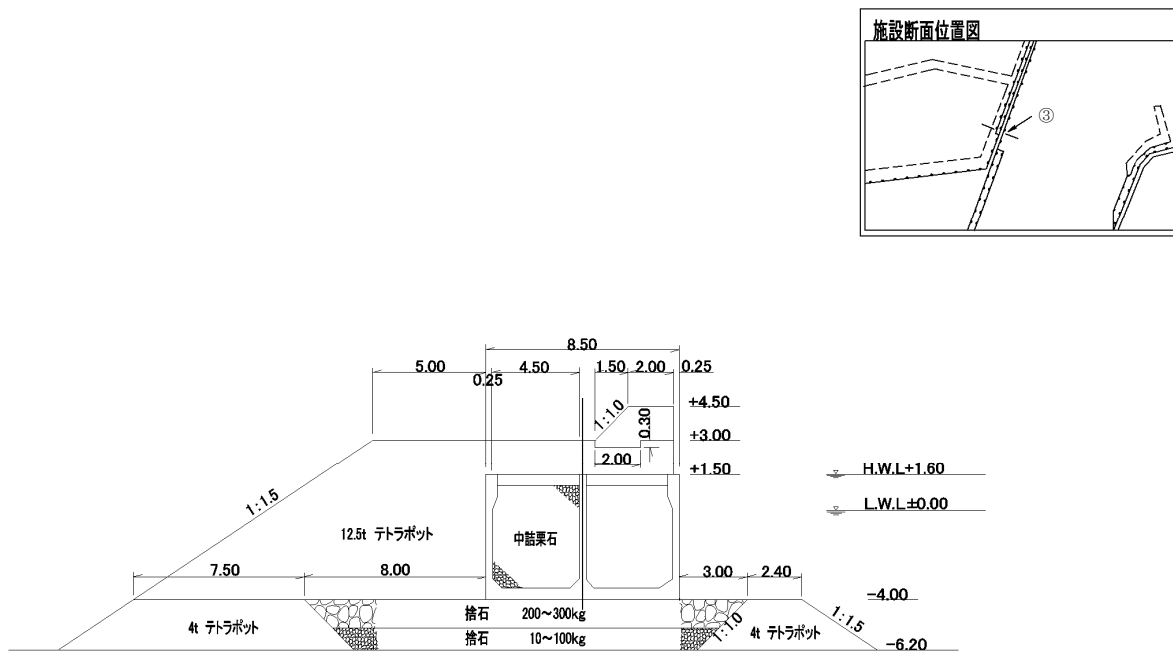
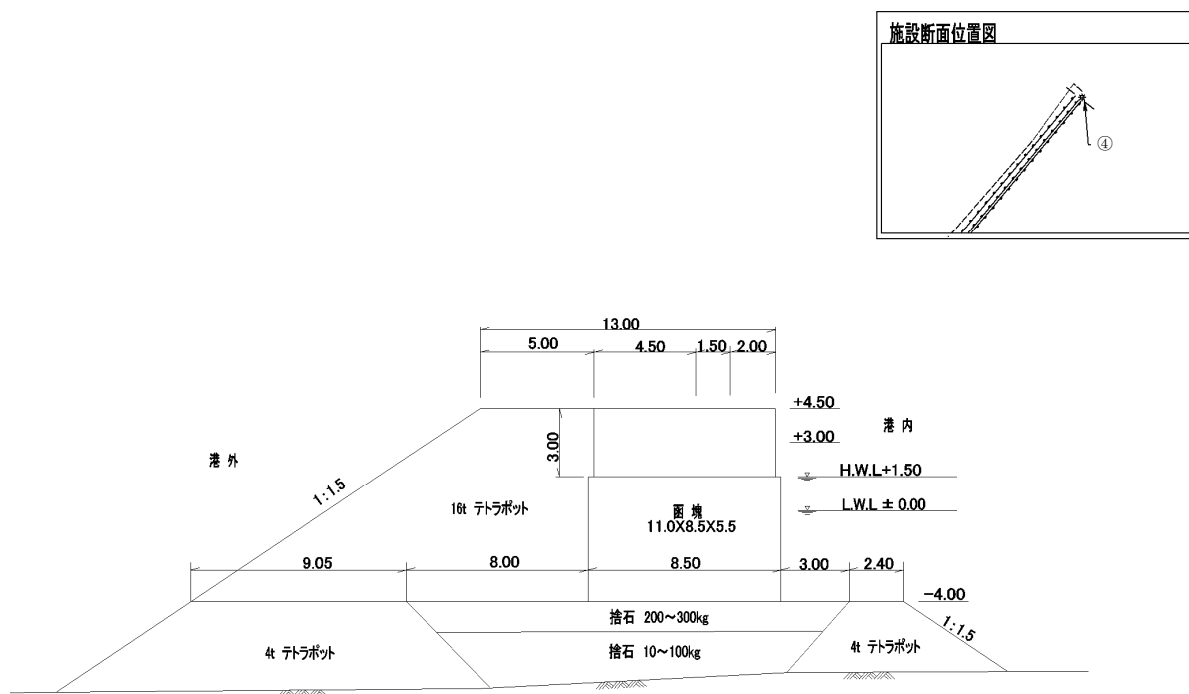


図-A.4.39 No.5 諏訪下地区_1号護岸の断面図(復旧後)



図一A. 4. 42 No. 6 諏訪下地区_防波堤の断面図③（被災前）



図一A. 4. 43 No. 6 諏訪下地区_防波堤の断面図④（被災前）

図-A.4.44 No.6 諏訪下地区_防波堤の平面図（復旧後）

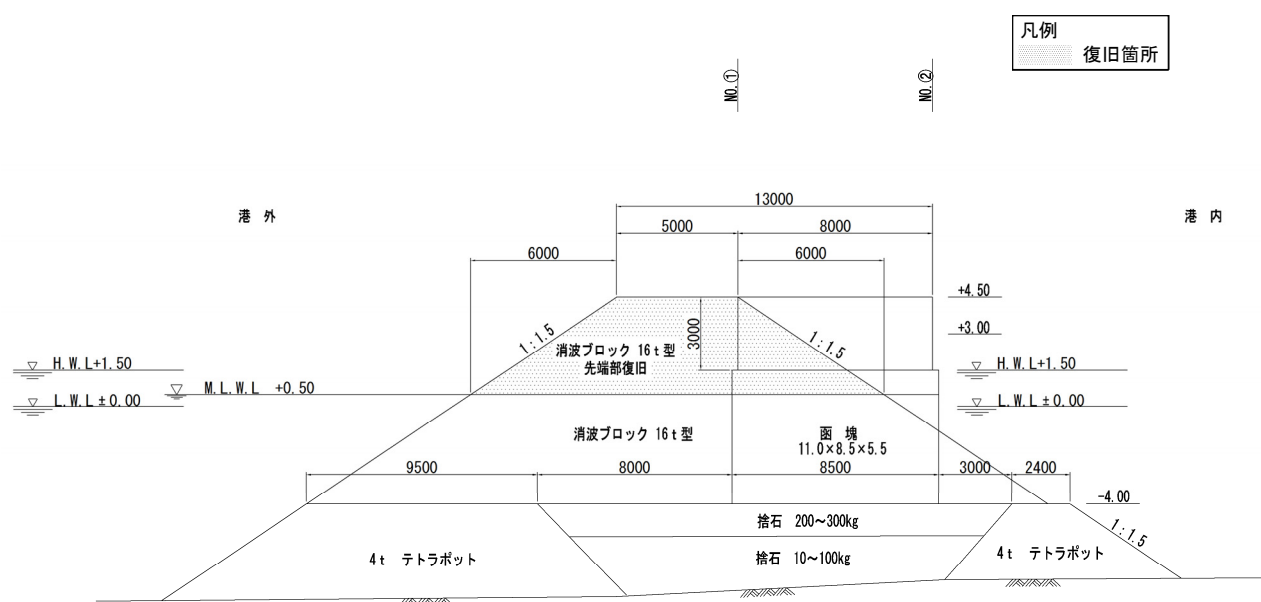


図-A.4.45 No.6 諏訪下地区_防波堤の断面図（復旧後）

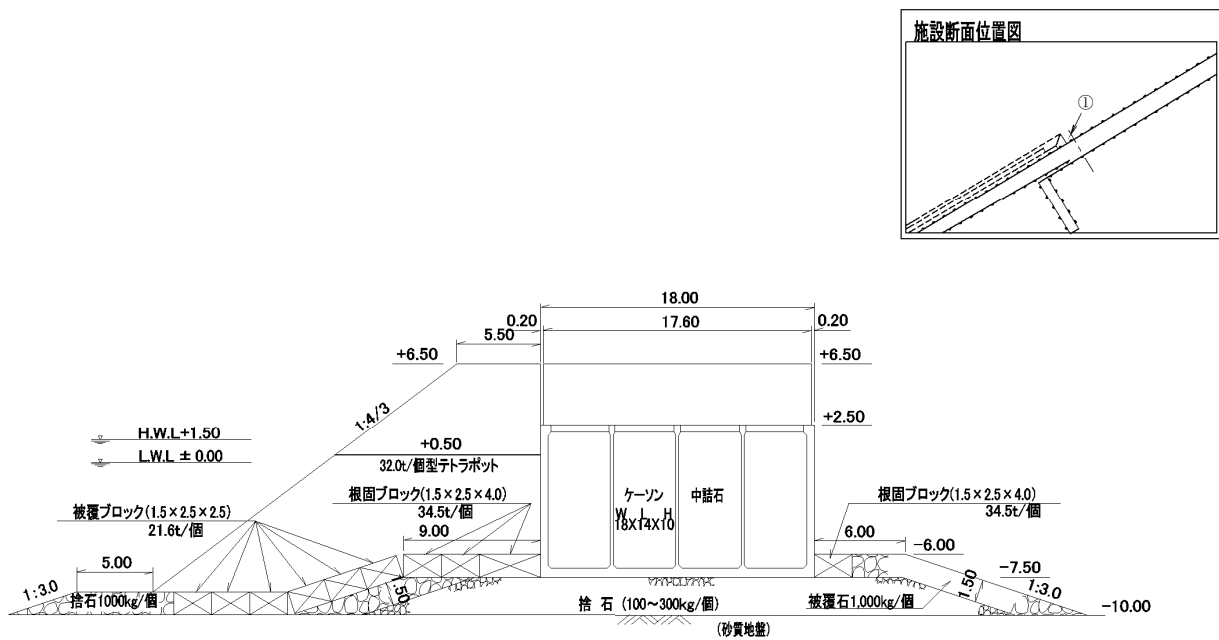


図-A.4.46 No.7 諏訪下地区_外防波堤の断面図①（被災前）

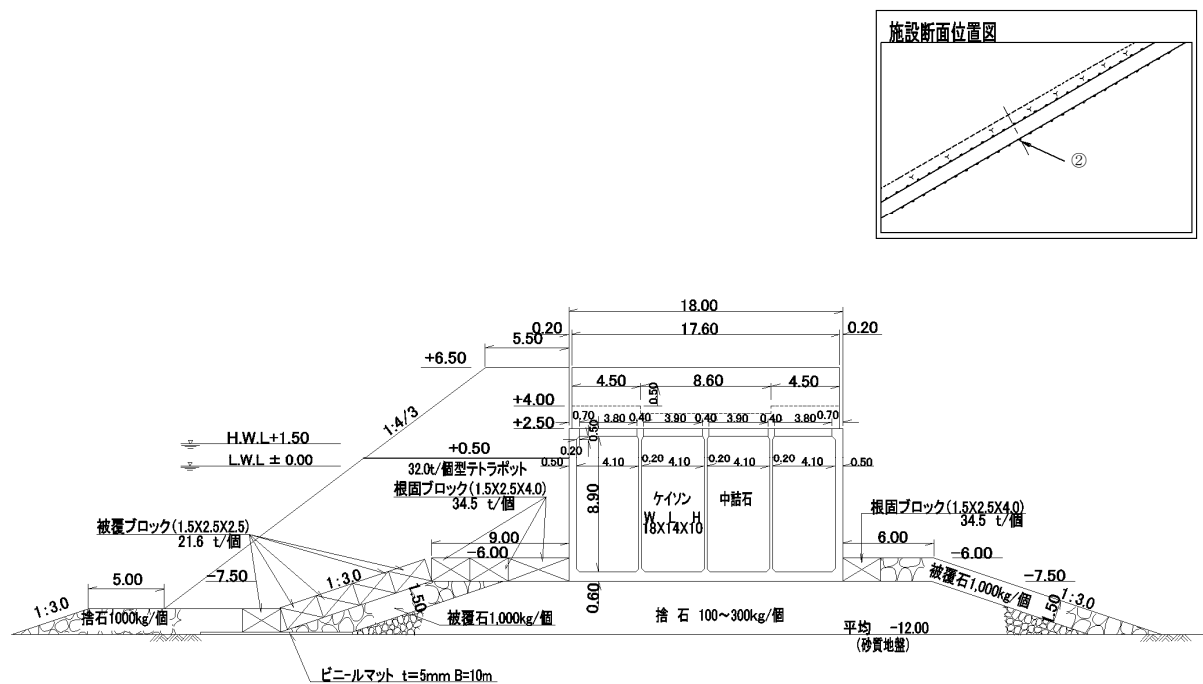


図-A.4.47 No.7 諏訪下地区_外防波堤の断面図②（被災前）

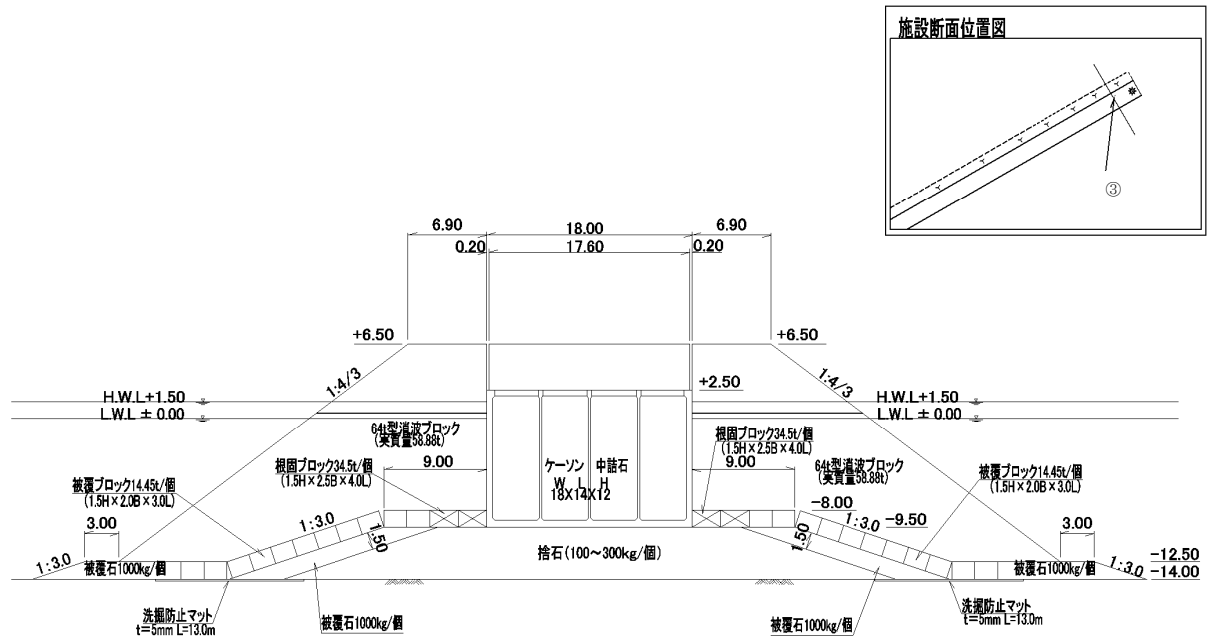


図-A.4.48 No. 7 諏訪下地区_外防波堤の断面図③ (被災前)

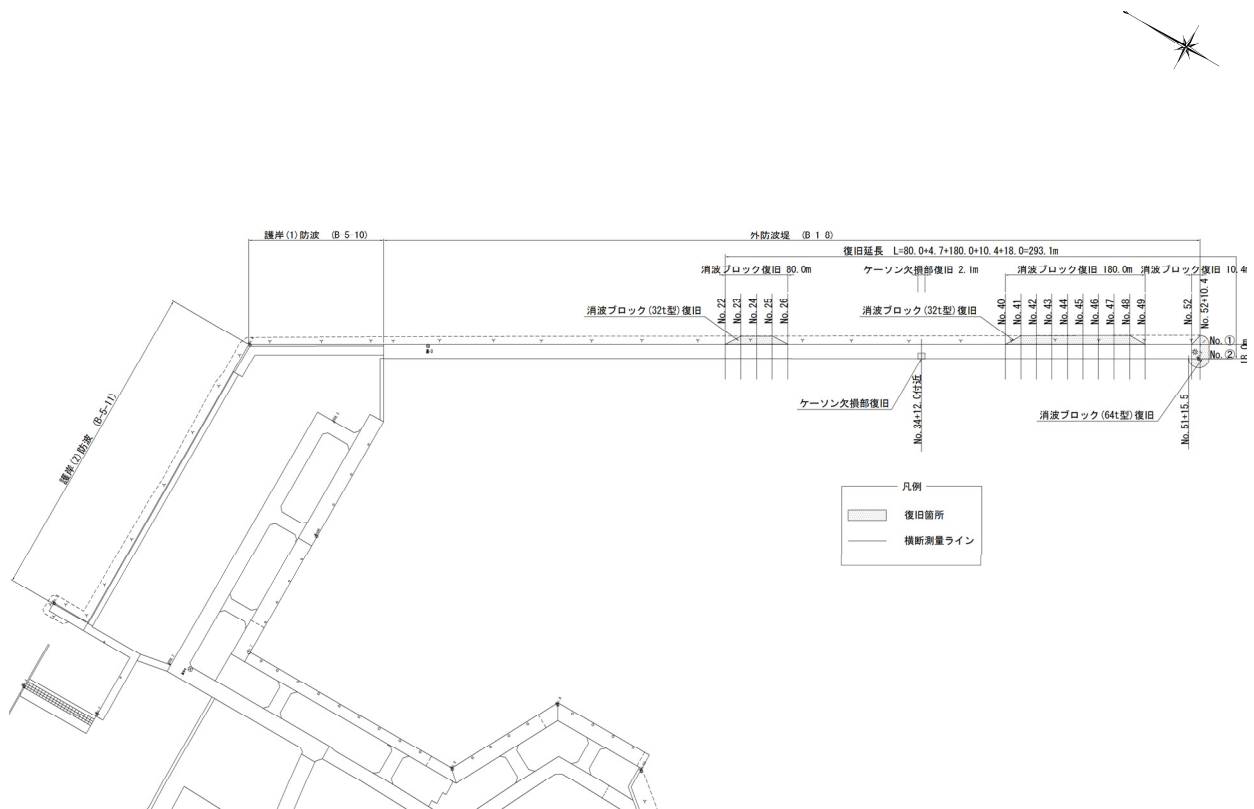
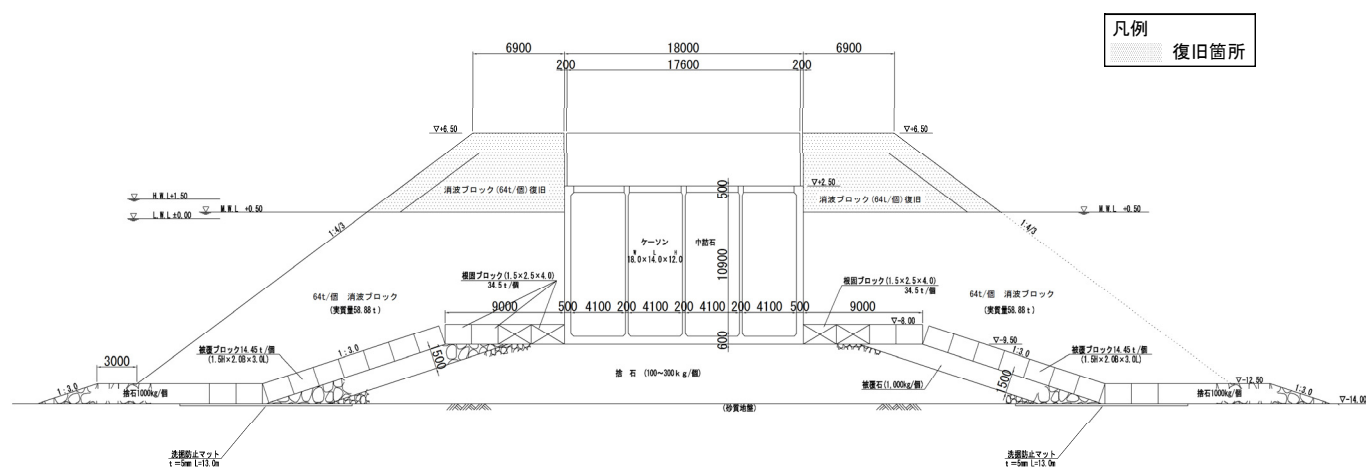
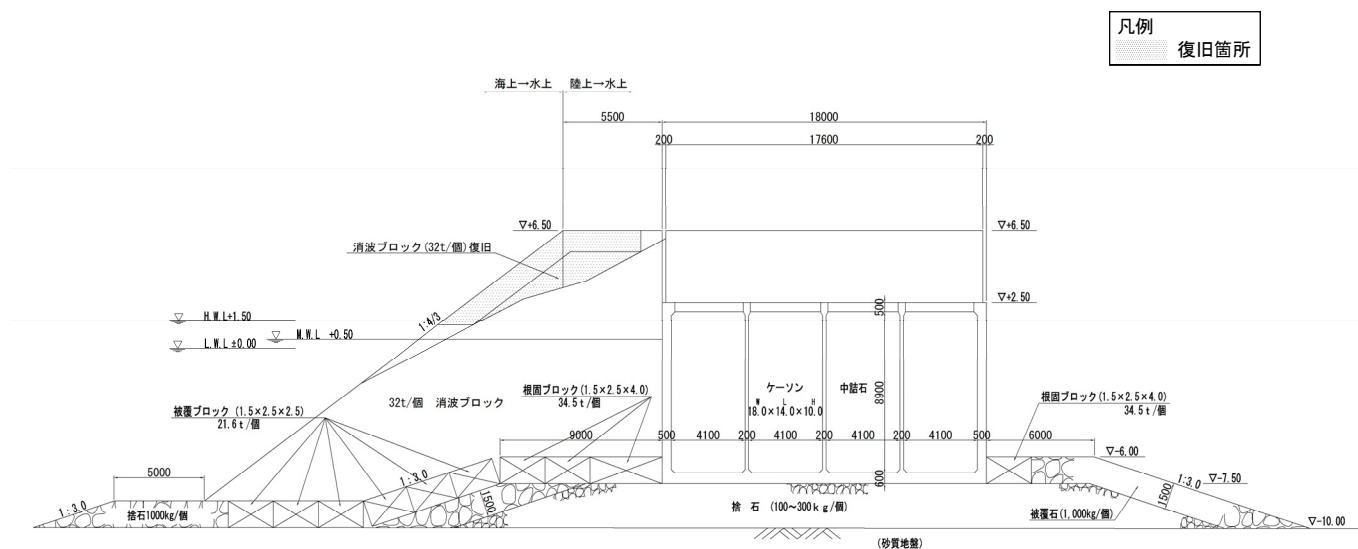


図-A.4.49 No. 7 諏訪下地区_外防波堤の平面図 (復旧後)

(久慈港)



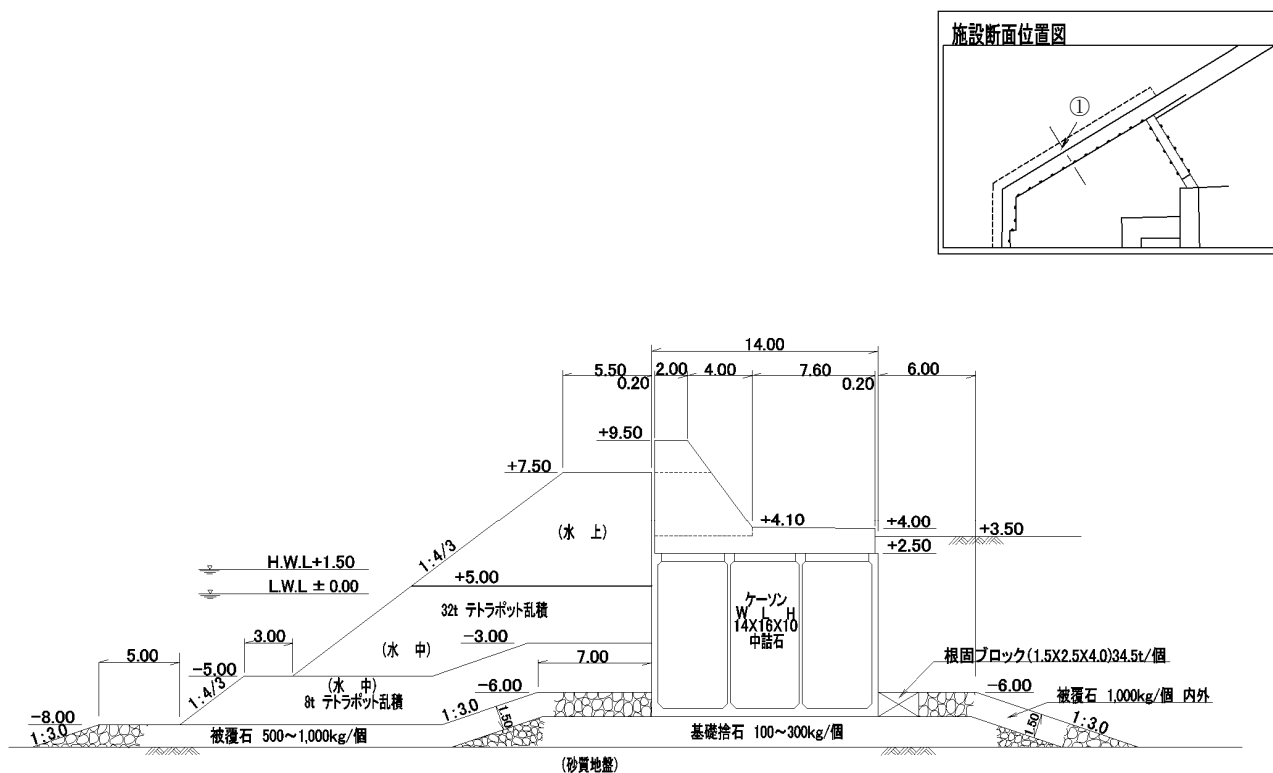


図-A. 4.52 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の断面図①(被災前)

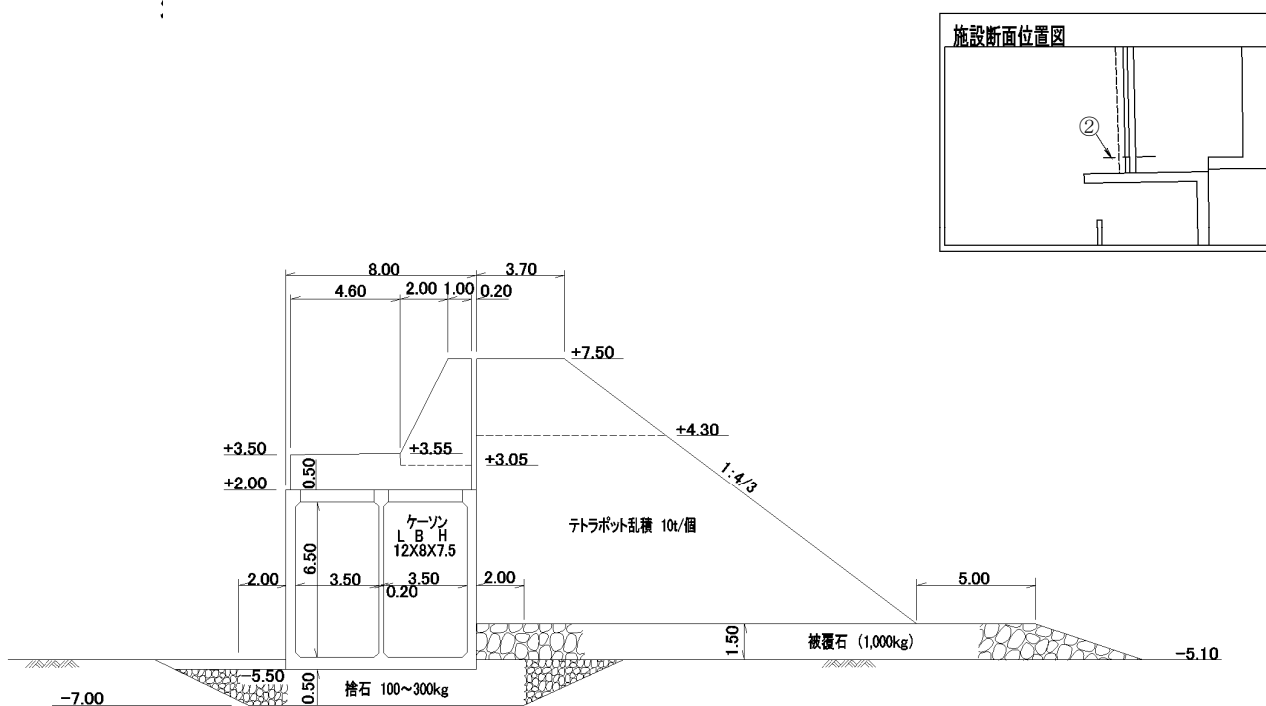
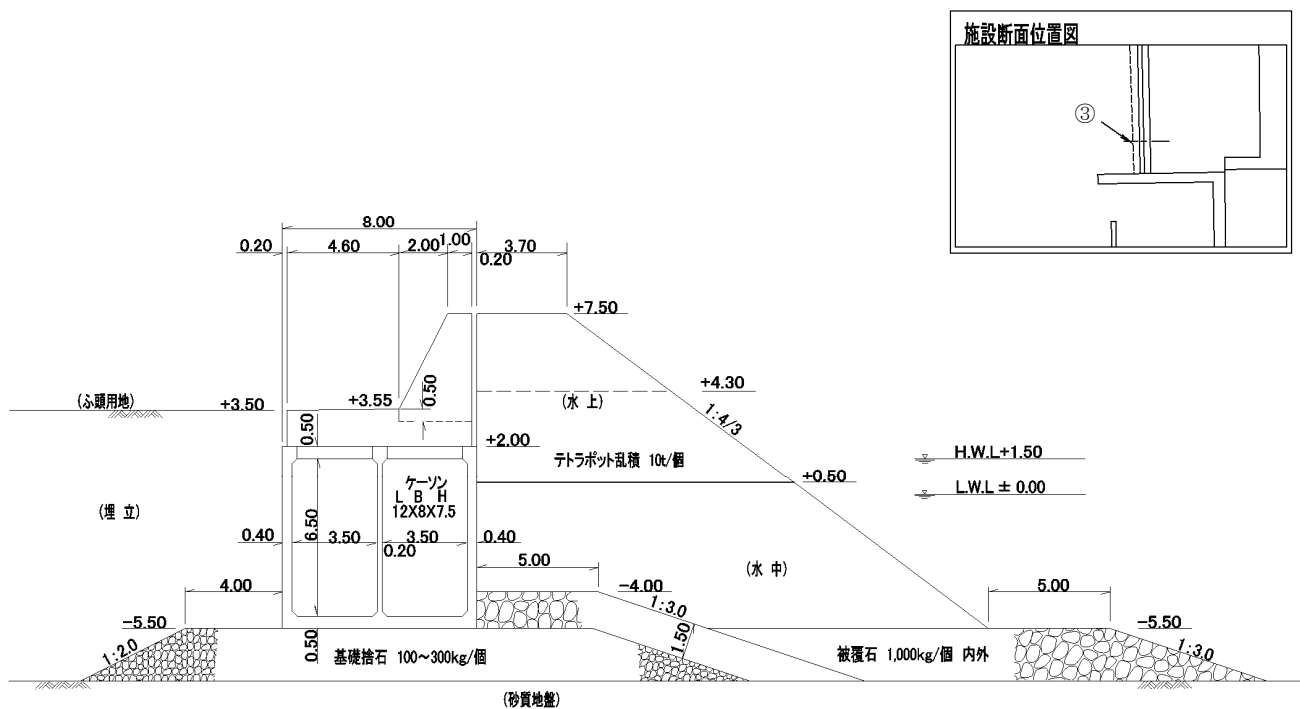
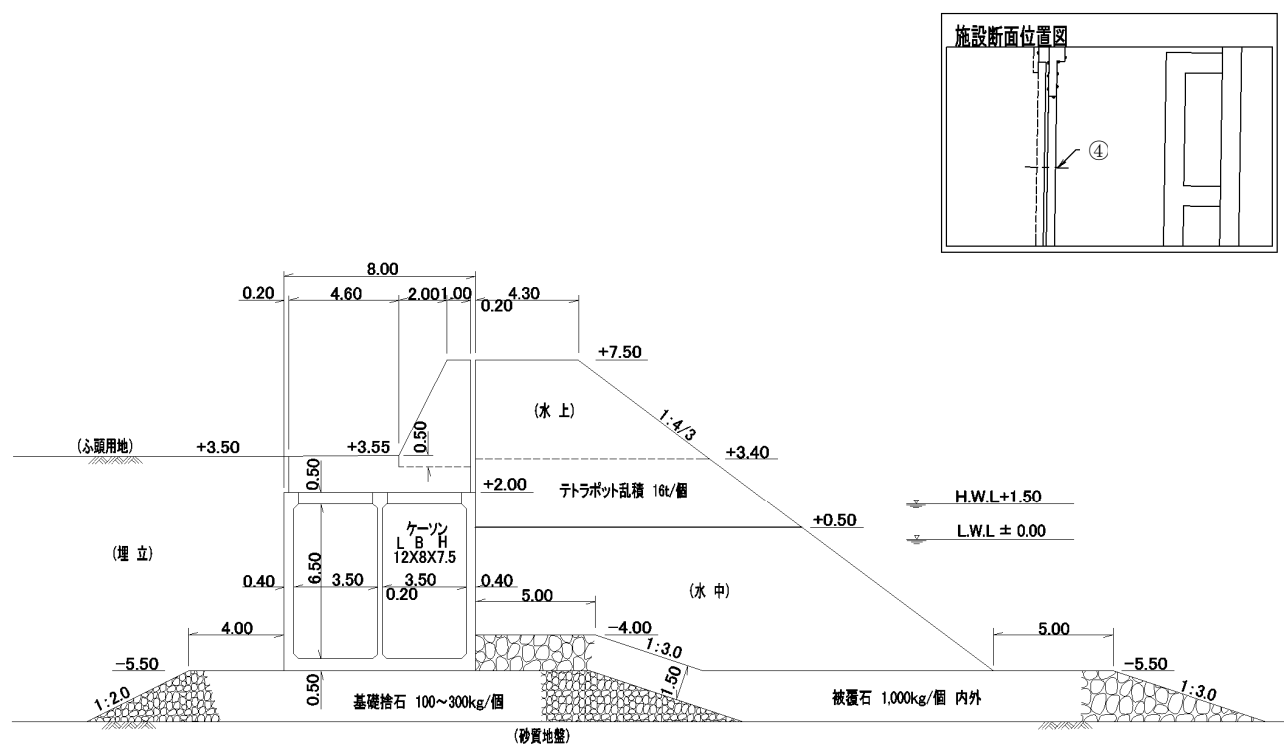


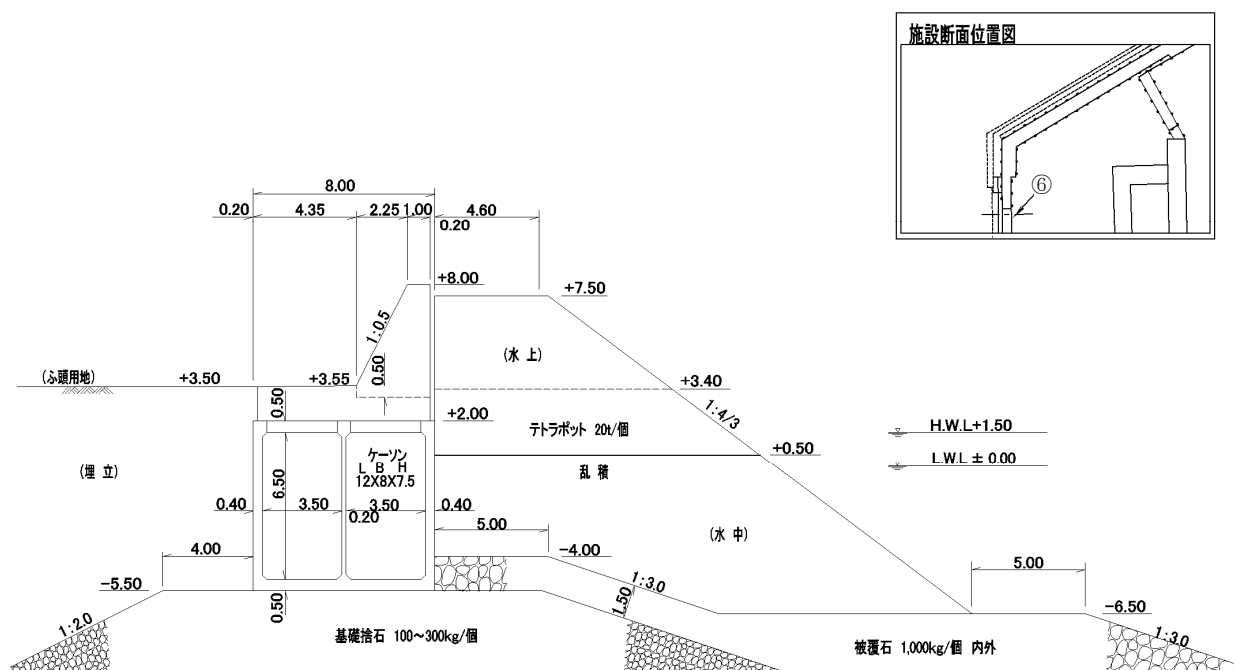
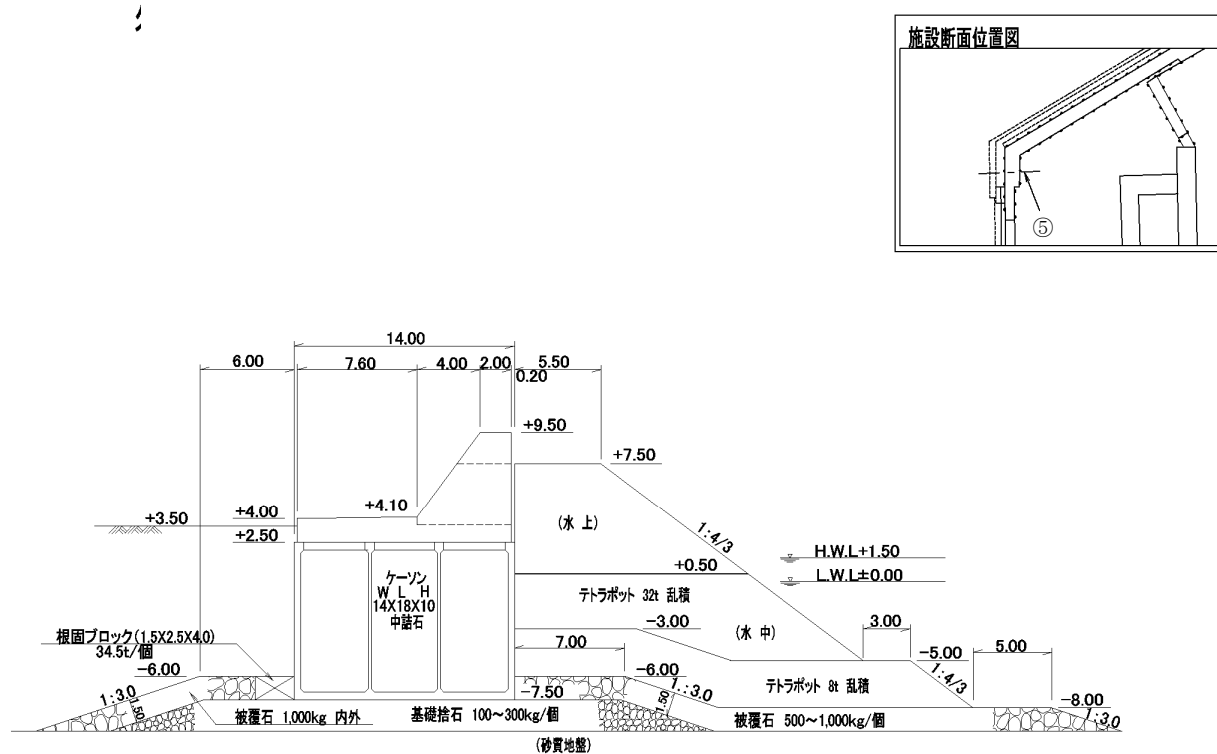
図-A. 4.53 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の断面図②(被災前)

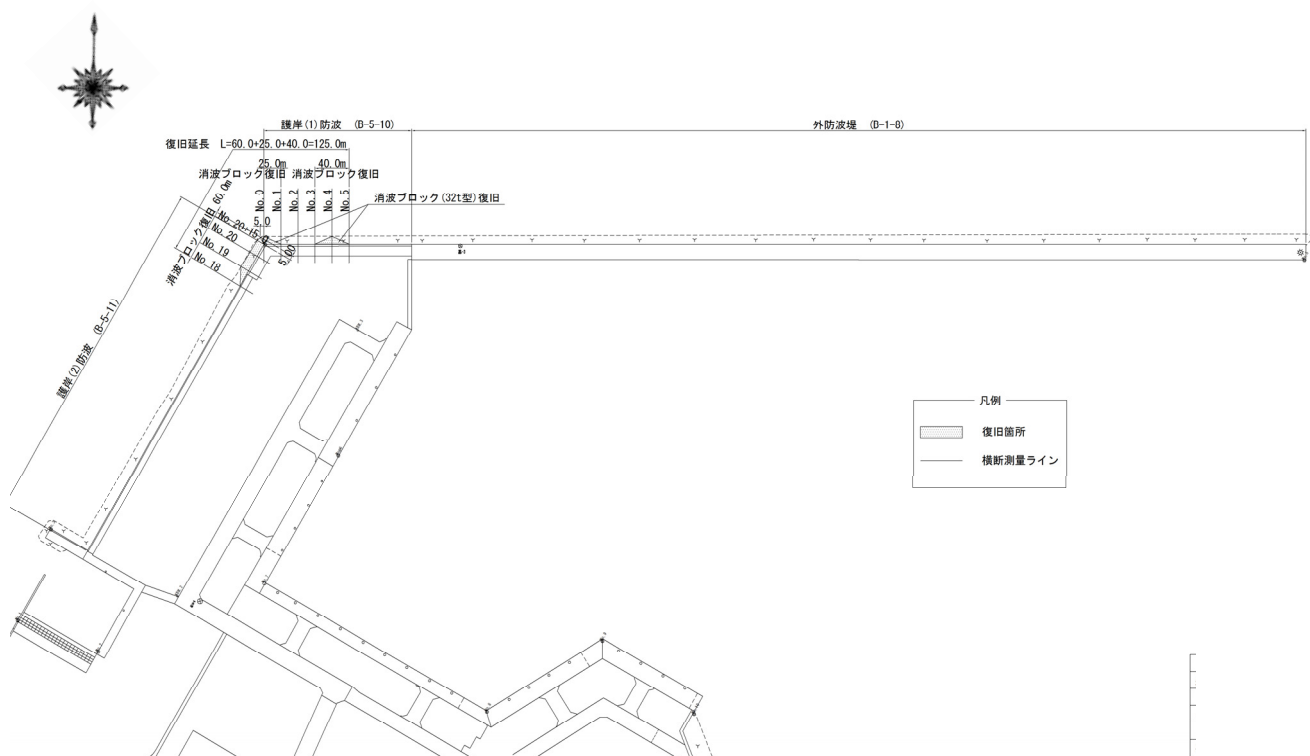


図一A. 4. 54 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の断面図③(被災前)

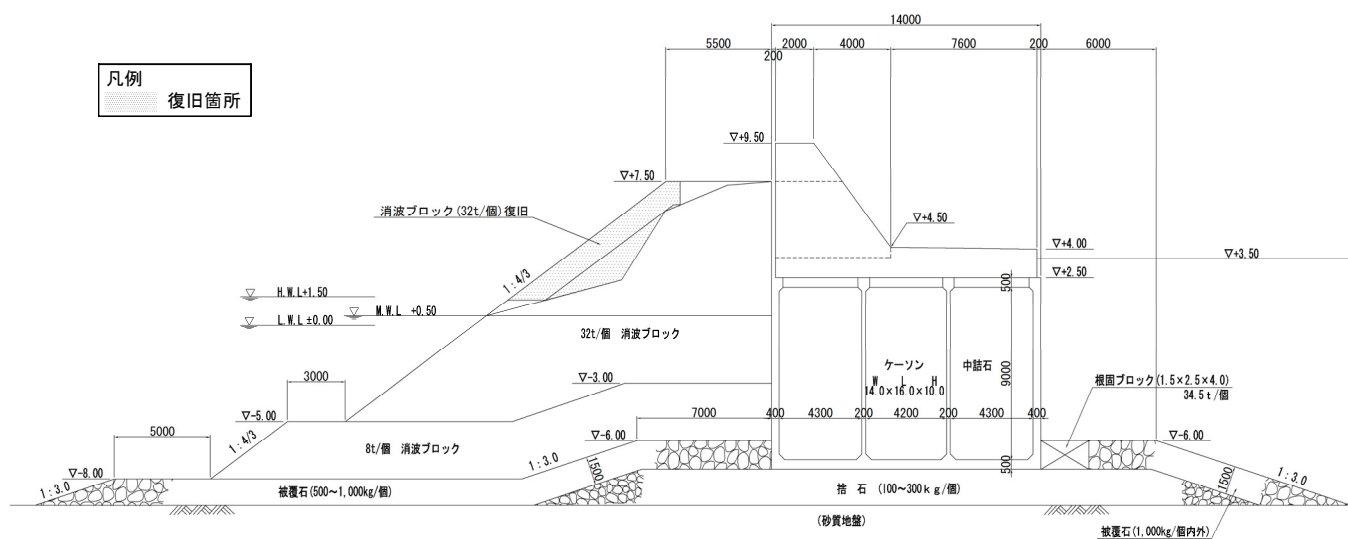


図一A. 4. 55 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の断面図④(被災前)





図—A. 4. 58 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の平面図（復旧後）



図—A. 4. 59 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の断面図（復旧後）

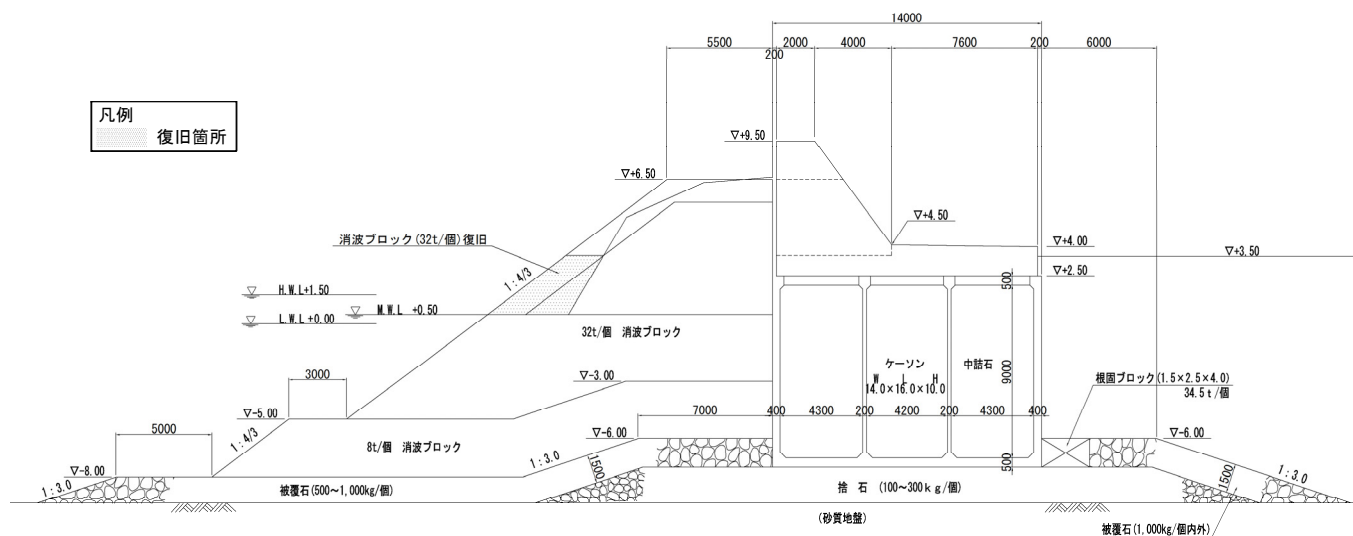
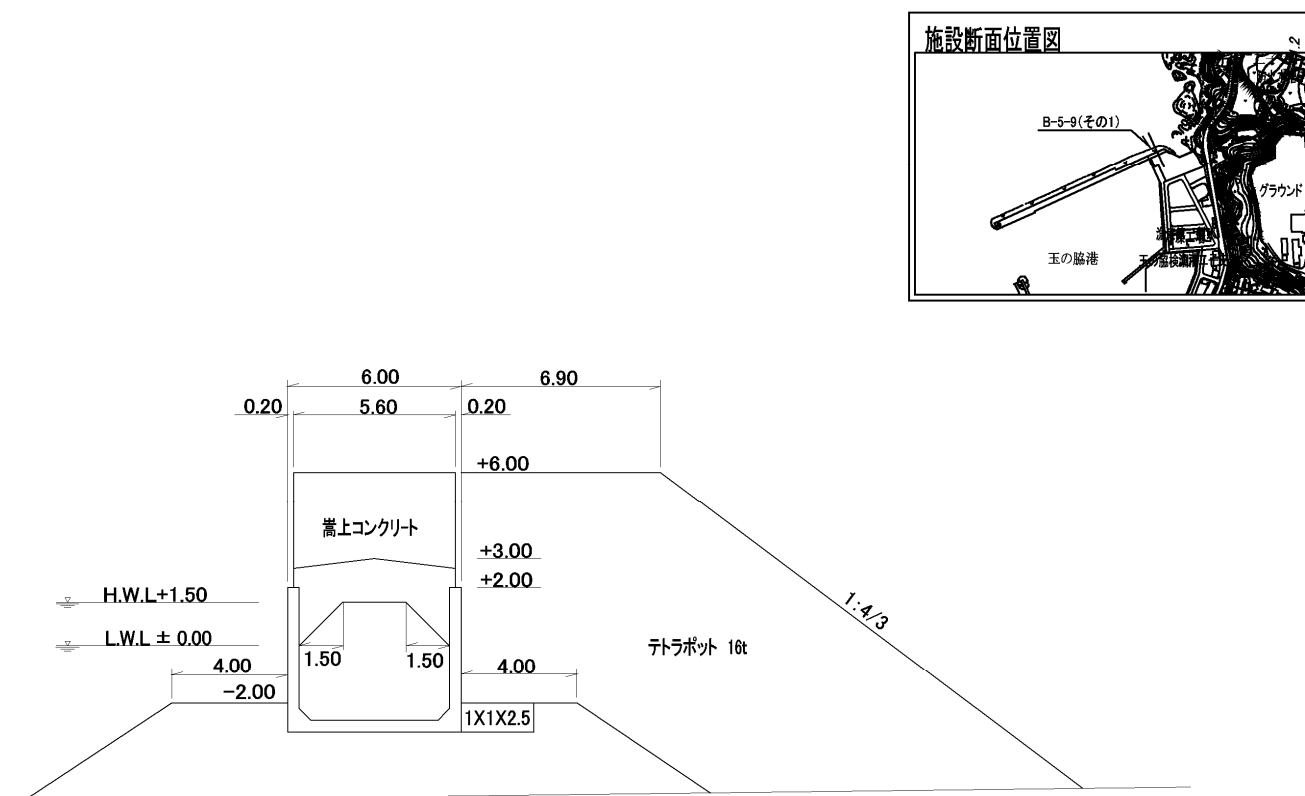
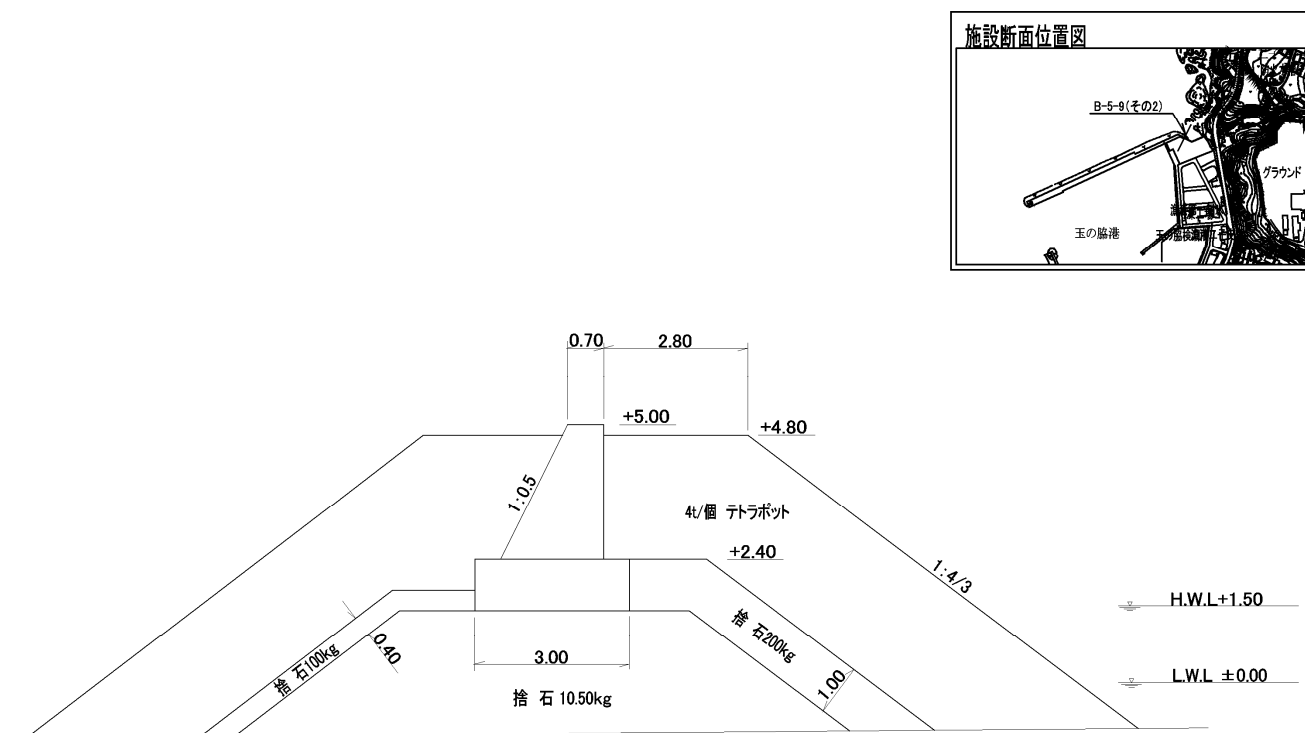


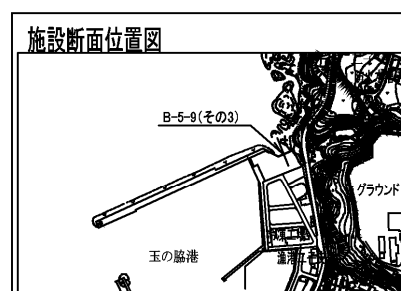
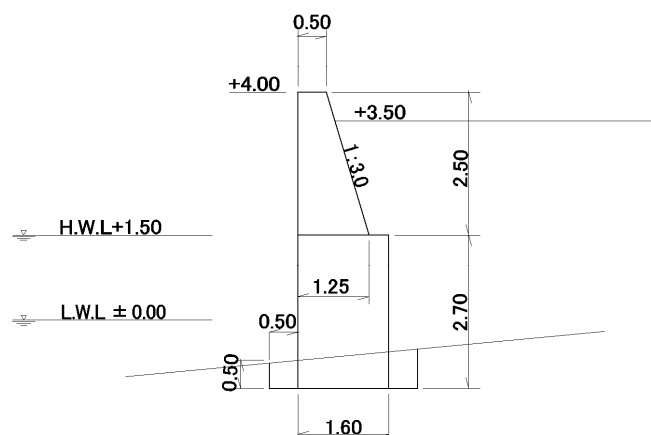
図-A. 4. 60 No. 8 諏訪下地区_護岸防波(1)(2)の断面図 (復旧後)



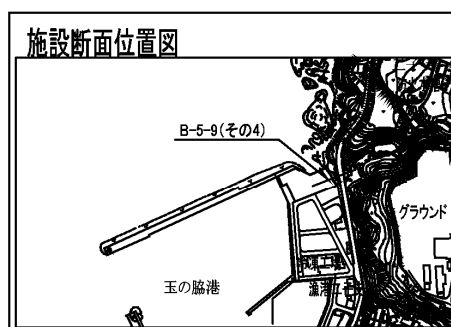
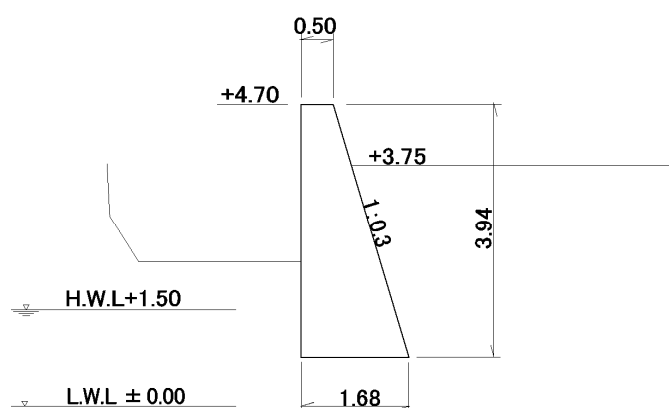
図一A. 4. 61 No. 9 玉の脇地区_南護岸の断面図 B-5-9(その 1) (被災前)



図一A. 4. 62 No. 9 玉の脇地区_南護岸の断面図 B-5-9(その 2) (被災前)



図－A. 4. 63 No. 9 玉の脇地区_南護岸の断面図 B-5-9(その 3) (被災前)



図－A. 4. 64 No. 9 玉の脇地区_南護岸の断面図 B-5-9(その 4) (被災前)

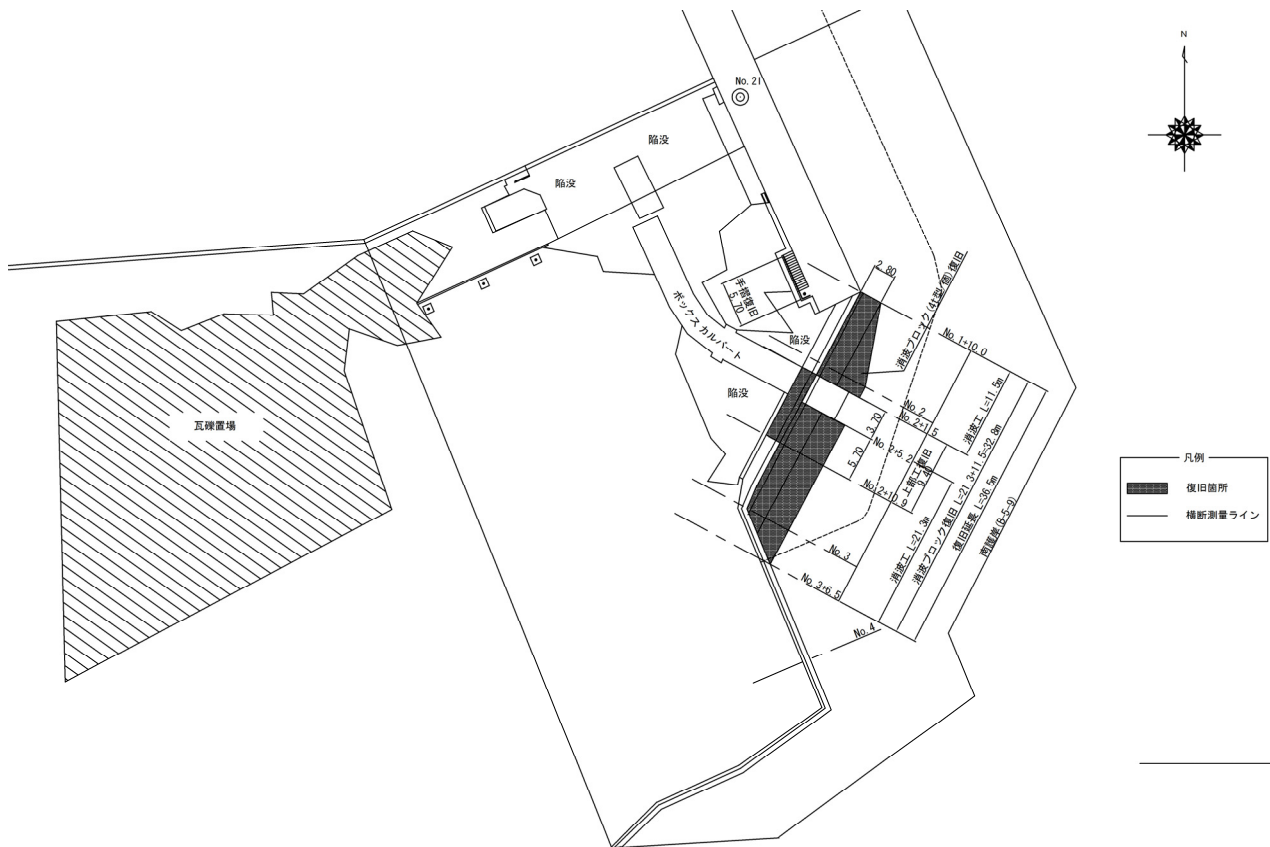


図-A.4.65 No.9 玉の脇地区_南護岸の平面図（復旧後）

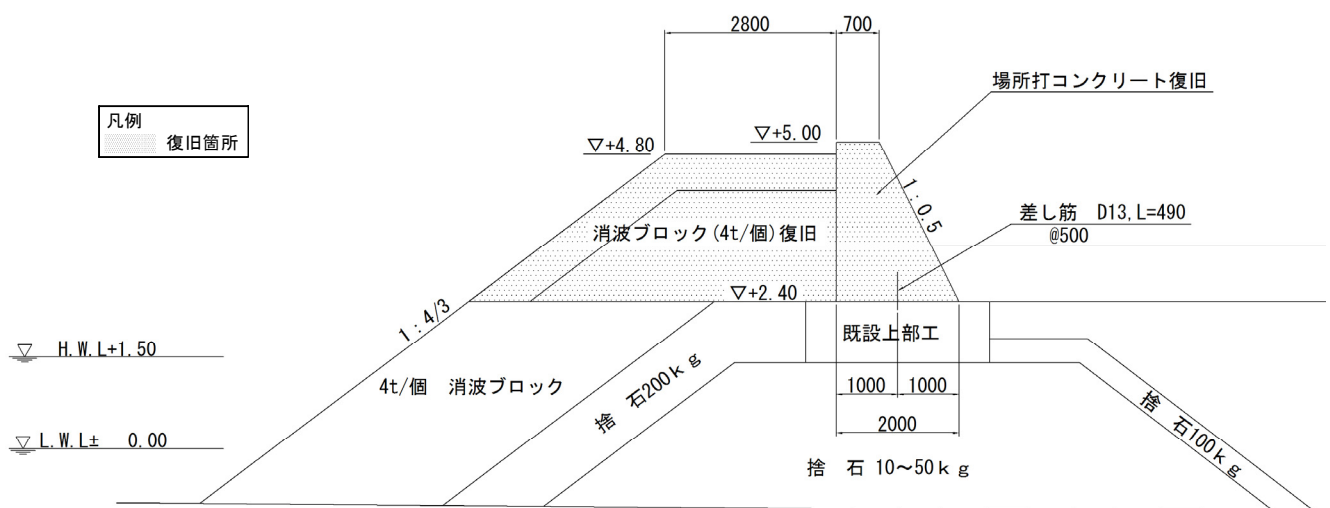
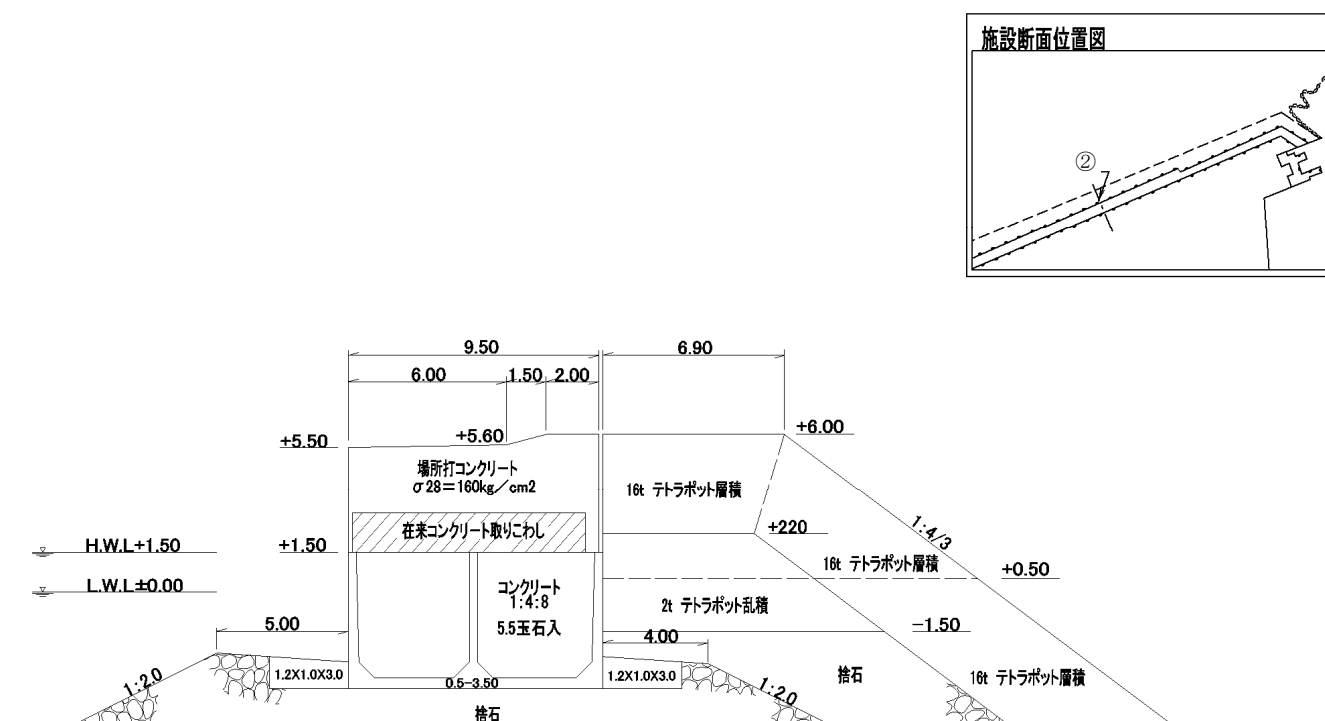
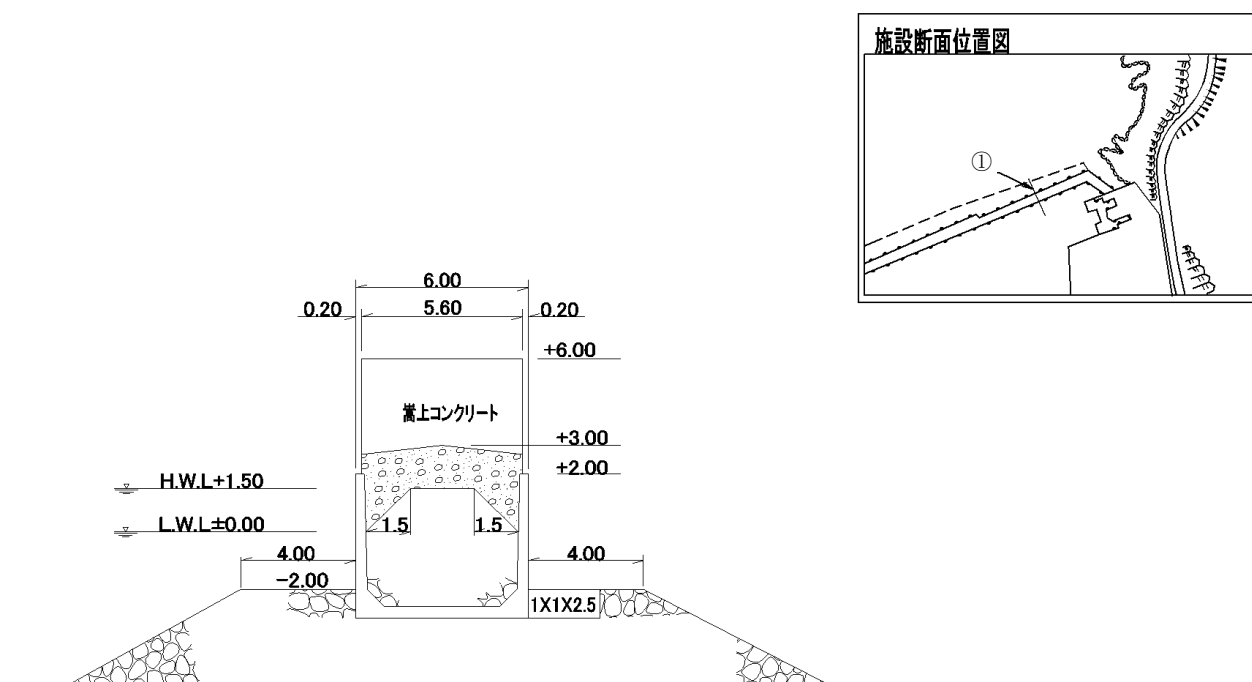


図-A.4.66 No.9 玉の脇地区_南護岸の断面図（復旧後）



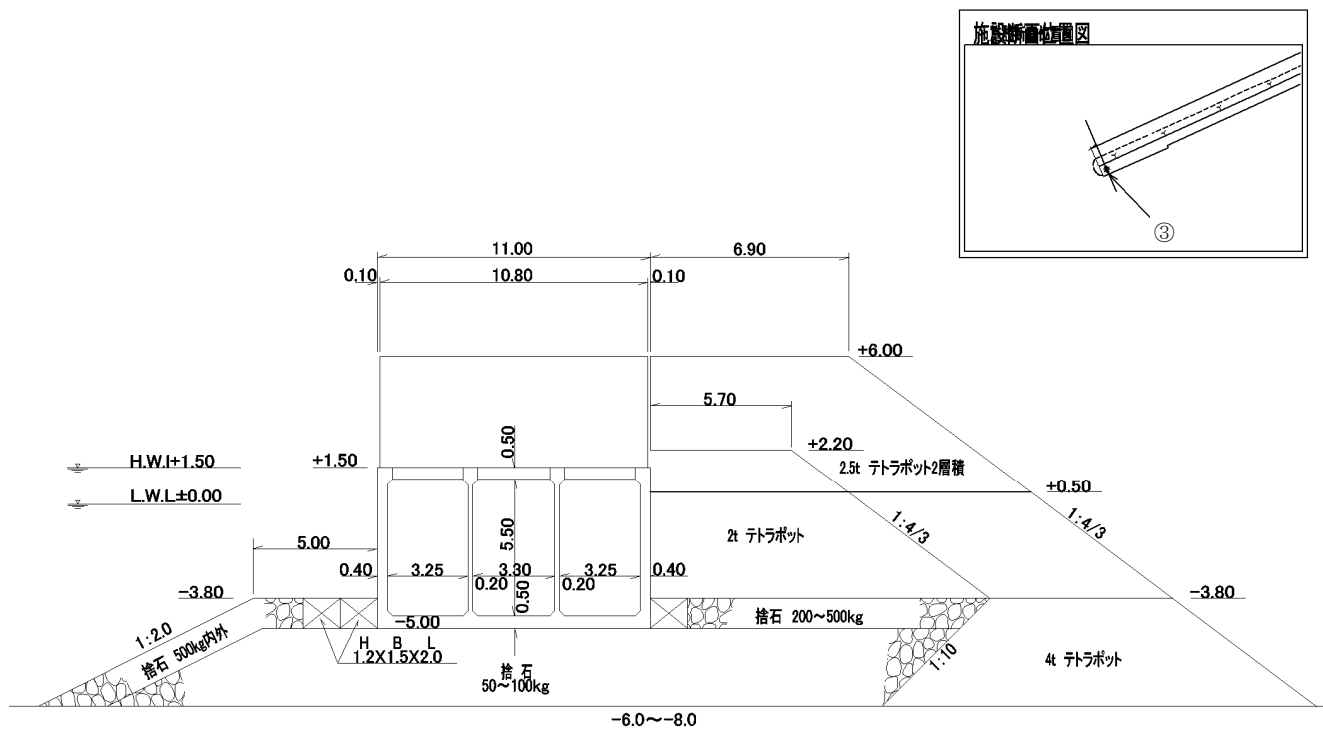


図-A. 4. 69 No. 10 玉の脇地区_外防波堤の断面図③ (被災前)

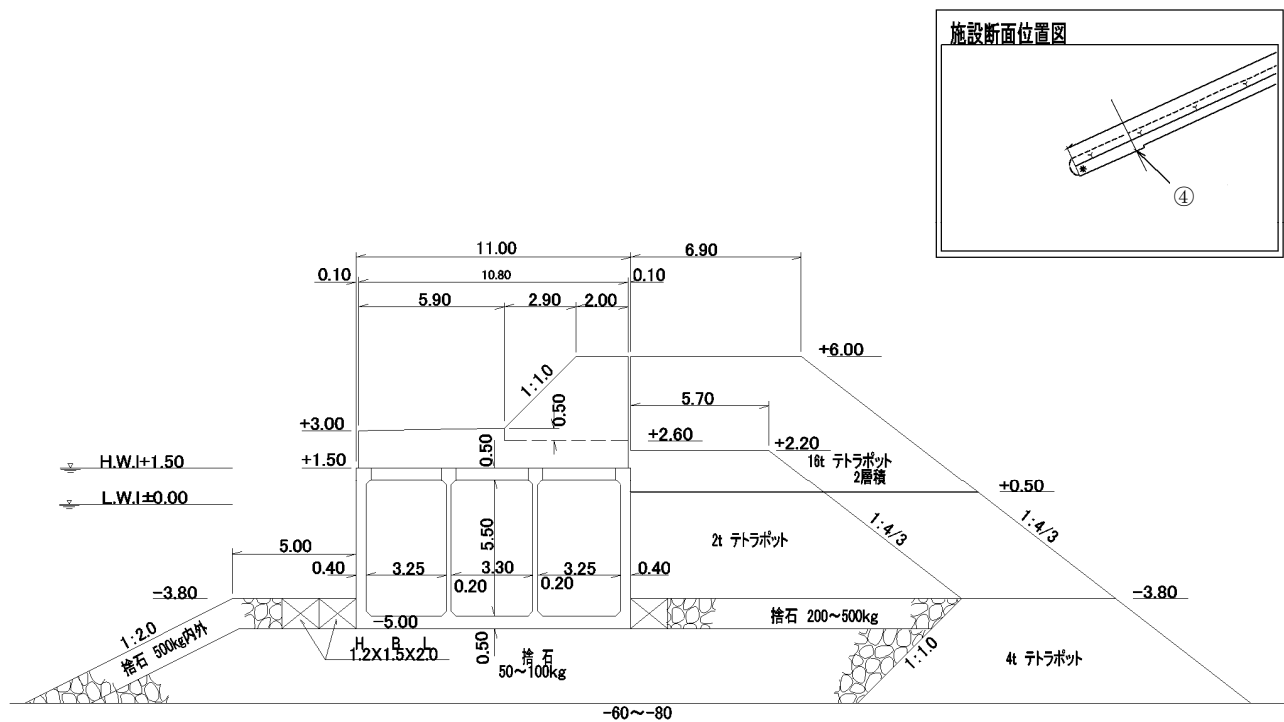


図-A. 4. 70 No. 10 玉の脇地区_外防波堤の断面図④ (被災前)

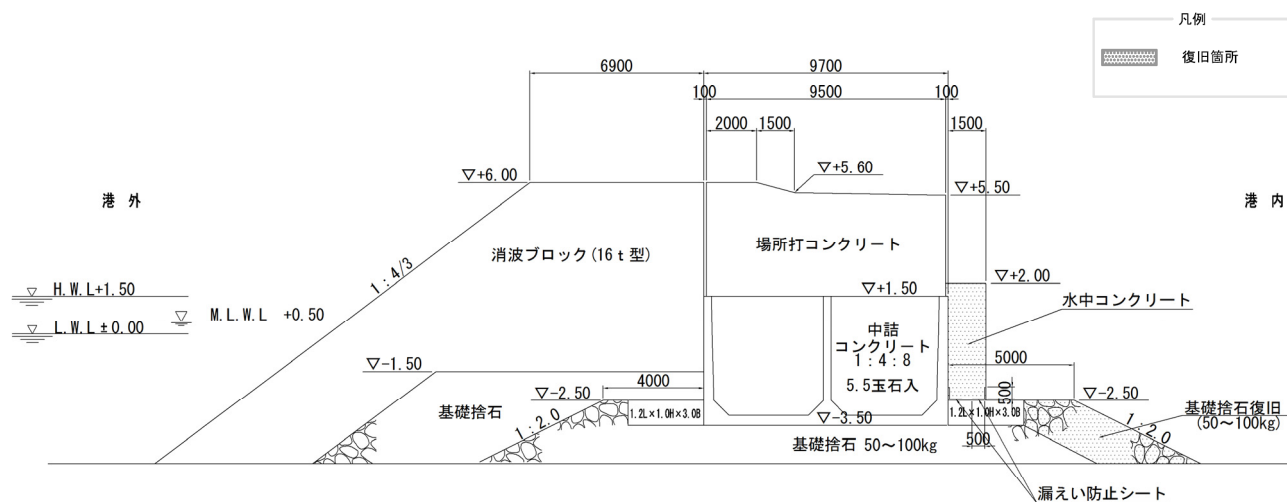


図-A.4.74 No.10 玉の脇地区_外防波堤の断面図（復旧後）
（図-A.4.75中の No.3～No.11）

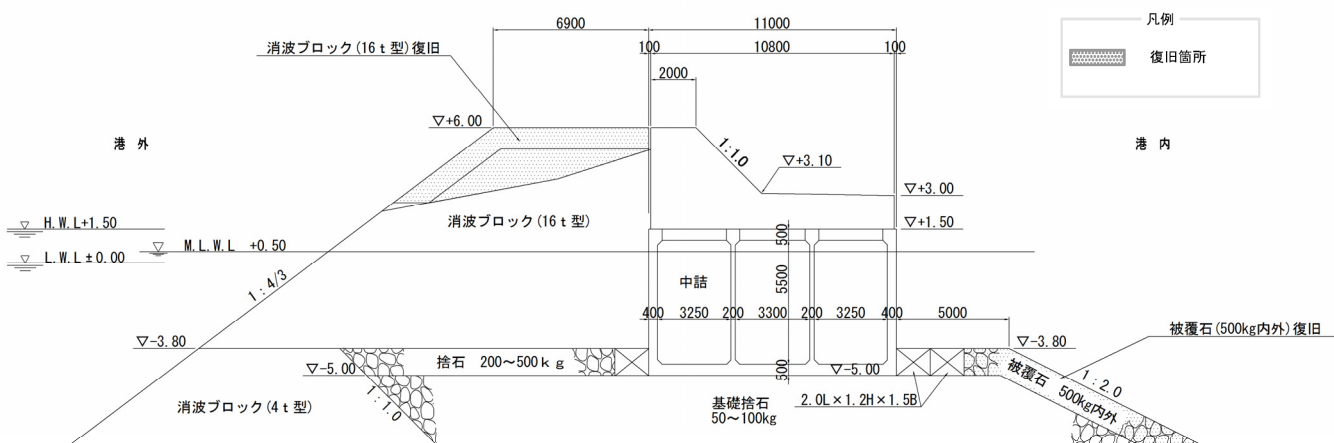
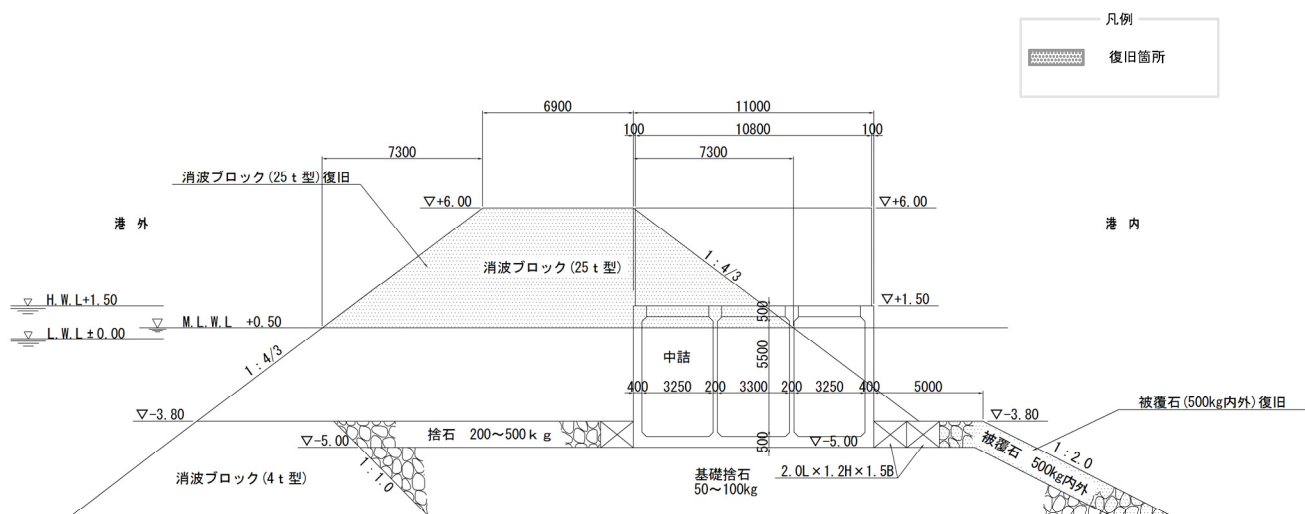


図-A.4.76 No.10 玉の脇地区_外防波堤の断面図（復旧後）
（図-A.4.77中のNo.11～No.14）



図一A.4.78 No.10 玉の脇地区_外防波堤の断面図 堤頭部（復旧後）

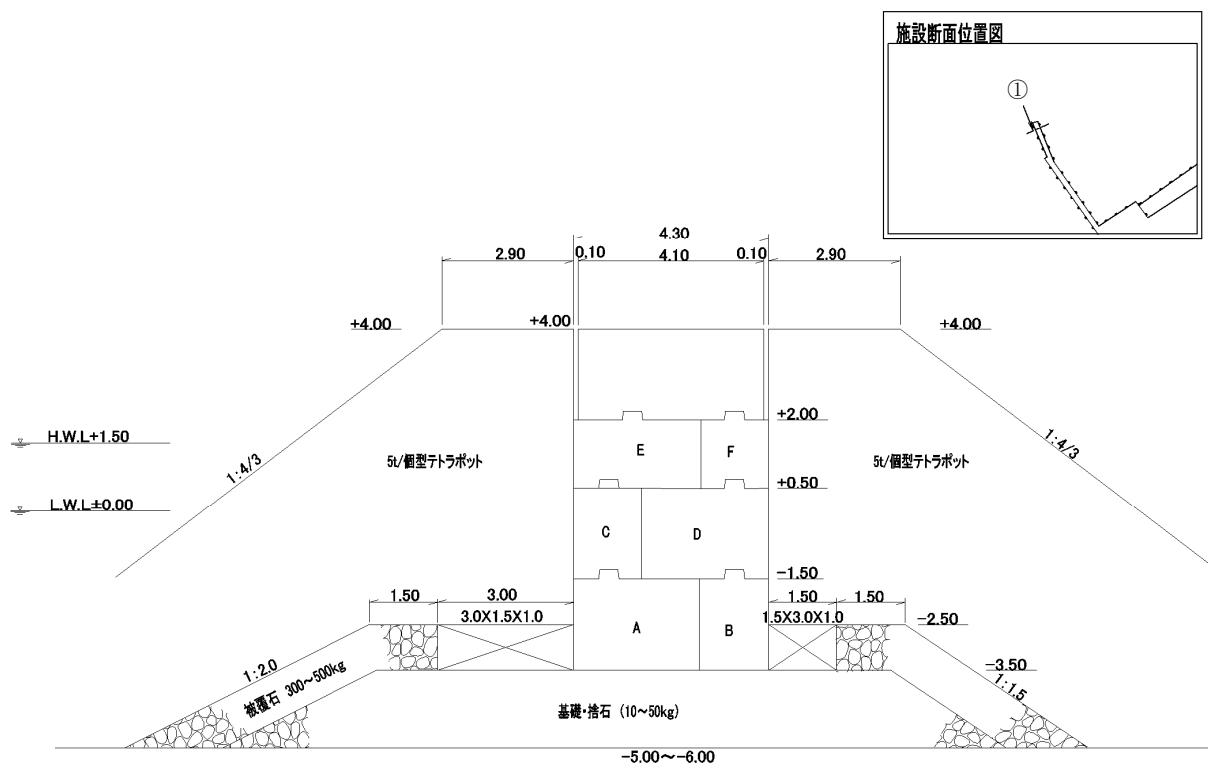


図-A. 4. 79 No. 11 玉の脇地区_北防波堤の断面図① (被災前)

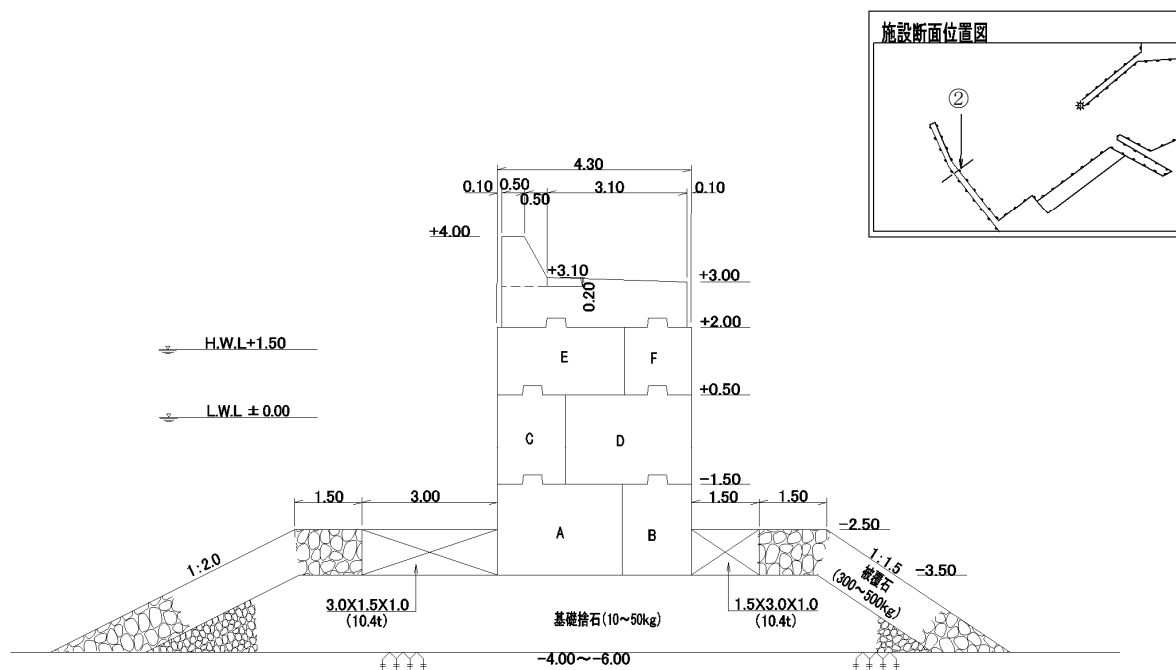


図-A. 4. 80 No. 11 玉の脇地区_北防波堤の断面図② (被災前)

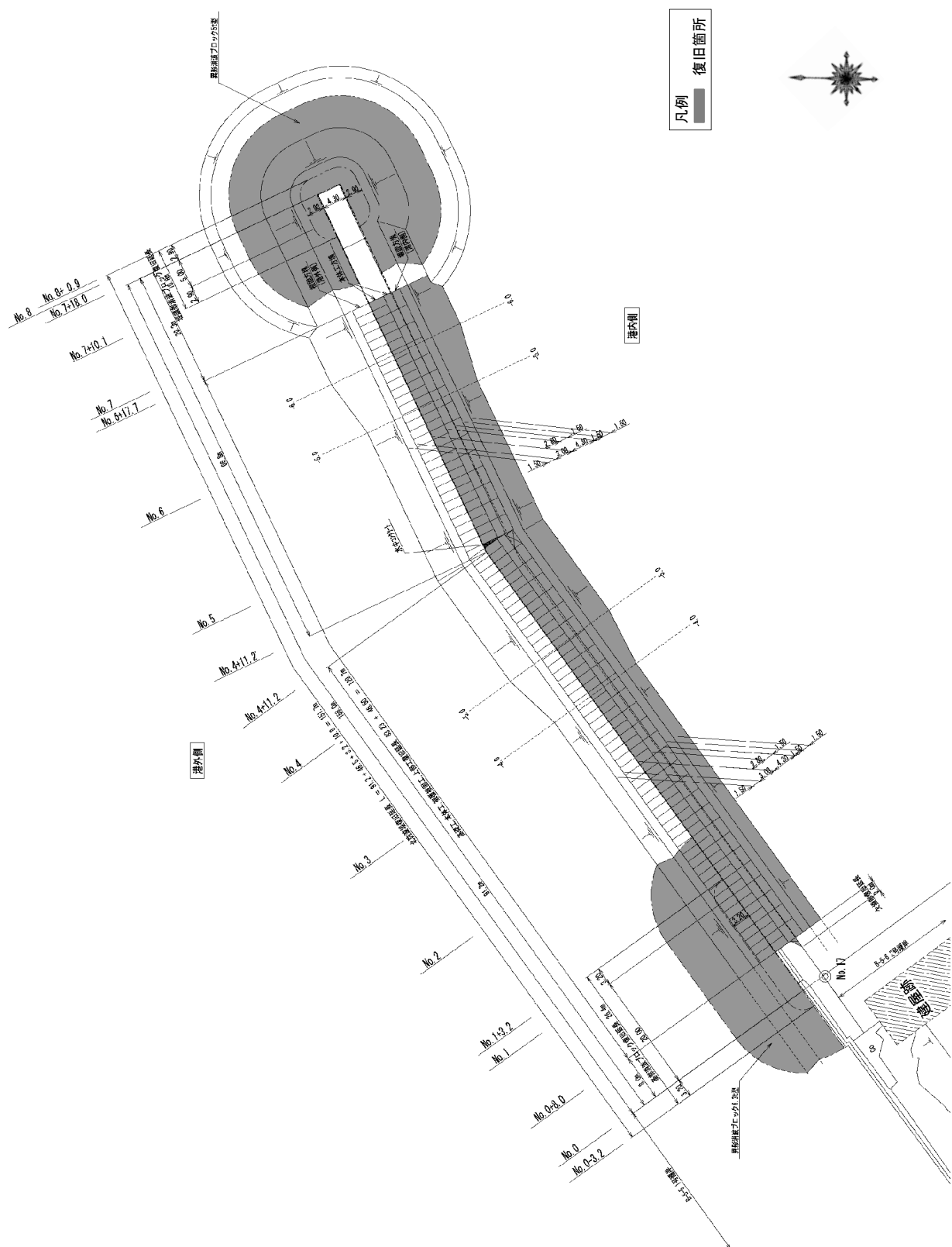
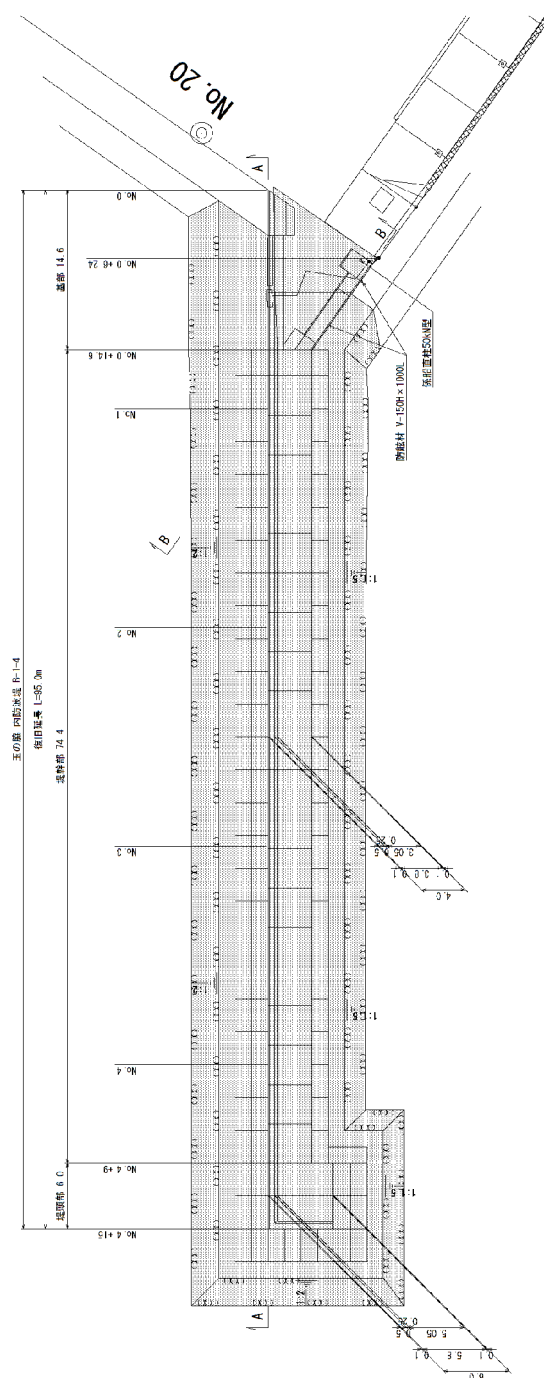
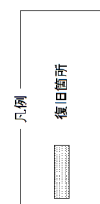


図-A.4.81 No. 11 玉の脇地区_北防波堤の平面図（復旧後）



(久慈港)
- 920 -

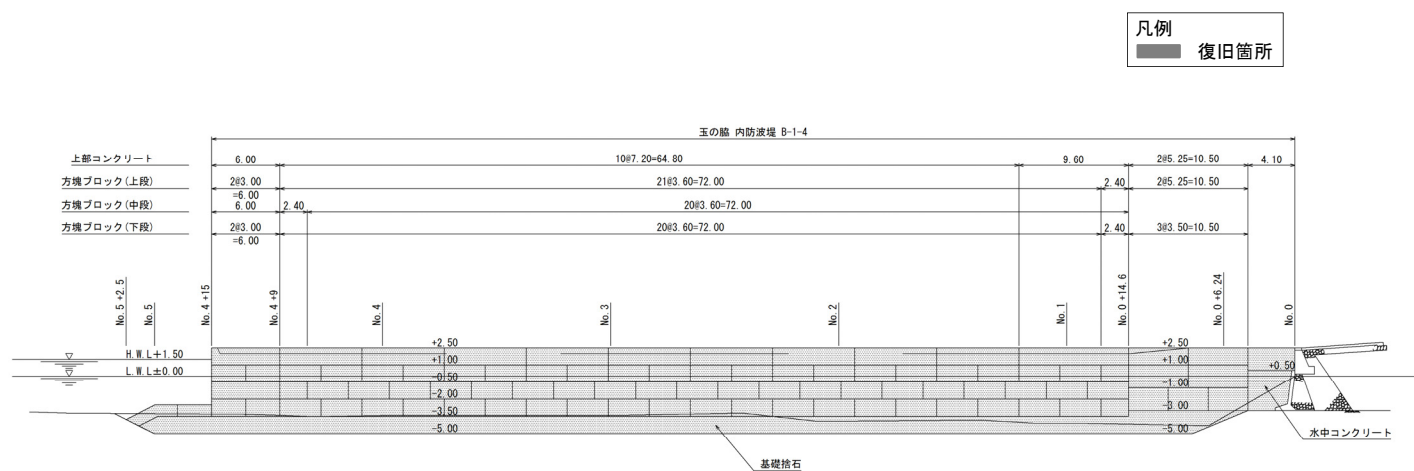


図-A. 4. 86 No. 12 玉の脇地区_内防波堤の縦断図 A-A (復旧後)

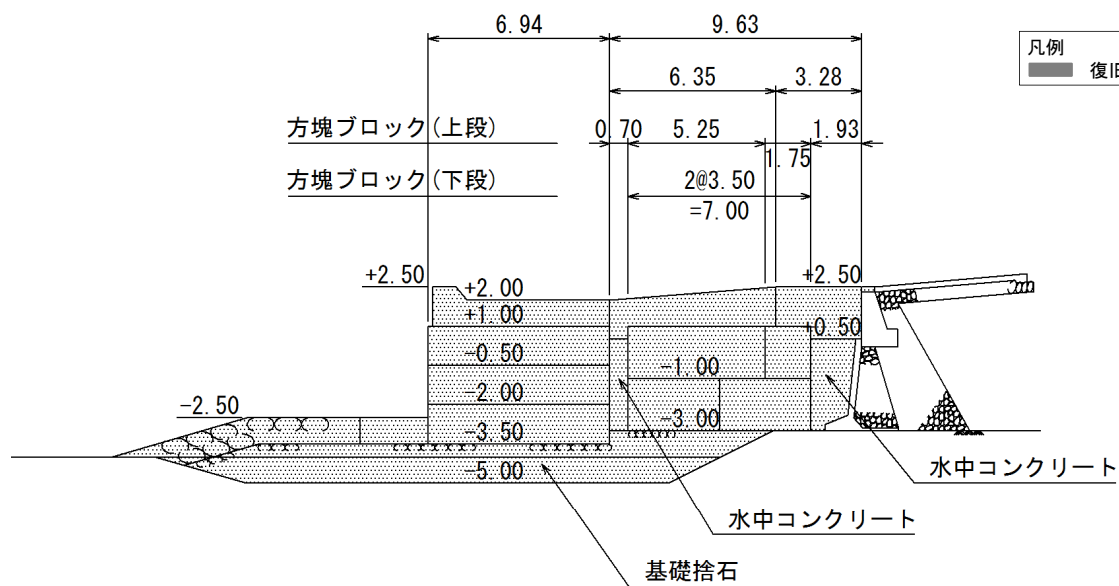


図-A. 4. 87 No. 12 玉の脇地区_内防波堤の縦断図 B-B (復旧後)

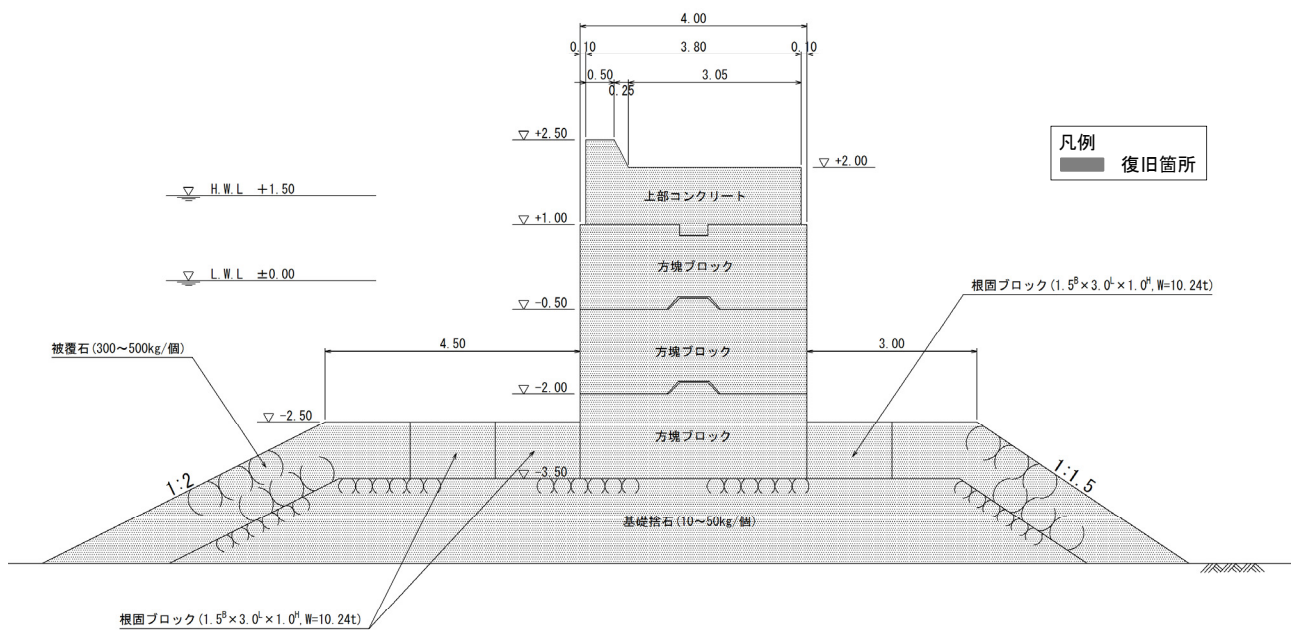


図-A. 4. 88 No. 12 玉の脇地区_内防波堤の断面図（復旧後）

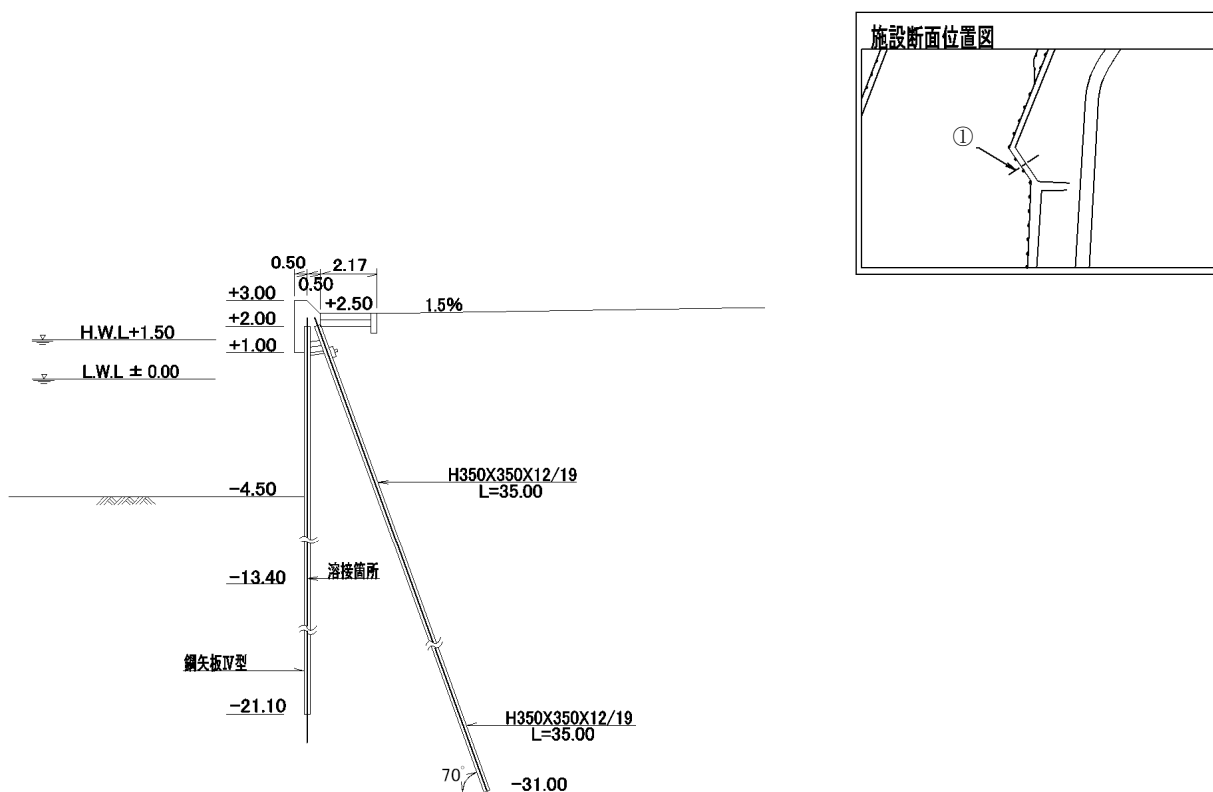


図-A. 4. 89 No. 13 堀込地区_航路南護岸の断面図① (被災前)

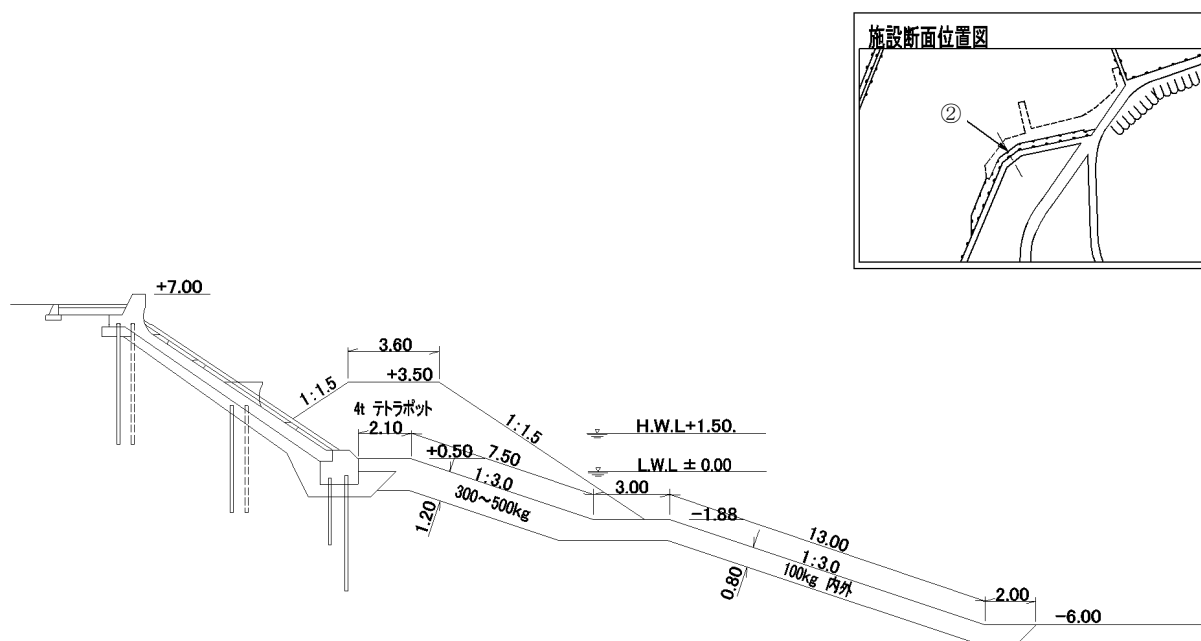


図-A. 4. 90 No. 13 堀込地区_航路南護岸の断面図② (被災前)

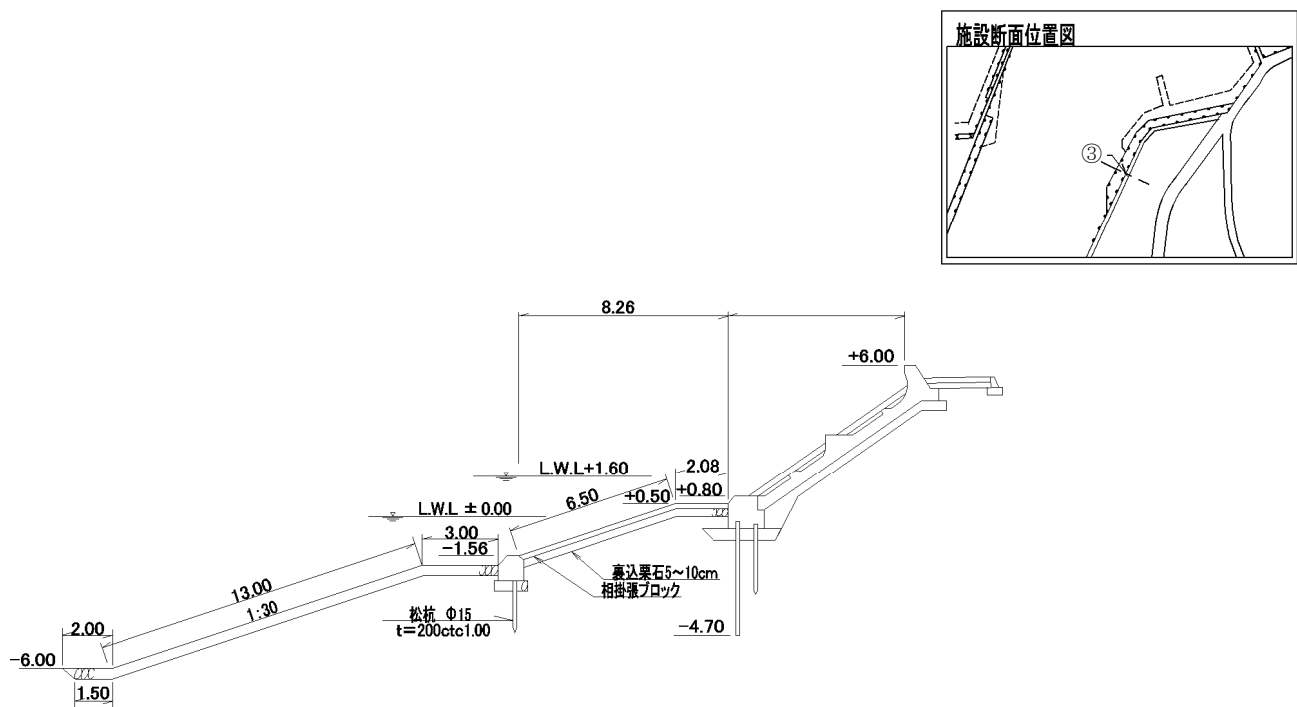


図-A. 4. 91 No. 13 堀込地区_航路南護岸の断面図③ (被災前)

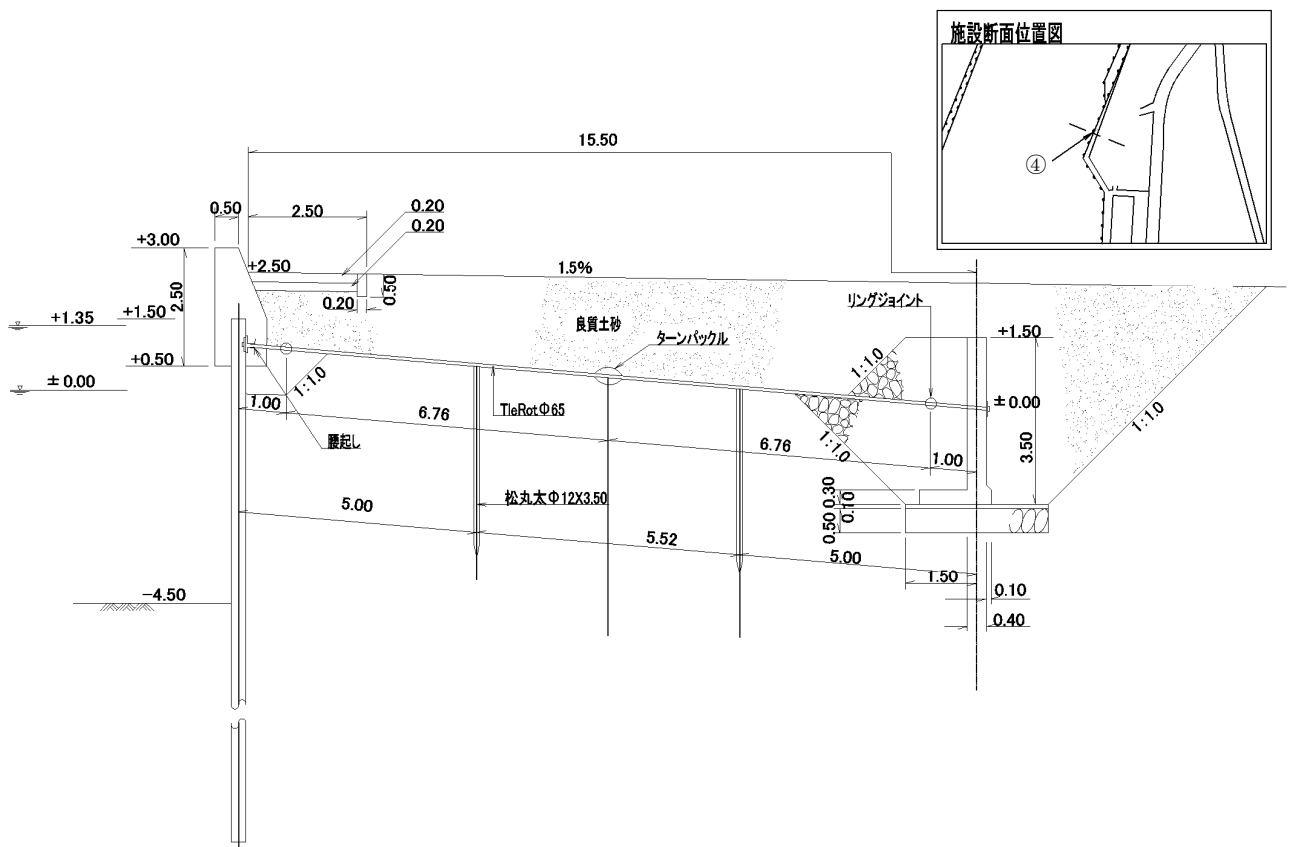
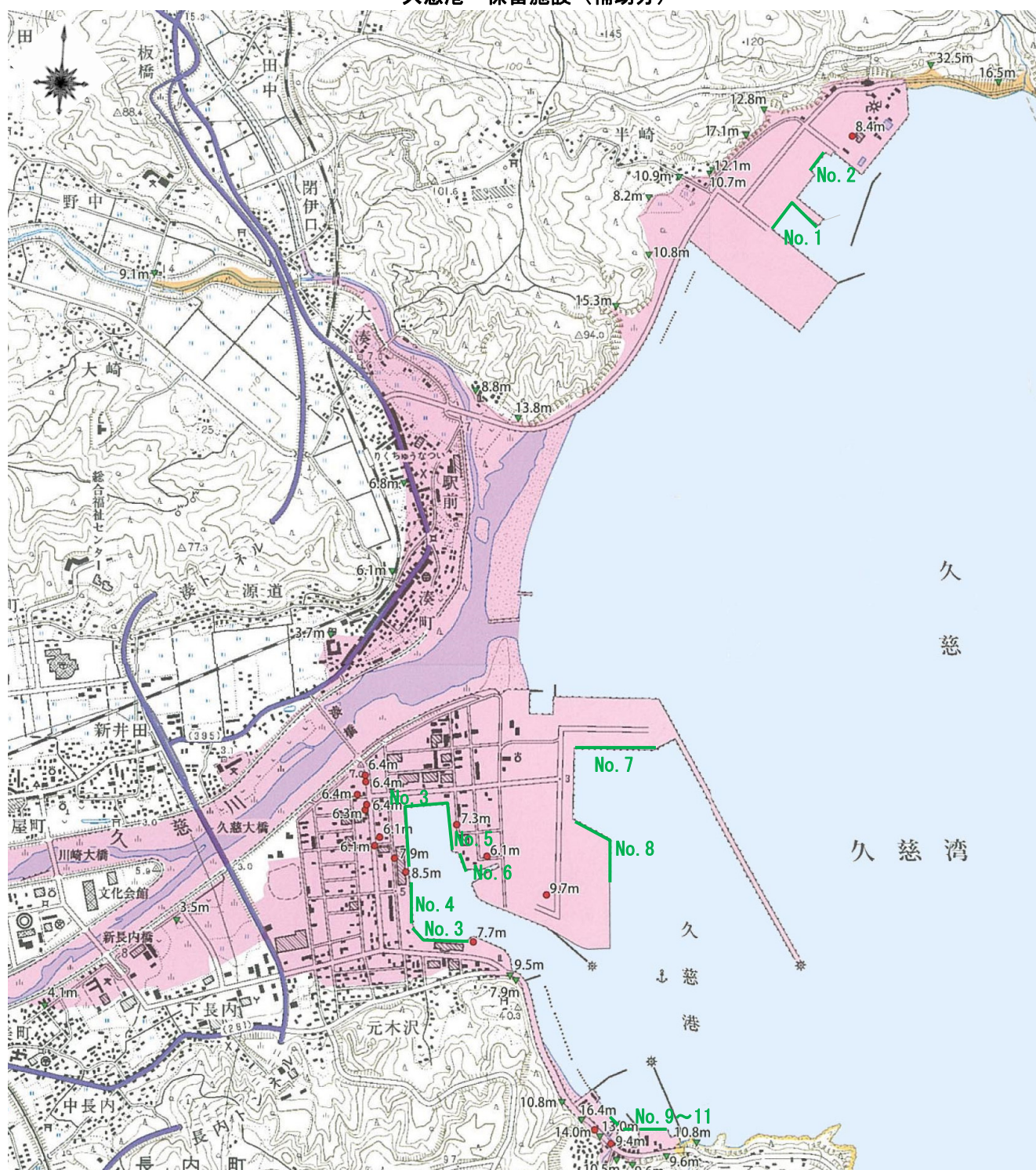


図-A. 4. 92 No. 13 堀込地区_航路南護岸の断面図④ (被災前)

久慈港 係留施設（補助分）



図－A.4.95 久慈港の被災港湾移設（係留施設，補助分） 1)に加筆

表－A. 4. 8 久慈港の被災施設一覧（係留施設，補助分）

No.	施設名	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	半崎地区_-4.0m物揚場	H6	670.0m	重力	-4.0m	+2.3m	0.10	40m
2	半崎地区_船揚場	H1	120.0m	—	—	—	0.10	—
3	掘込地区_-4.5m2～5号岸壁	S57	690.1m	直杭式栈橋	-4.5m	+2.3～3.0m	0.15	75m
4	掘込地区_-6.0m岸壁	S44	210.0m	直杭式栈橋	-6.0m	+3.0m	0.15	75m
5	掘込地区_-4.5m1号岸壁	—	—	—	-5.0m	3.0m	0.10	—
6	掘込地区_-2.0m物揚場	H7	—	—	-5.5m	+2.3m	0.10	—
7	諏訪下地区_-10m岸壁	—	—	—	—	+3.3m	—	23.7m
8	諏訪下地区_-7.5m2,3号岸壁	S63 H6	—	—	—	+3.3m	—	281.6m
9	玉の脇地区_-2.0m物揚場	S32	—	—	-2.3m	+2.0m	0.05	—
10	玉の脇地区_-3.0m物揚場	H9	—	—	-3.1m	+2.5m	0.10	—
11	玉の脇地区_-2.0m物揚場	S55	—	—	-2.0m	+2.0m	0.10	—

表-A.4.9 No.1 半崎地区_-4.0m 物揚場の設計条件

設計年度		
設計延長		670m
設計供用期間		
設計水深		D.L.-4.25m
潮位		D.L.±0.00m
土質条件	地盤改良	
	γ_t	岩盤
	ϕ	
	c	
波浪条件		
設計震度		0.1
利用条件（係留施設）		物揚場

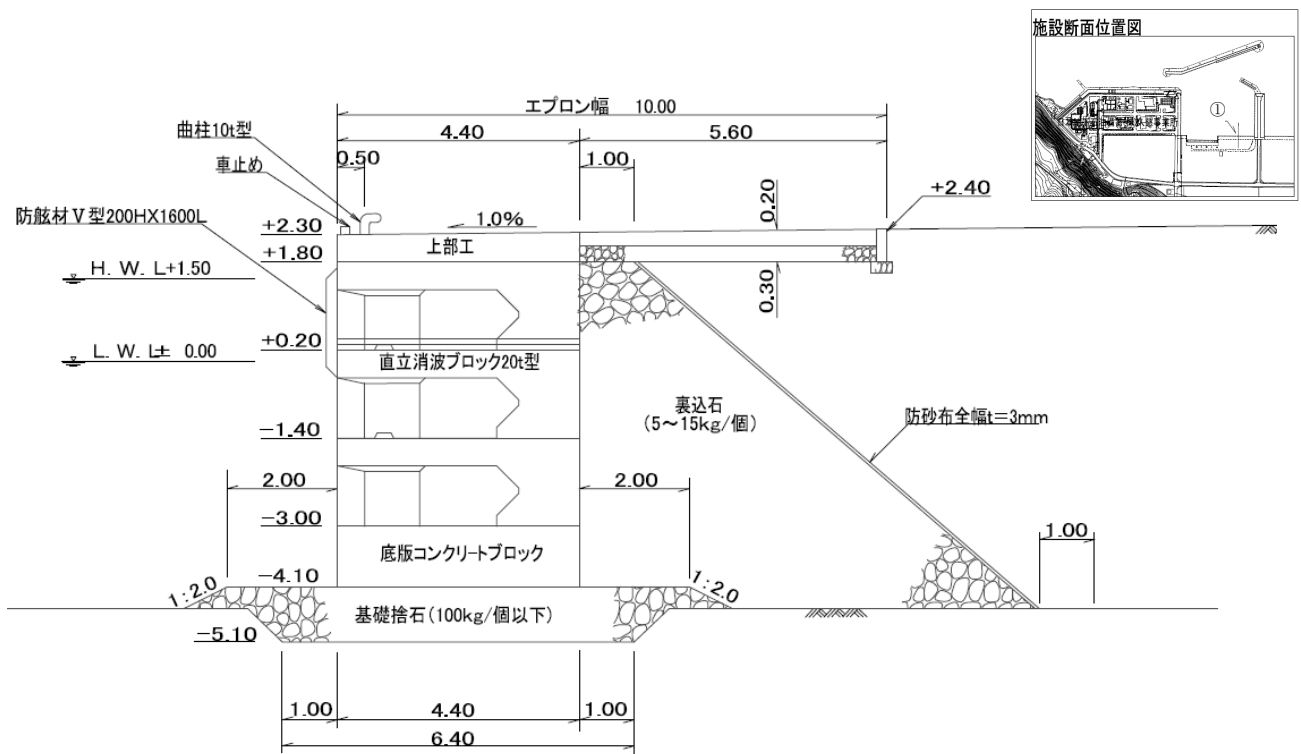


図-A.4.96 No.1 半崎地区_-4.0m 物揚場断面図①（被災前）

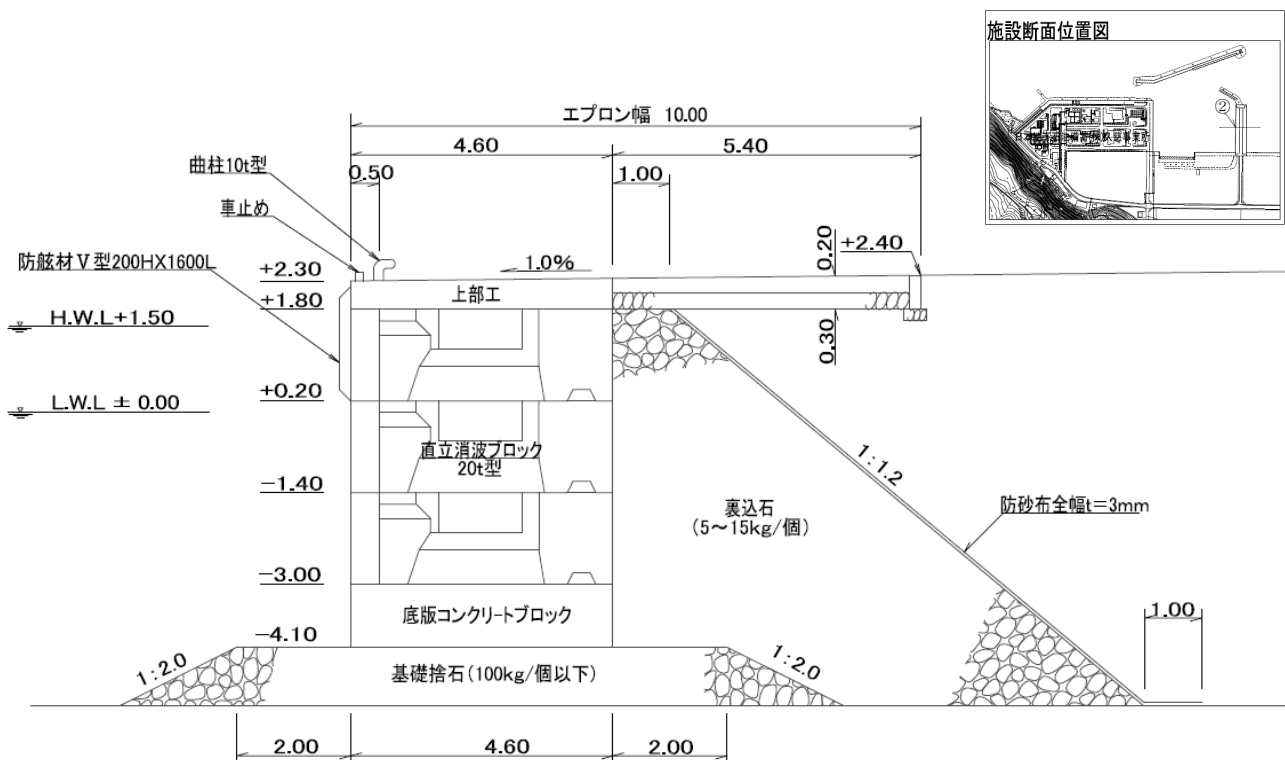


図-A.4.97 No.1 半崎地区_-4.0m 物揚場断面図② (被災前)

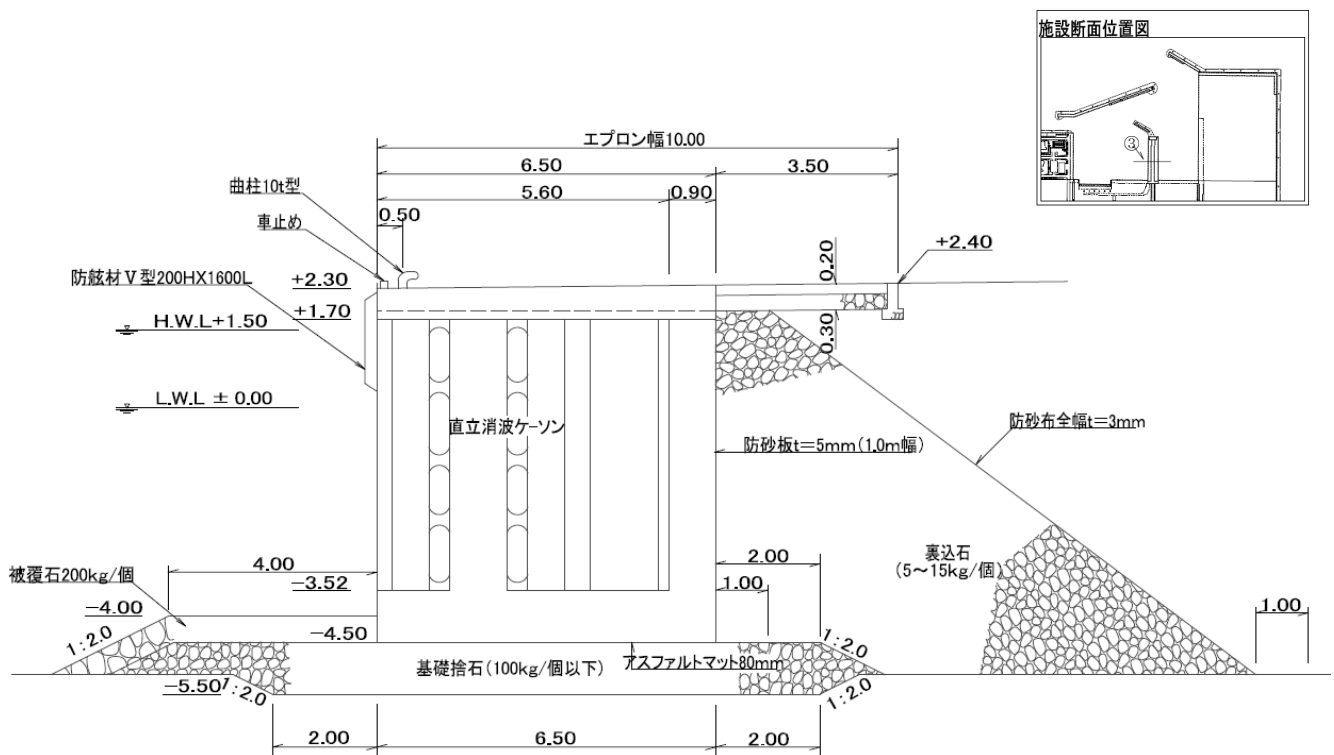
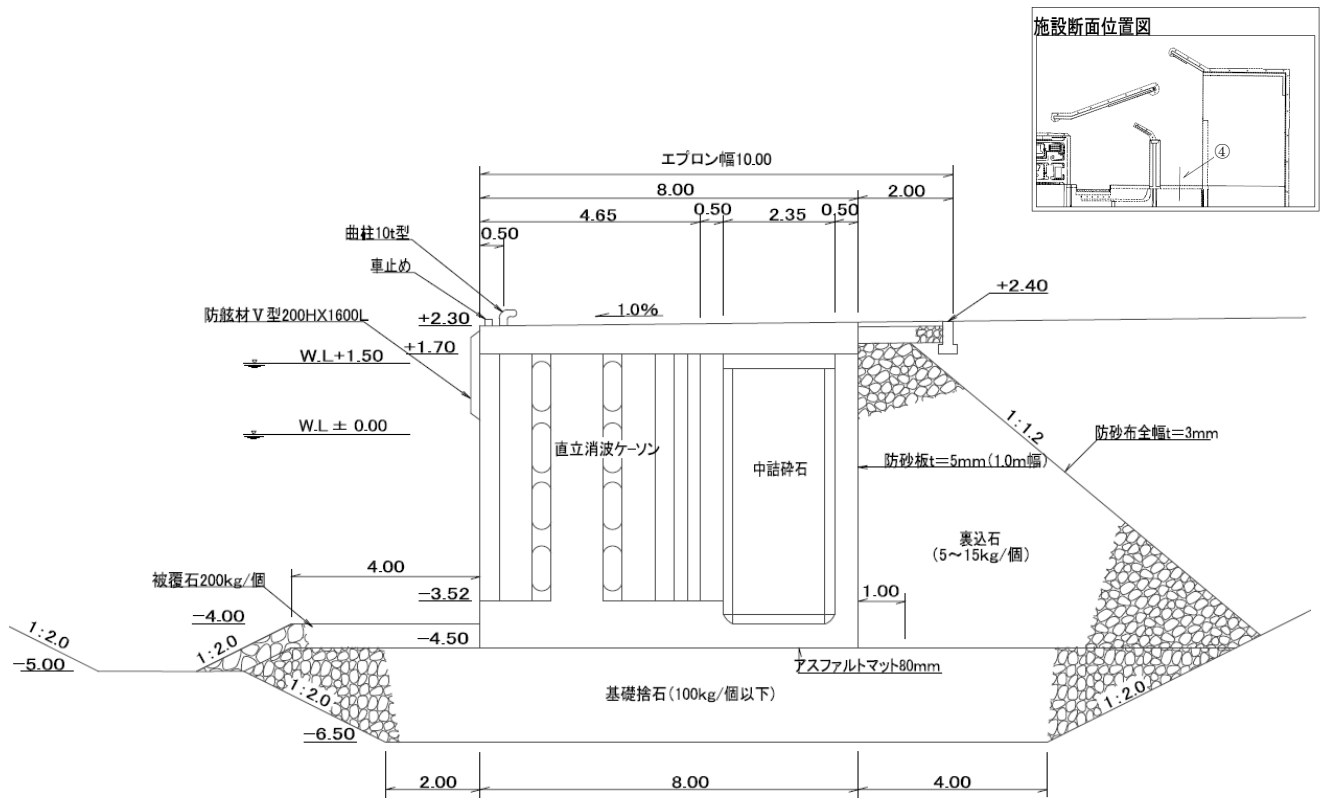


図-A.4.98 No.1 半崎地区_-4.0m 物揚場断面図 ③ (被災前)



図一A. 4. 99 No. 1 半崎地区_-4. 0m 物揚場断面図 ④ (被災前)

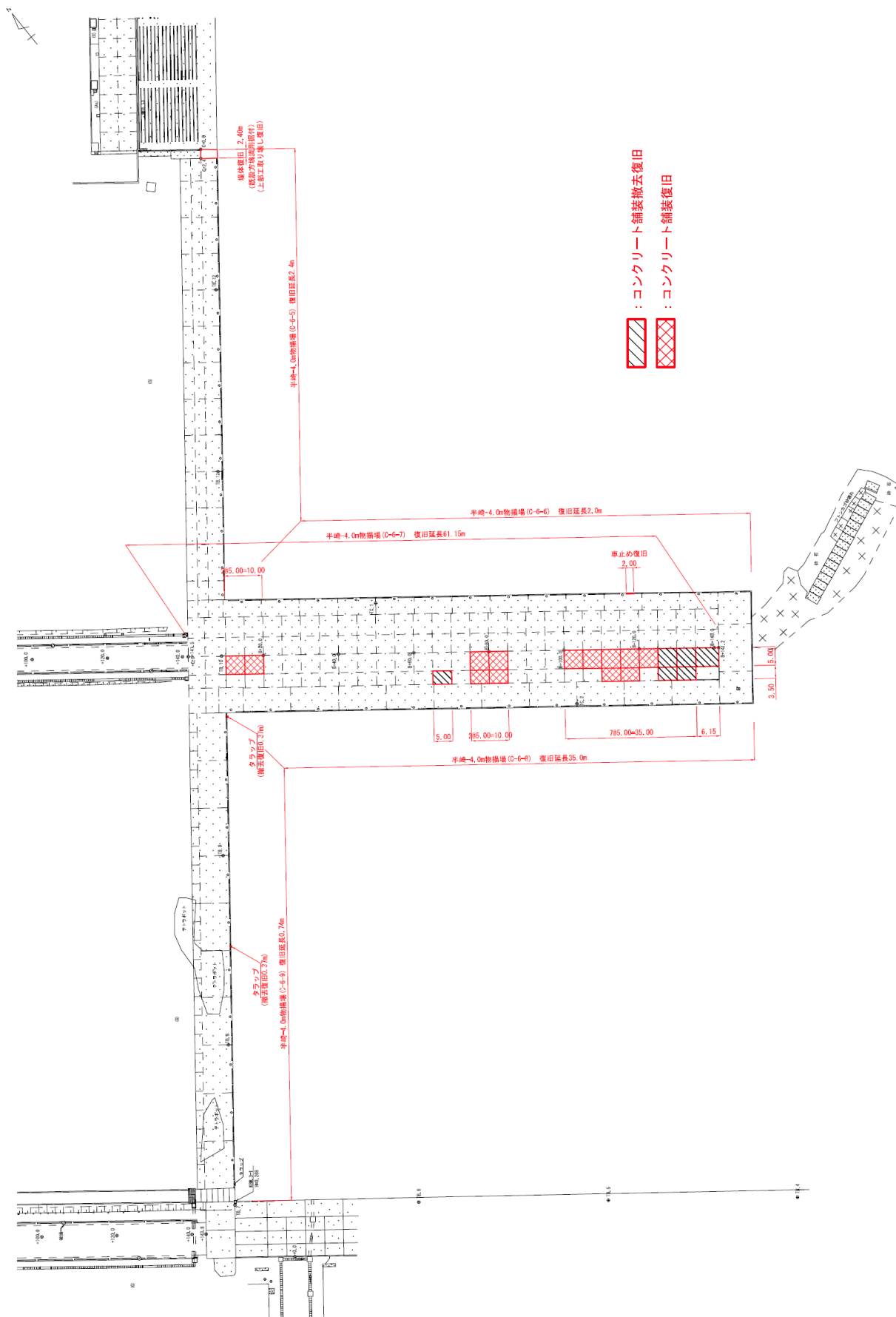


図-A. 4. 100 No. 1 半崎地区_-4.0m 物揚場平面図 (復旧後)

(久慈港)

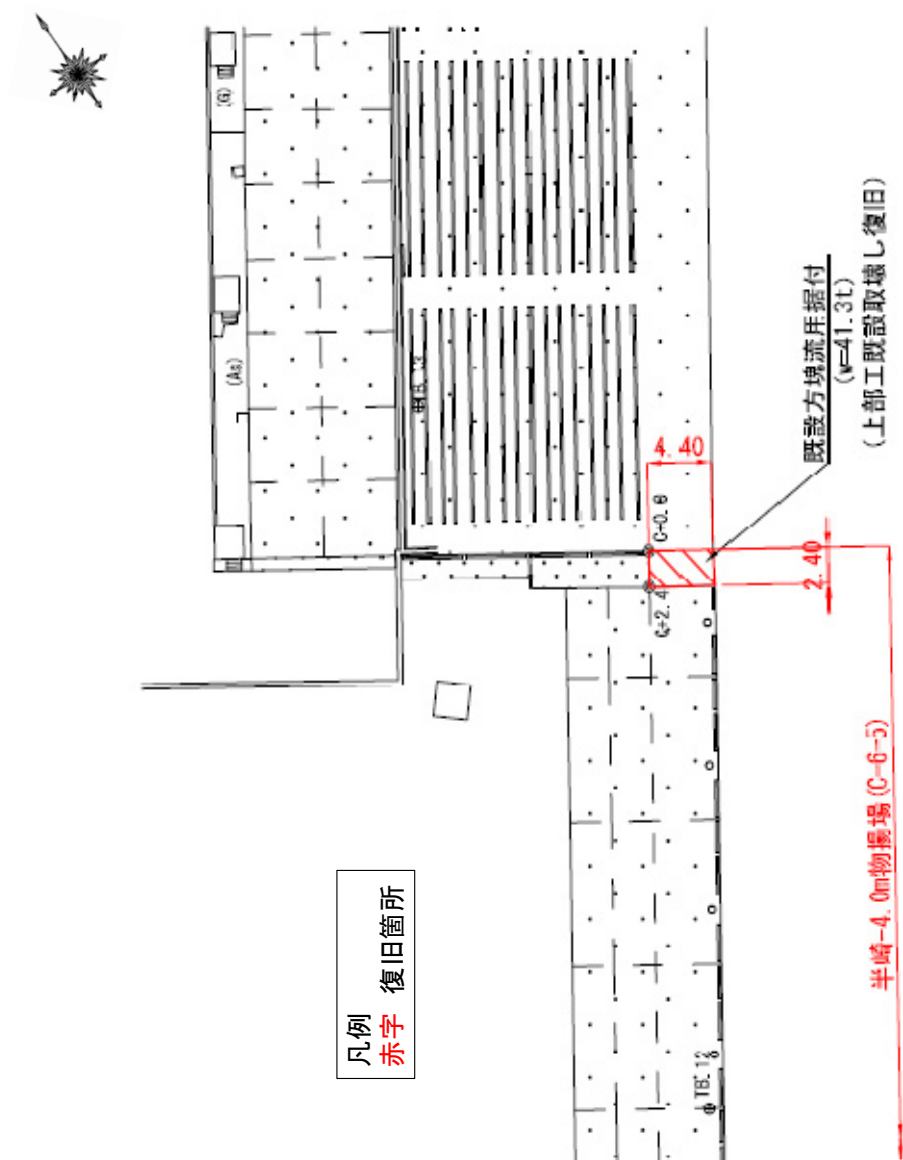


図-A. 4. 101 No. 1 半崎地区_-4. 0m 物揚場平面図 (復旧後)

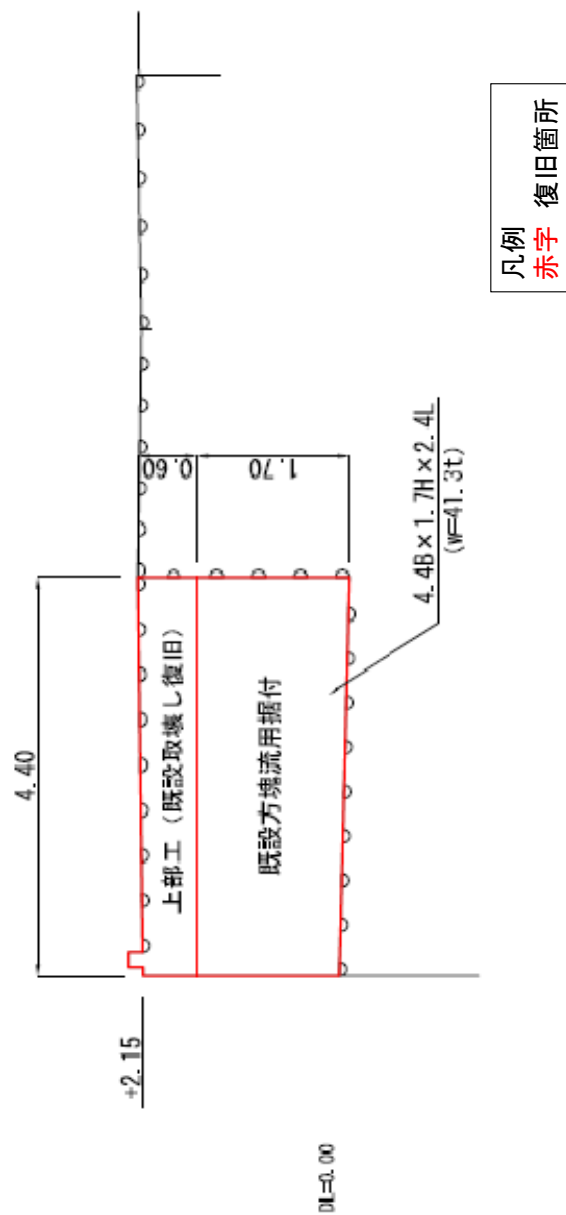


図-A. 4. 102 No. 1 半崎地区_-4. 0m 物揚場断面図 (復旧後)



図-A.4.103 No.1 半崎地区_4.0m 物揚場の被災状況

表-A. 4. 10 No. 2 半崎地区_船揚場の設計条件

設計年度			
設計延長			120m
設計供用期間			
設計水深			D.L.-4.25m
潮位			D.L.±0.00m
土質条件	地盤改良		
	γt		岩盤
	ϕ		
	c		
波浪条件			
設計震度			0.1
利用条件（係留施設）			船揚場、取付護岸

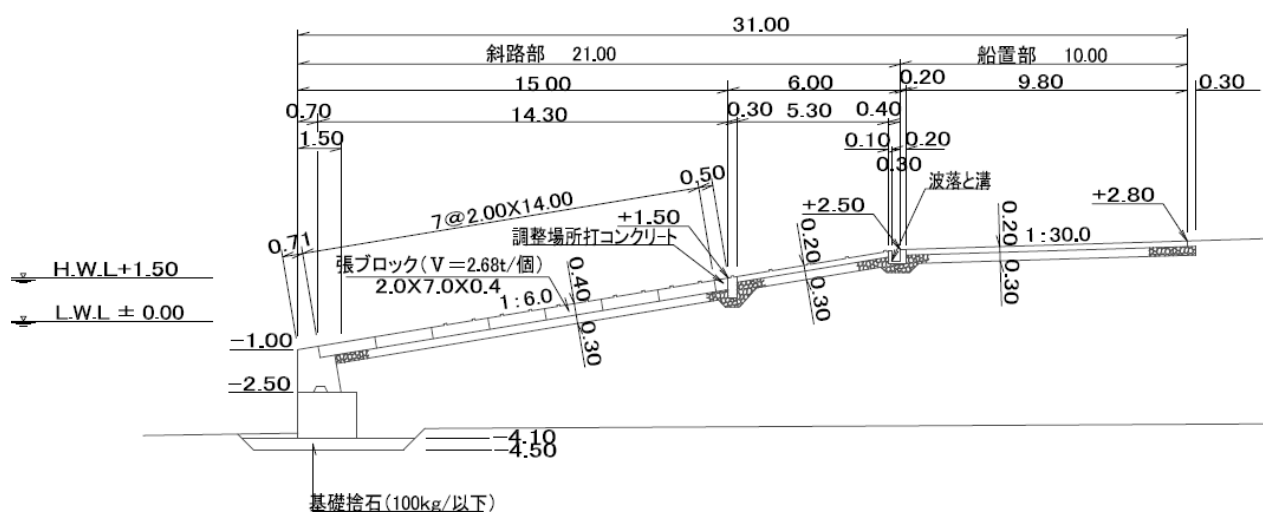
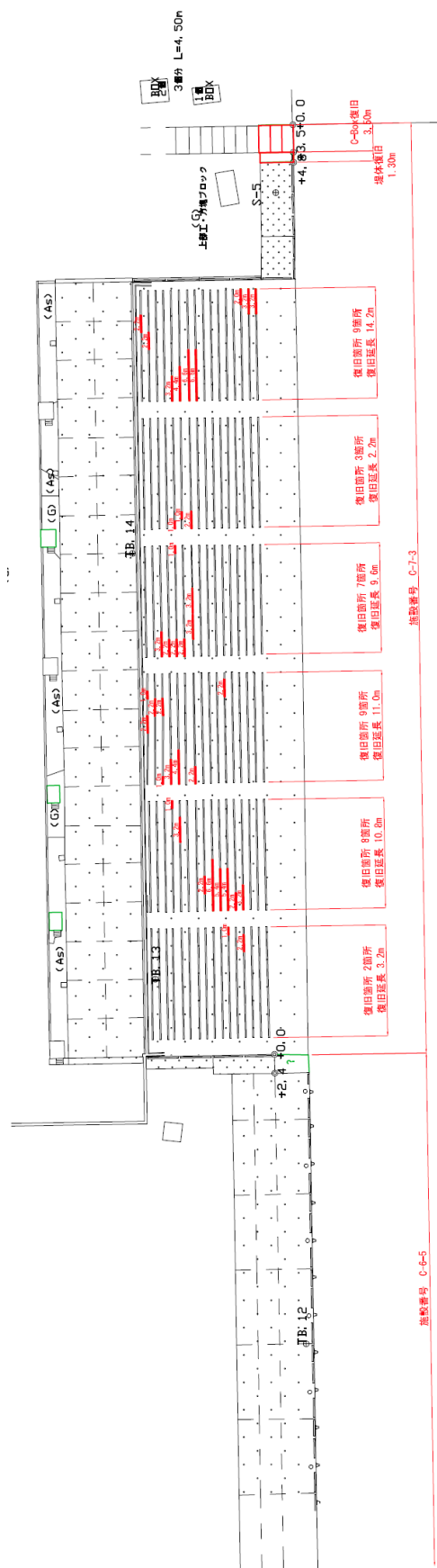
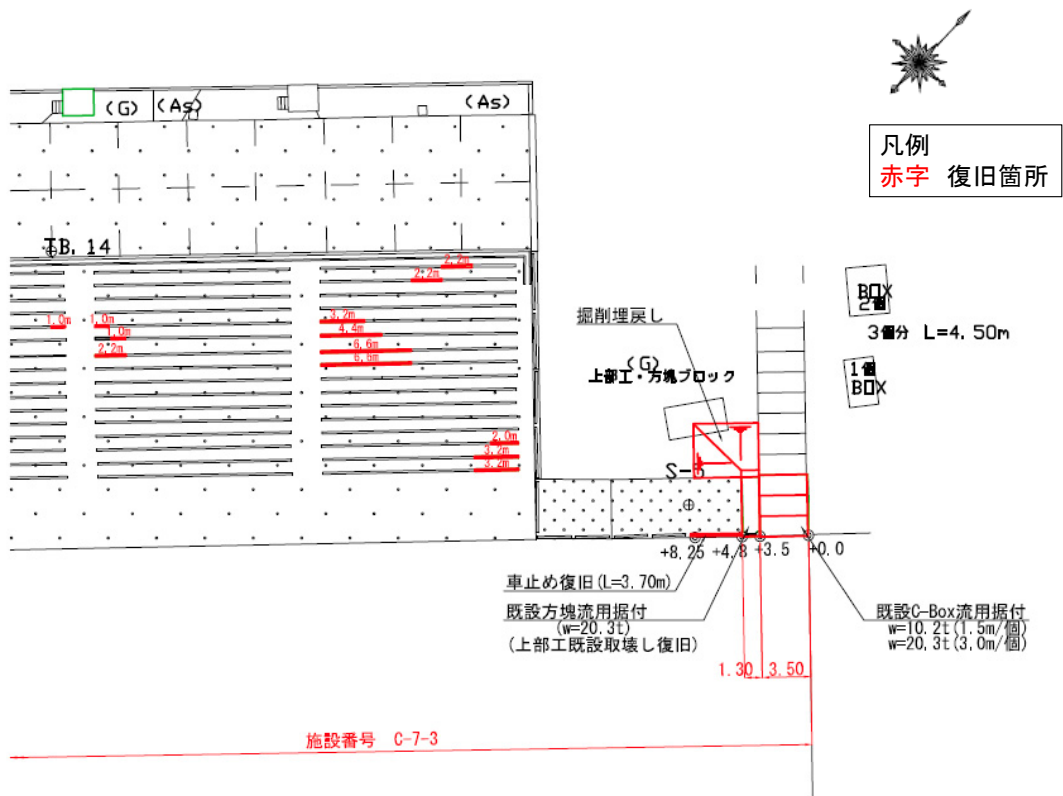


図-A. 4. 104 No. 2 半崎地区_船揚場断面図（被災前）

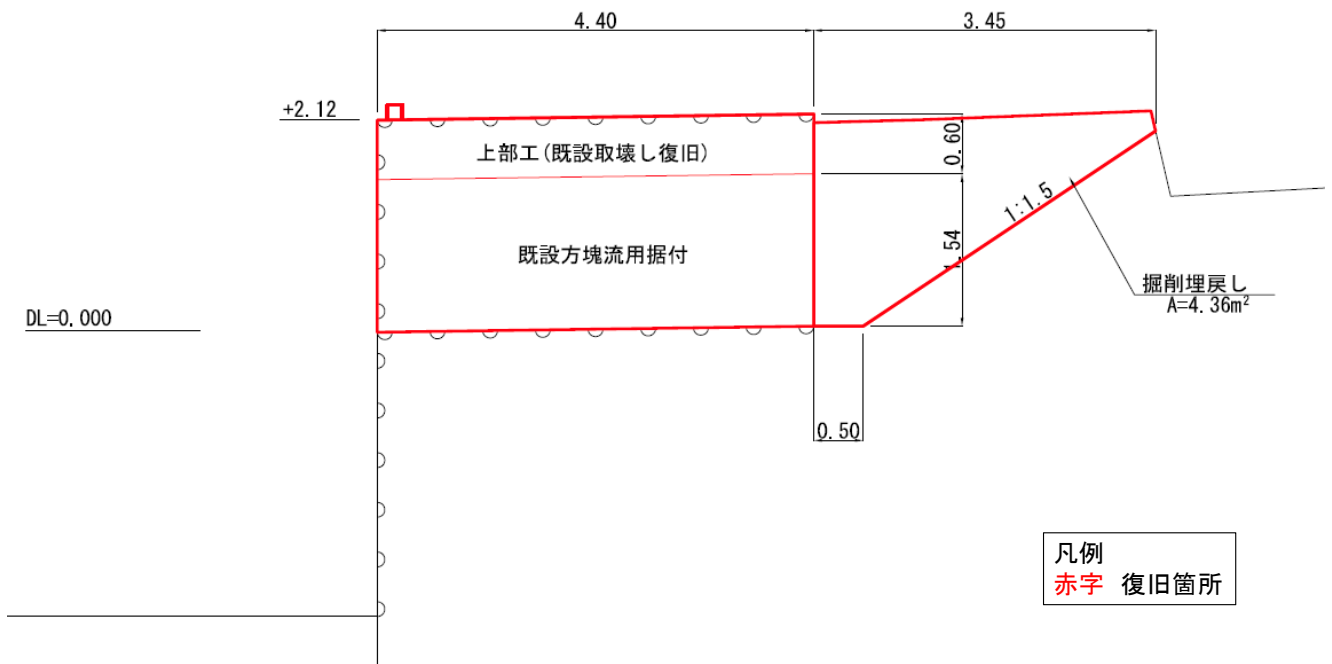


凡例
赤字 復旧箇所

図-A. 4. 105 No. 2 半崎地区_船揚場平面図 (復旧後)



図一A. 4. 106 No. 2 半崎地区_船揚場平面図 (復旧後)



図一A. 4. 107 No. 2 半崎地区_船揚場断面図 (復旧後)



図－A. 4. 108 No. 3 掘込地区_4. 5m-6. 0m 岸壁の被災状況

表-A.4.11 No.3 掘込地区 -4.5m-6.0m 岸壁の設計条件

設計年度		
設計延長		670m
設計供用期間		
設計水深		D.L. - 4.25m
潮位		D.L. ± 0.00m
土質条件	地盤改良	
	r_t	
	ϕ	
	c	
波浪条件		
設計震度		0.15
利用条件（係留施設）		岸壁

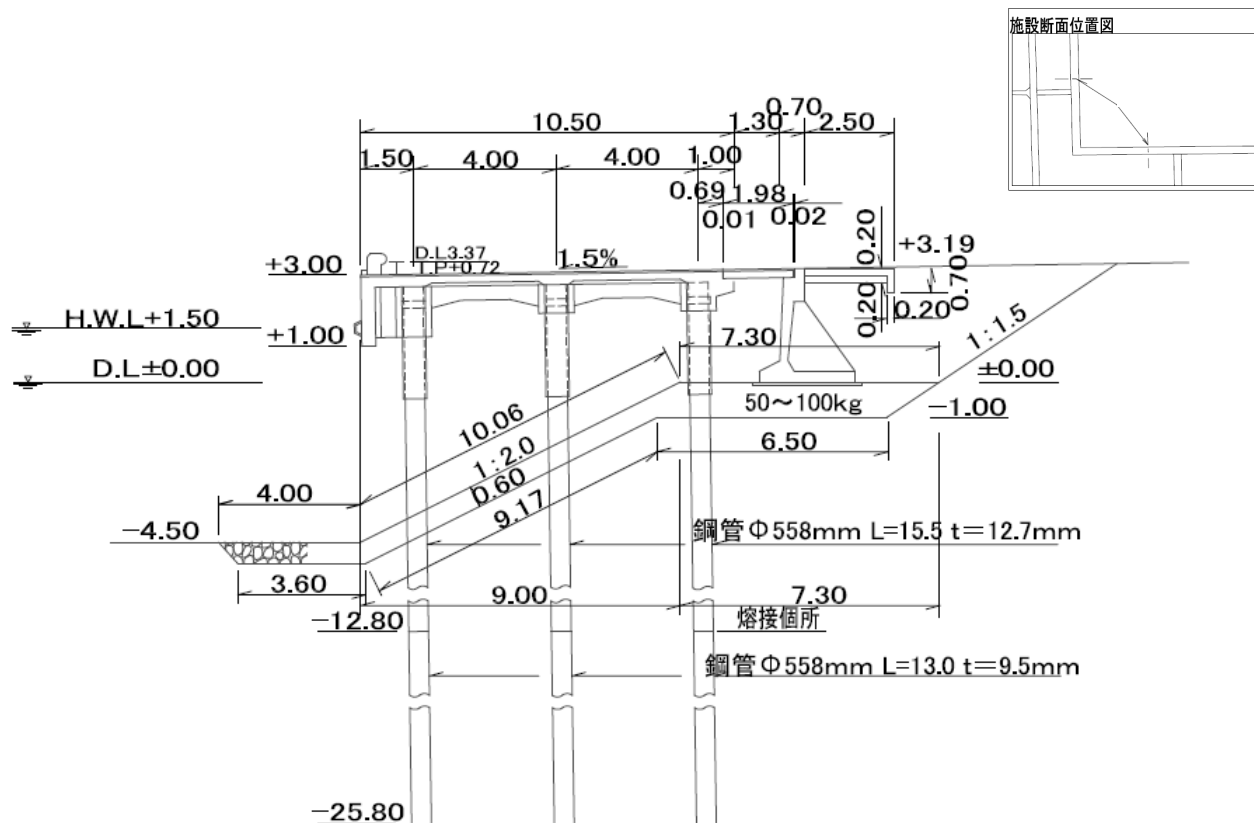


图-A.4.109 No.3 掘込地区_-4.5m 2号岸壁断面图(被災前)

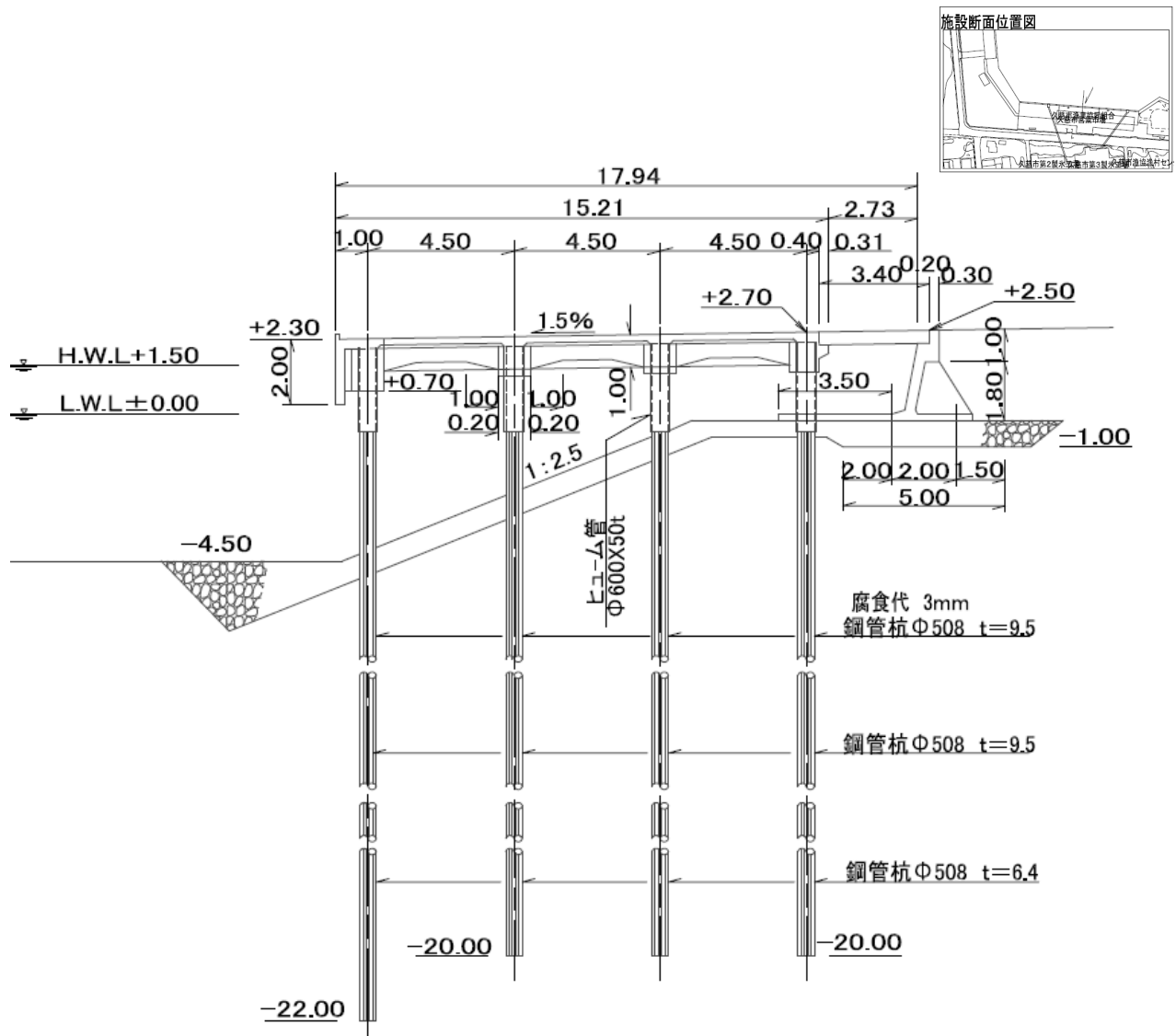
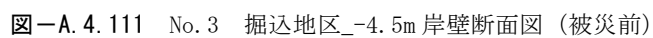


図-A. 4. 110 No. 3 掘込地区_-4.5m 4号岸壁断面図 (被災前)



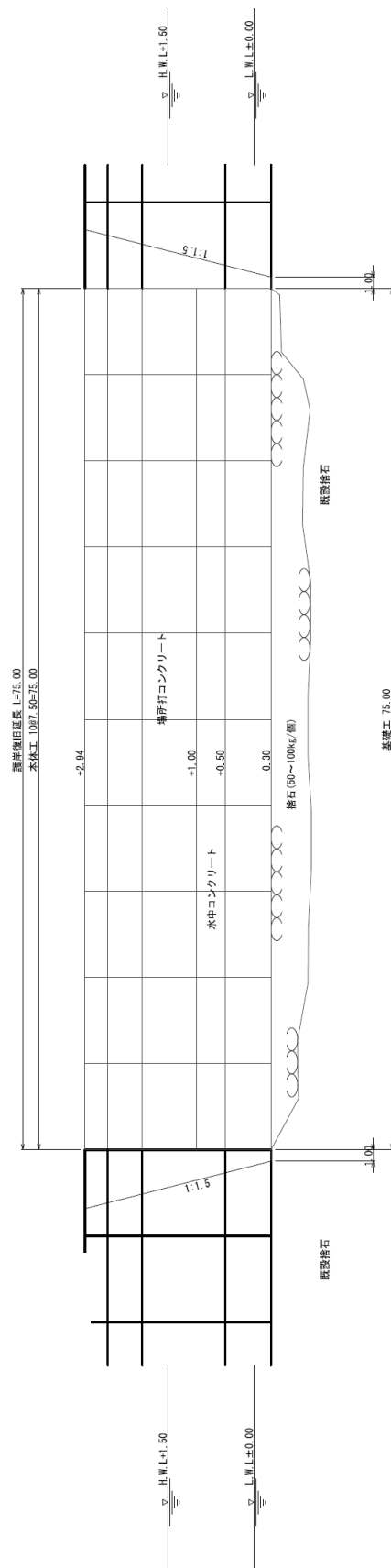


図-A. 4. 113 No. 3 掘込地区_-4.5m-6.0m 岸壁_護岸関係縦断面図 (復旧後)

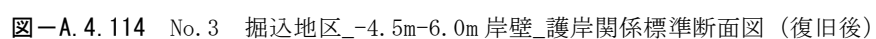


表-A. 4. 12 No. 4 掘込地区_-4. 5m-6. 0m 岸壁の設計条件

設計年度	
設計延長	670m
設計供用期間	
設計水深	D.L.-4.25m
潮位	D.L.±0.00m
土質条件	地盤改良
	γt
	ϕ
	c
波浪条件	
設計震度	0.15
利用条件（係留施設）	岸壁

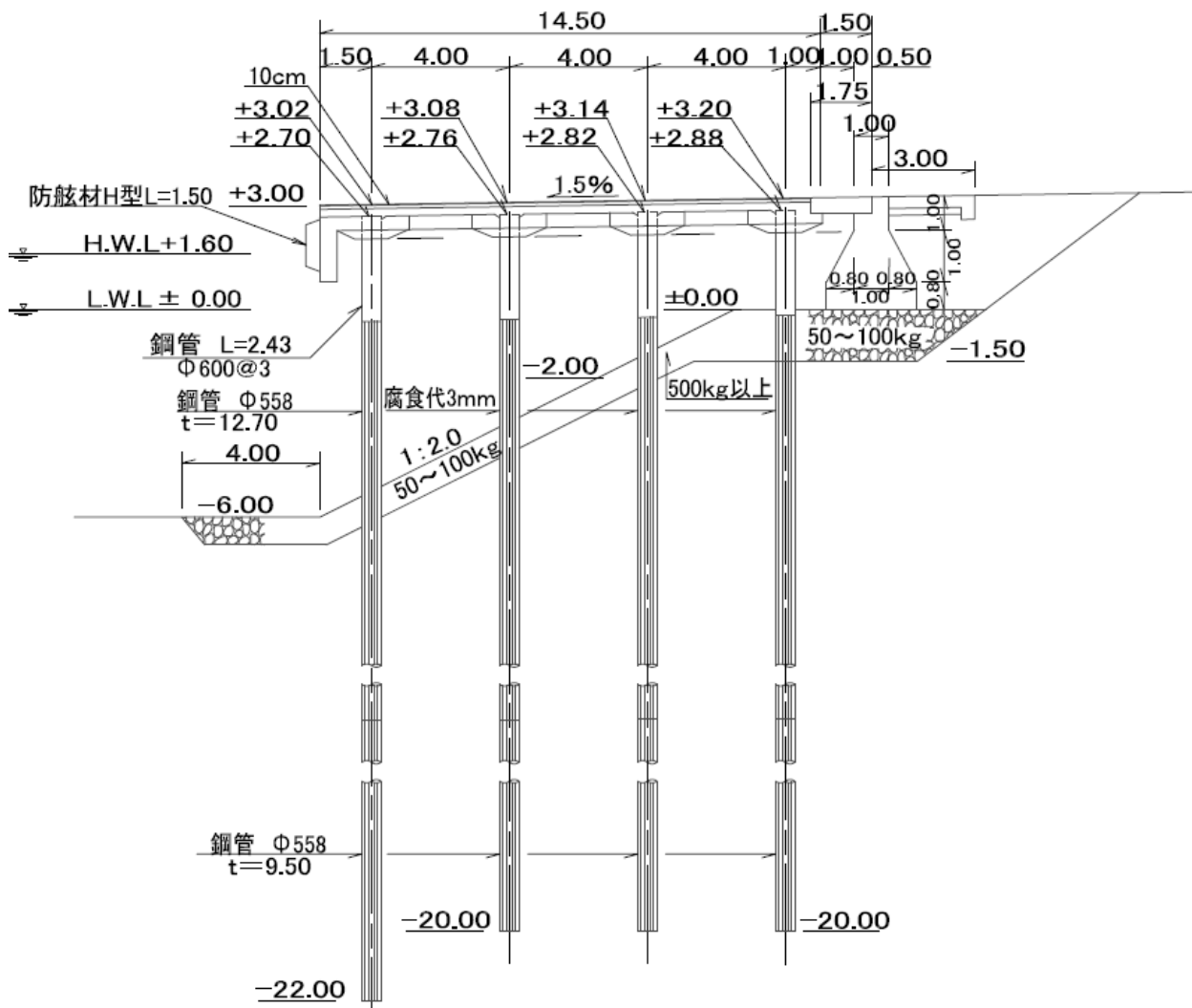
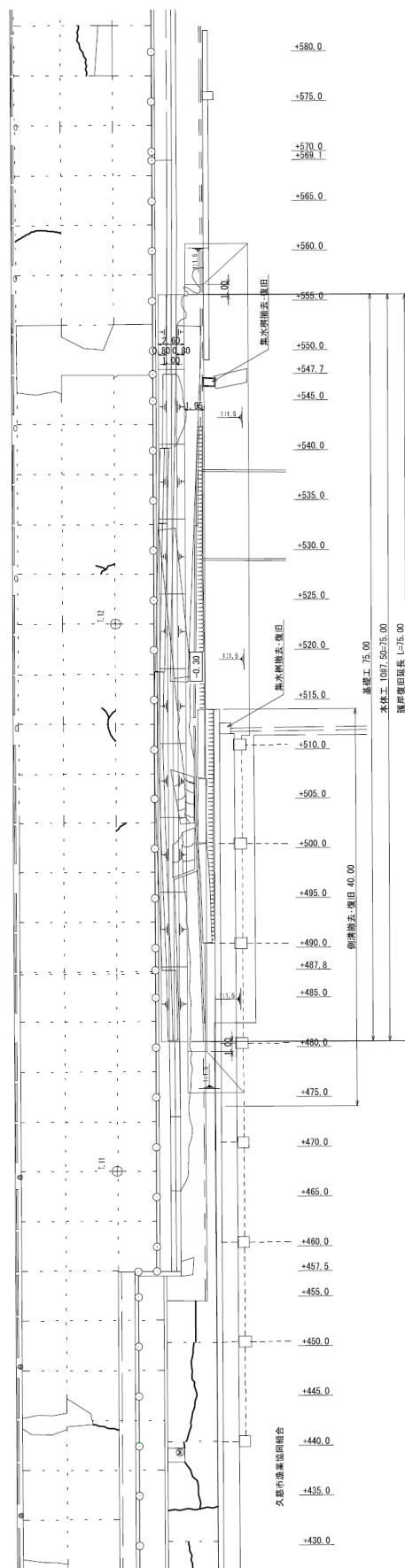
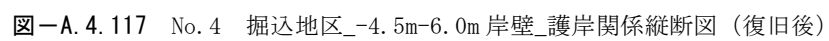
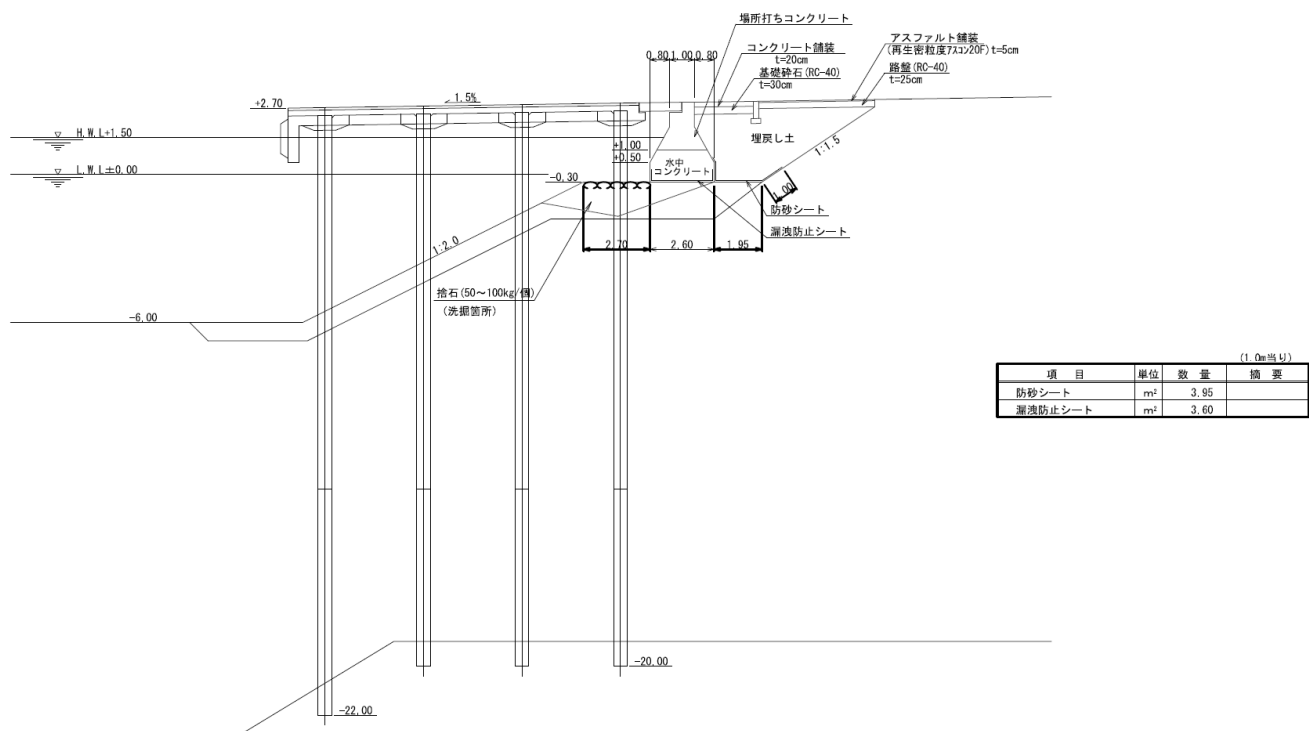


図-A. 4. 115 No. 4 掘込地区_-6. 0m 岸壁断面図（被災前）



- 947 -





図—A. 4. 118 No. 4 掘込地区_4. 5m-6. 0m 岸壁_護岸関係標準断面図 (復旧後)

表—A. 4. 13 No. 5 掘込-4. 5m1 号岸壁の設計条件

1. 潮位	H. W. L D. L+1. 50m、L. W. L D. L±0. 00m
2. 設計水深	D. L-5. 00m
3. 天端高	被災前(台帳高) : D. L+3. 00m 被災後 : D. L+2. 83m
4. 土質条件	~-5. 0m : 砂質土 $\phi=30^{\circ}$ 、 $\gamma=18. 0\text{kN/m}^3$ -5. 0m~-9. 2m : 砂質土 $\phi=28^{\circ}$ 、 $\gamma'=8. 0\text{kN/m}^3$ -9. 2m~-22. 5m : 粘性土 $C=50\text{kN/m}^2$ 、 $\gamma'=5. 0\text{kN/m}^3$ -22. 5m~-26. 0m : 砂質土 $\phi=30^{\circ}$ 、 $\gamma'=8. 0\text{kN/m}^3$ -26. 0m~-29. 5m : 粘性土 $C=50\text{kN/m}^2$ 、 $\gamma'=5. 0\text{kN/m}^3$ -29. 5m~ : 砂質土 $\phi=40^{\circ}$ 、 $\gamma'=9. 0\text{kN/m}^3$
5. 設計震度	$K_h=0. 10$
6. 上載荷重	常時 : $q=10. 0\text{kN/m}^2$ 、地震時 : $q'=5. 0\text{kN/m}^2$
7. 腐食条件	海側
(現況)	海底面以浅 : 腐食量 $0. 01\text{mm/年} \times 41\text{年}=0. 41\text{mm}$ 土中部 : 腐食量 $0. 003\text{mm/年} \times 41\text{年}=0. 12\text{mm}$ 陸側 残留水位上 : 腐食量 $0. 03\text{mm/年} \times 41\text{年}=1. 23\text{mm}$ 残留水位下 : 腐食量 $0. 02\text{mm/年} \times 41\text{年}=0. 82\text{mm}$

表-A. 4. 14 No. 6 掘込-2.0m 物揚場の設計条件

1. 潮位	H. W. L. D. L+1. 50m、L. W. L. D. L±0. 00m
2. 設計水深	D. L-5. 50m (当初設計 : D. L-5. 35m)
3. 天端高	被災前(台帳高) : D. L+2. 30m 被災後 : D. L+2. 12m
4. 土質条件	$\sim -5. 0\text{m}$: 砂質土 $\phi=30^\circ$ 、 $\gamma'=18. 0\text{kN/m}^3$ $-5. 0\text{m}\sim -9. 2\text{m}$: 砂質土 $\phi=28^\circ$ 、 $\gamma'=8. 0\text{kN/m}^3$ $-9. 2\text{m}\sim -22. 5\text{m}$: 粘性土 $C=50\text{kN/m}^2$ 、 $\gamma'=5. 0\text{kN/m}^3$ $-22. 5\text{m}\sim -26. 0\text{m}$: 砂質土 $\phi=30^\circ$ 、 $\gamma'=8. 0\text{kN/m}^3$ $-26. 0\text{m}\sim -29. 5\text{m}$: 粘性土 $C=50\text{kN/m}^2$ 、 $\gamma'=5. 0\text{kN/m}^3$ $-29. 5\text{m}\sim$: 砂質土 $\phi=40^\circ$ 、 $\gamma'=9. 0\text{kN/m}^3$
5. 設計震度	$K_h=0. 10$
6. 上載荷重	常時 : $q=5. 0\text{kN/m}^2$ 、地震時 : $q'=2. 5\text{kN/m}^2$
7. 腐食条件	海側
(現況)	腐食量 $0. 1\text{mm/年} \times 21\text{年} \times 0. 1=0. 21\text{mm}$
	陸側
	腐食量 $0. 02\text{mm/年} \times 21\text{年}=0. 42\text{mm}$

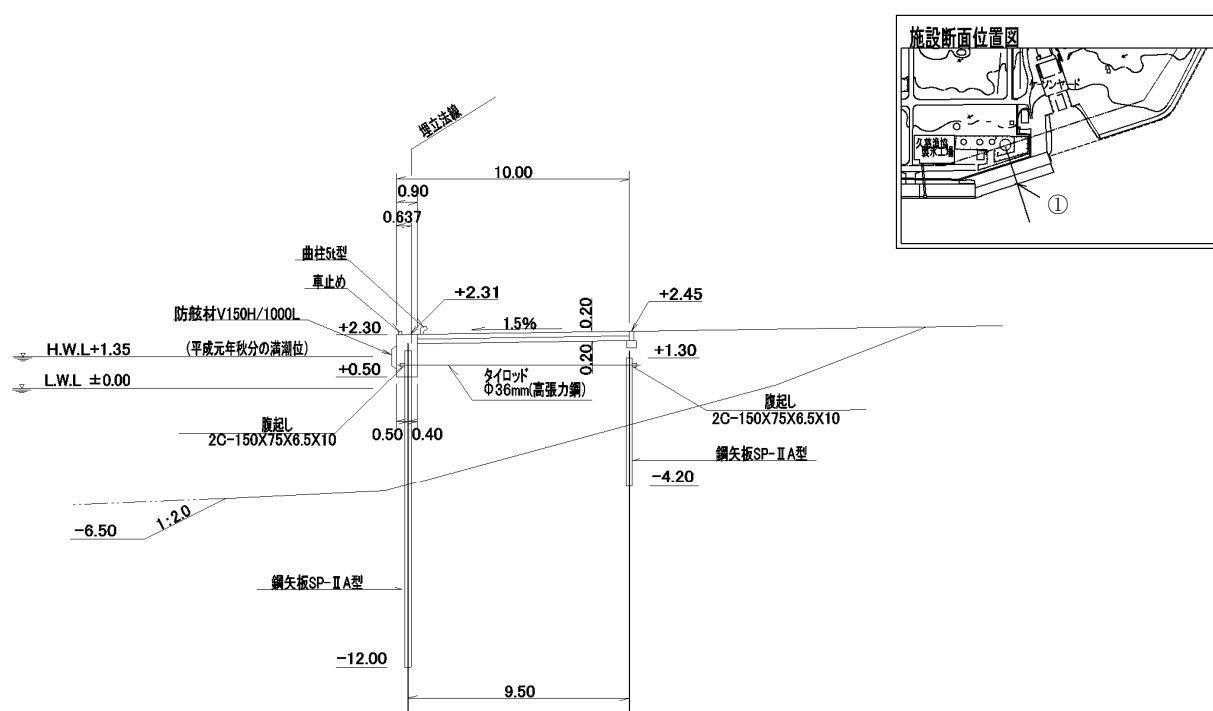
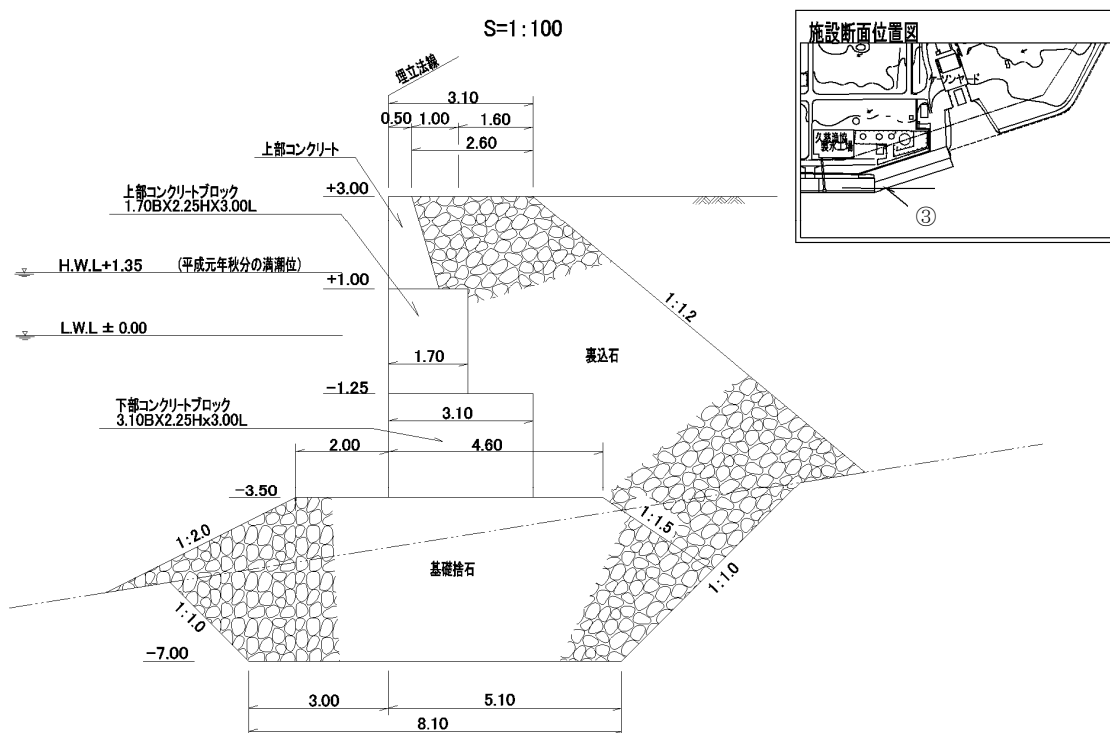
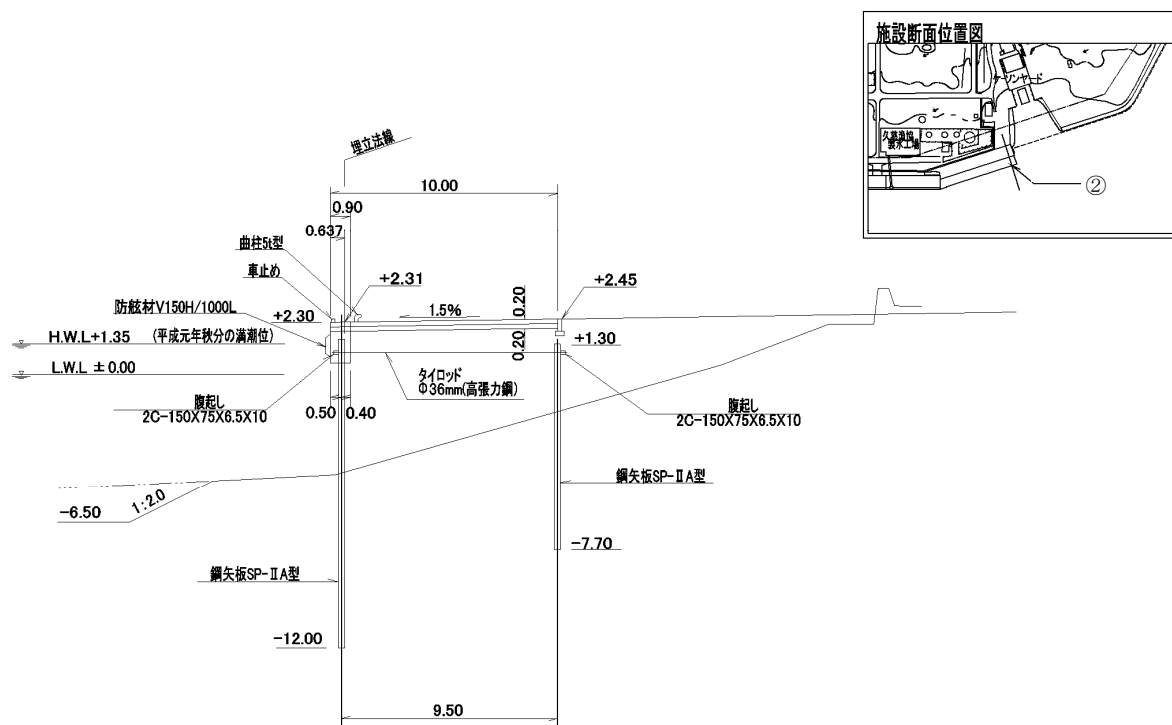


図-A. 4. 121 No. 6 掘込-2.0m 物揚場の断面図① (被災前)



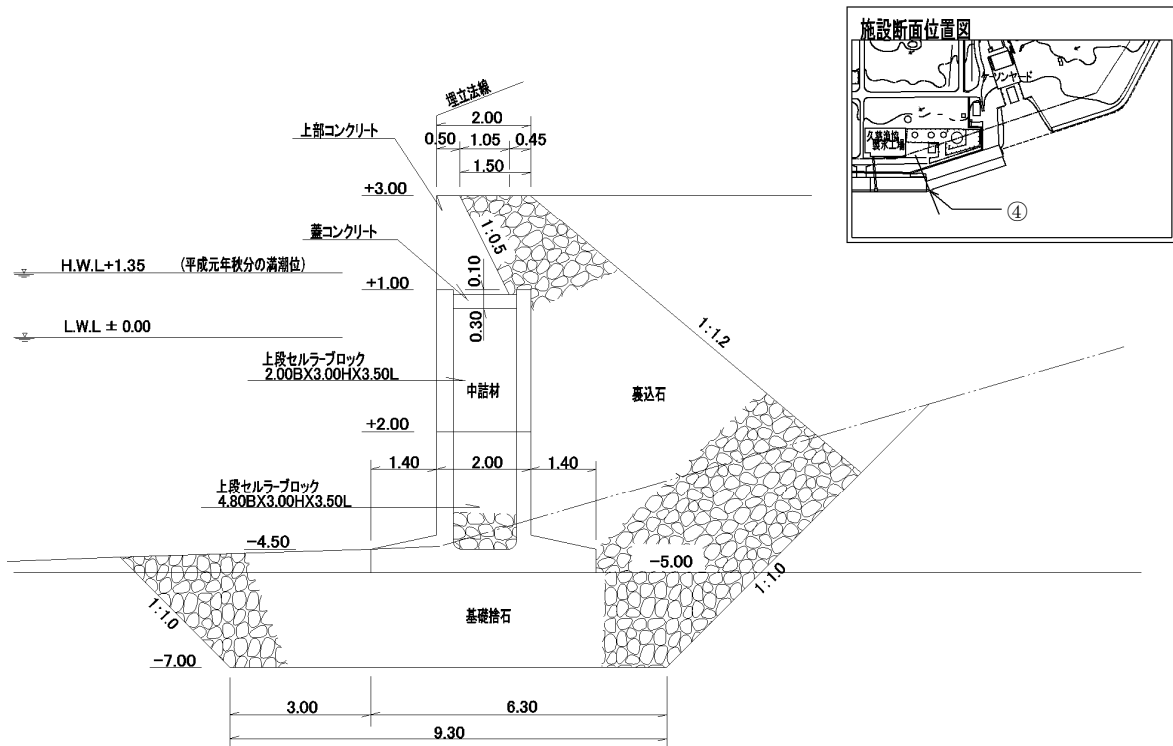


図-A. 4. 124 No. 6 掘込-2.0m 物揚場の断面図④（被災前）

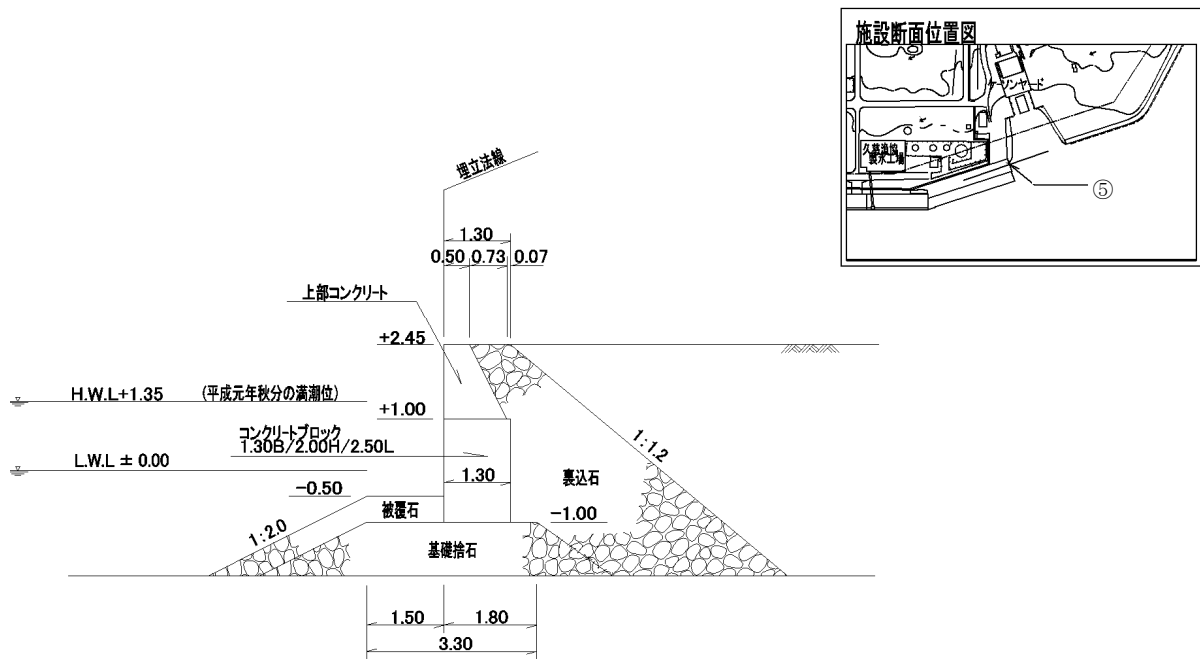


図-A. 4. 125 No. 6 掘込-2.0m 物揚場の断面図⑤（被災前）

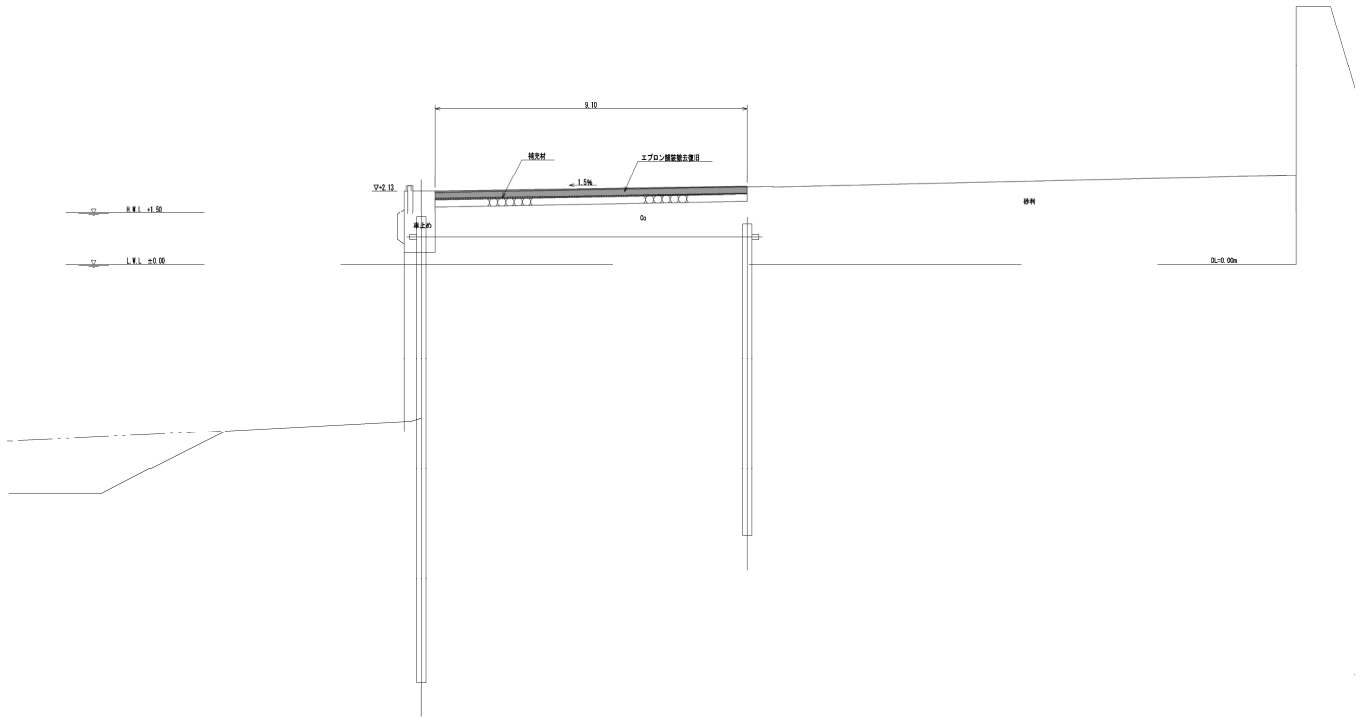


図-A. 4. 127 No. 6 掘込-2.0m 物揚場の断面図（復旧後）

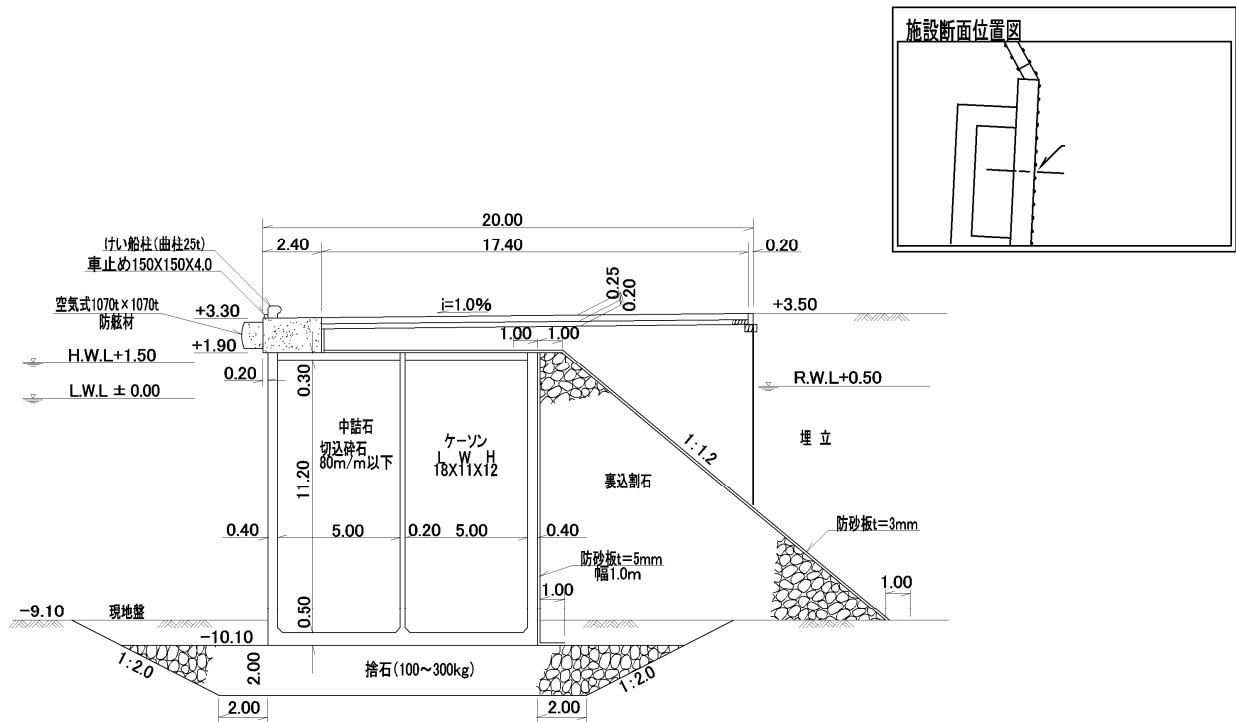


図-A. 4. 128 No. 7 諏訪下-10m岸壁の平面図（被災前）

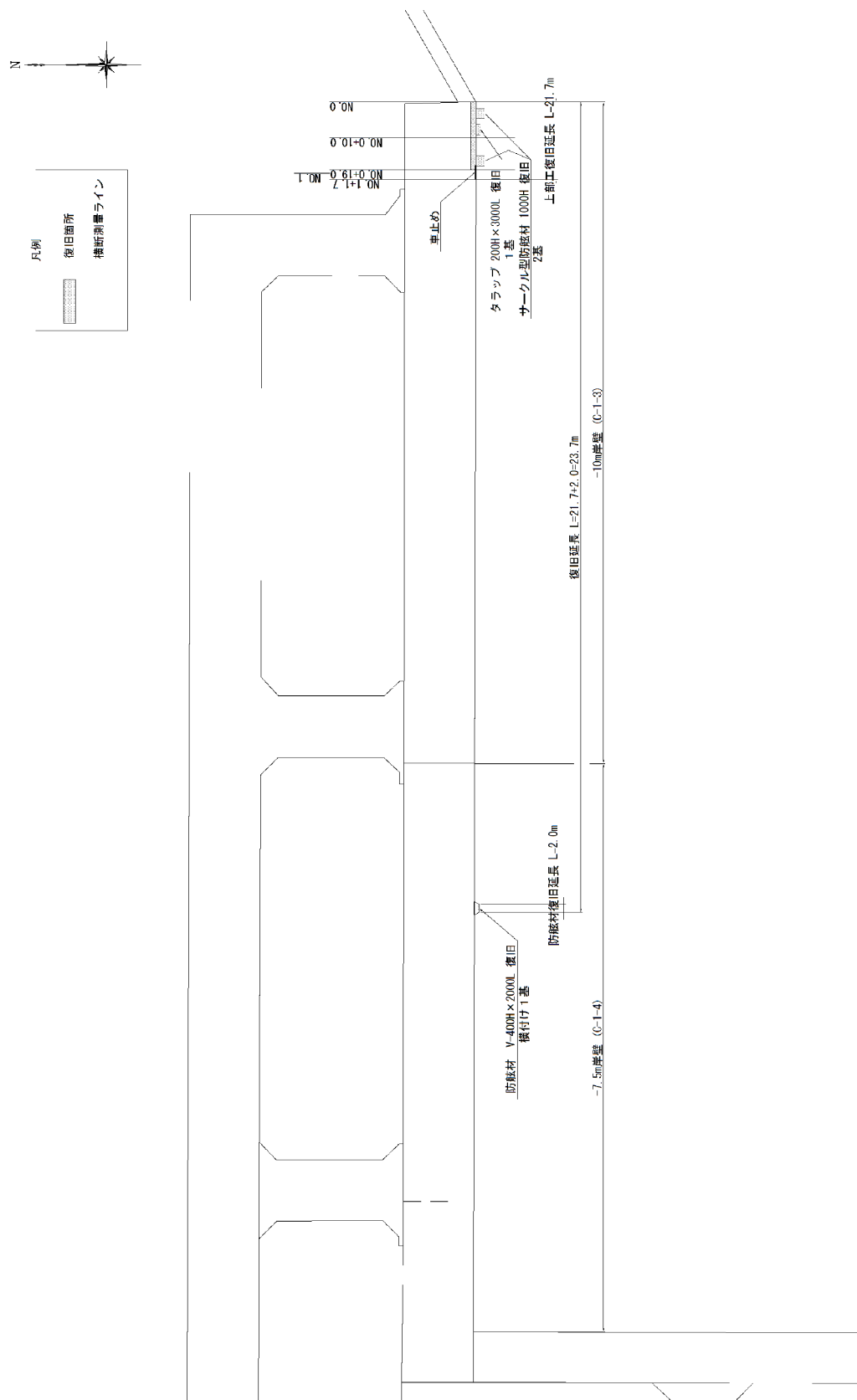
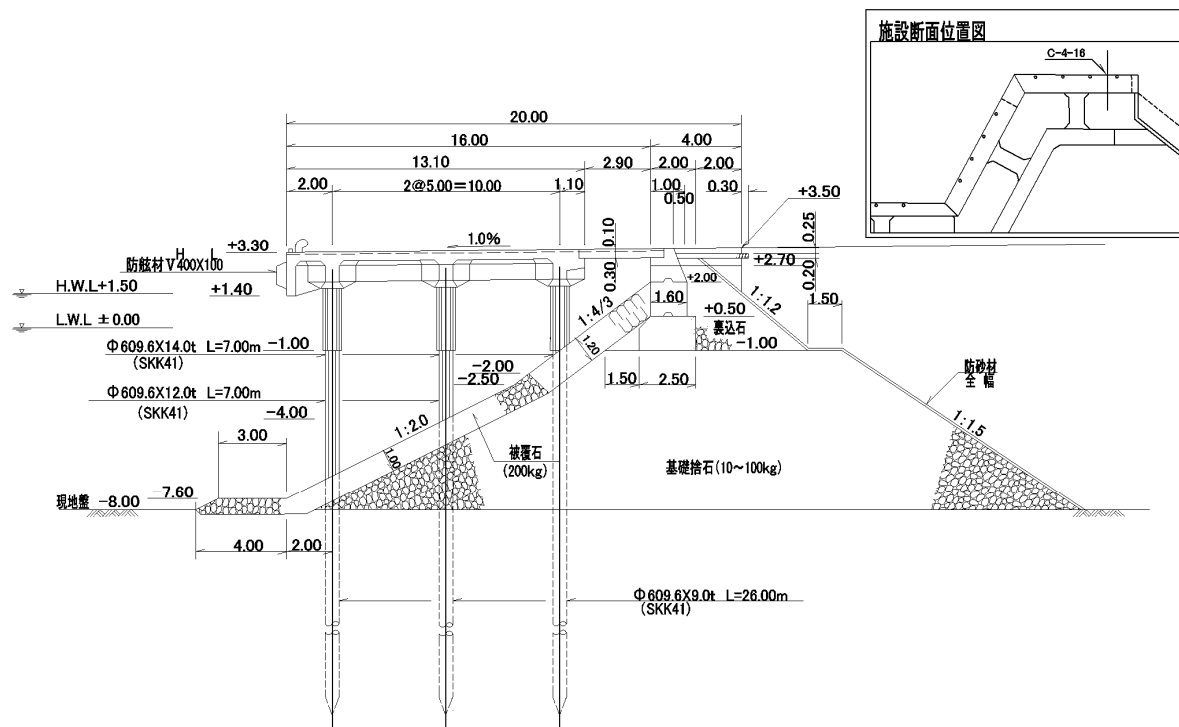
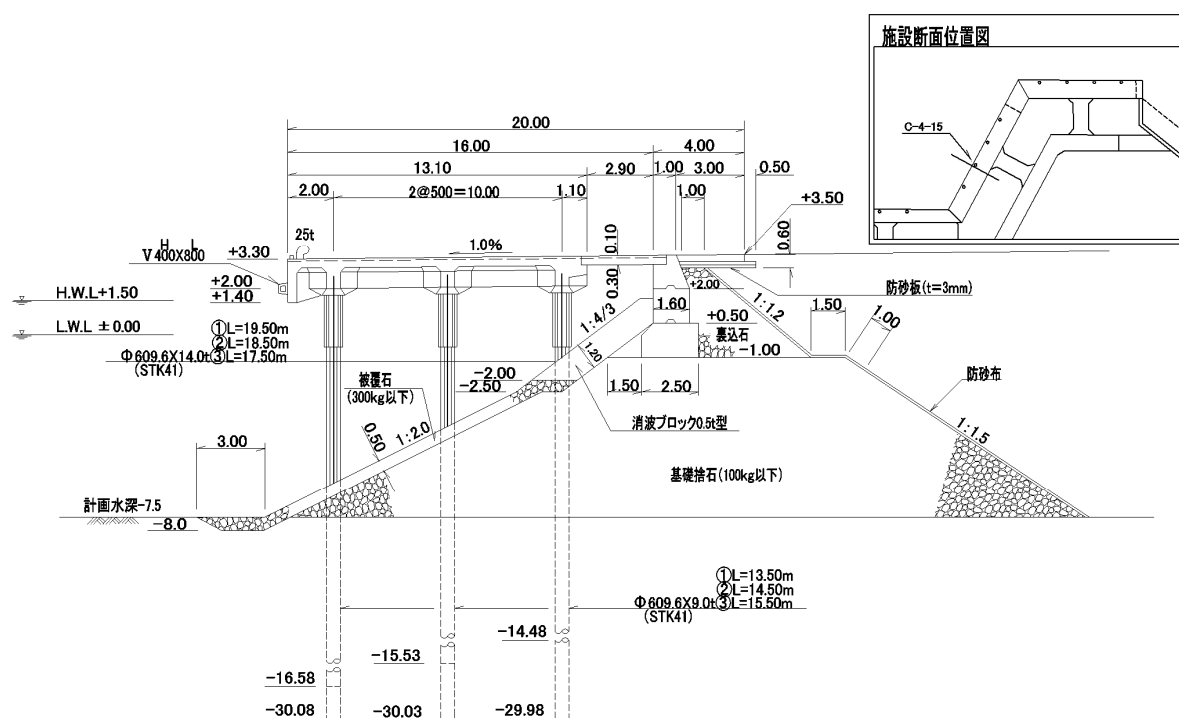
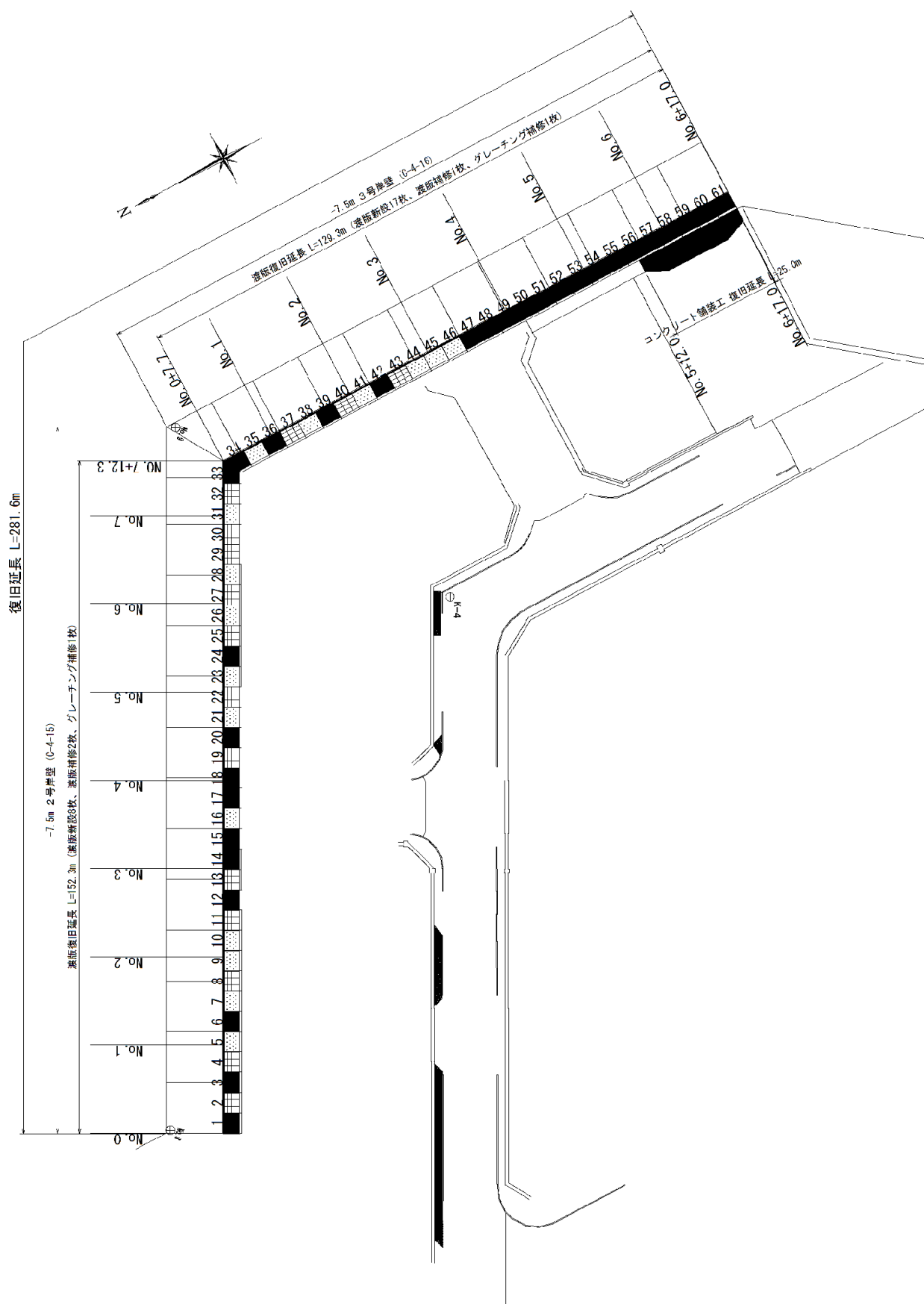


図-A. 4. 129 No. 7 諏訪下-10m岸壁の平面図（復旧後）





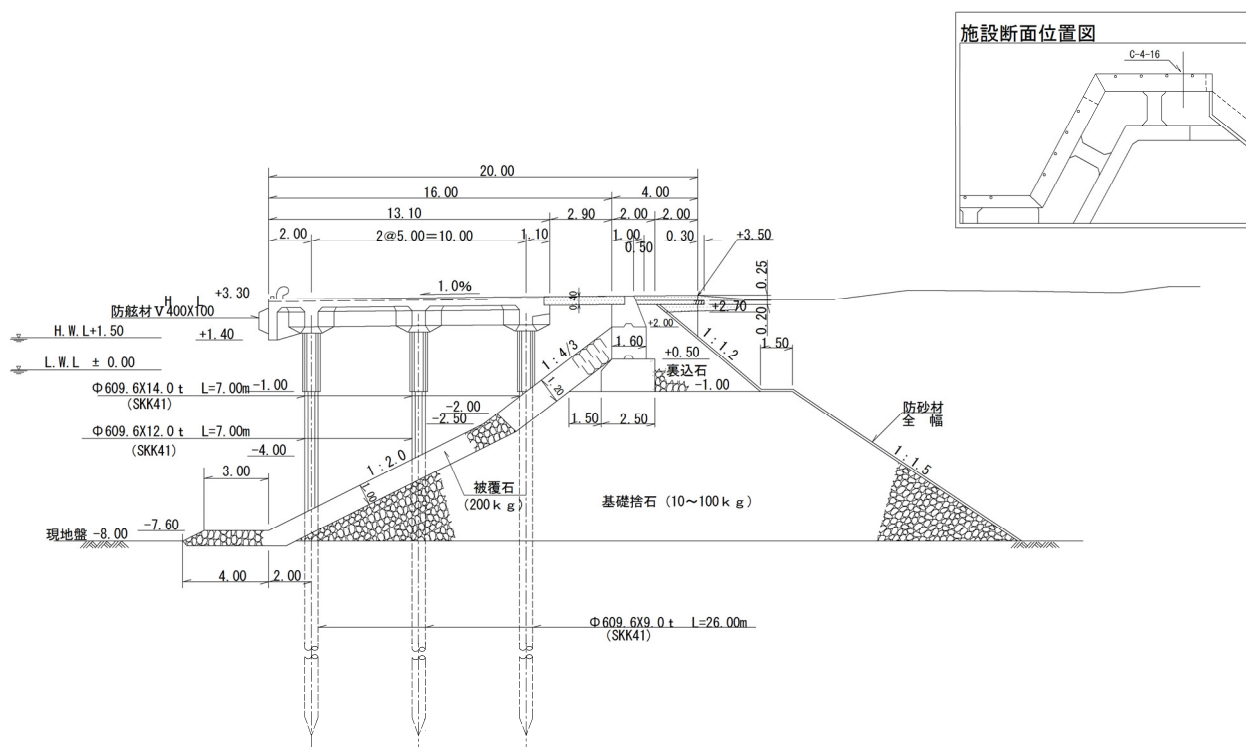
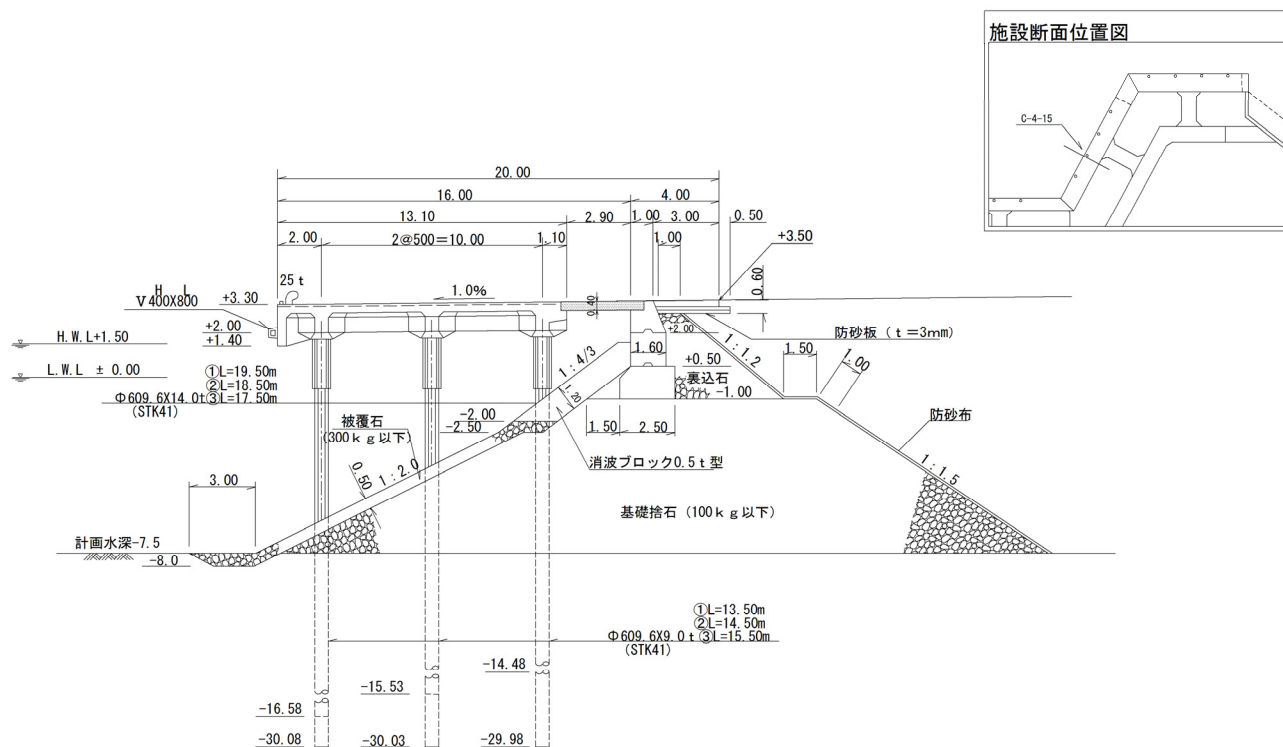


表-A.4.15 No.9 玉の脇-2.0m物揚場の設計条件

1. 潮位	H. W. L D. L+1.50m、L. W. L D. L±0.00m
3. 天端高	被災前(台帳高) : D. L+2.00m 被災後 : D. L+1.80m
3. 設計水深	D. L-2.30m (沈下量0.20m)
4. 土質条件	GL~-1.20m : 砂質土 $N=10$ 、 $\phi=31^\circ$ 、 $\gamma=18.0\text{kN/m}^3$ -1.20m~ : 岩盤 $N>50$ 、 $\phi=40^\circ$
5. 設計震度	$K_h=0.05$
6. 上載荷重	常時 : $q=5.0\text{kN/m}^2$ 、地震時 : $q'=2.5\text{kN/m}^2$
7. 摩擦係数	プレキャストコンクリートと捨石 : $\mu=0.6$ プレキャストコンクリートと岩盤 : $\mu=0.5$ プレキャストコンクリートとプレキャストコンクリート : $\mu=0.5$

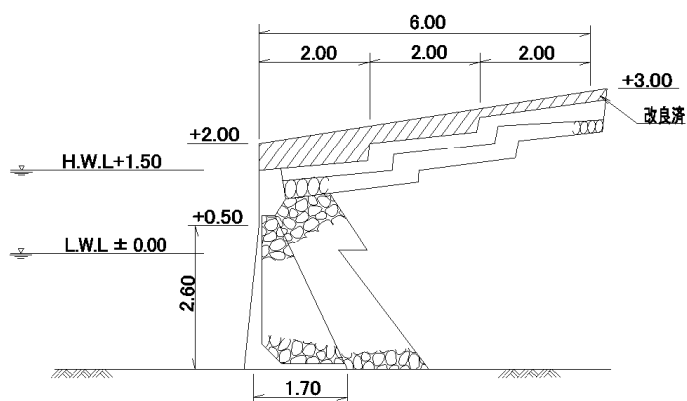
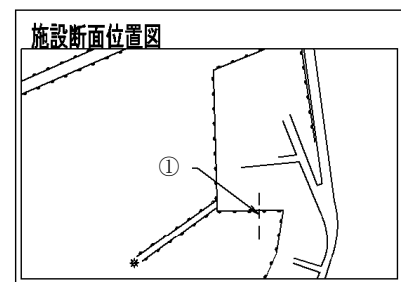


図-A.4.136 No.9 玉の脇-2.0m物揚場の断面図① (被災前)

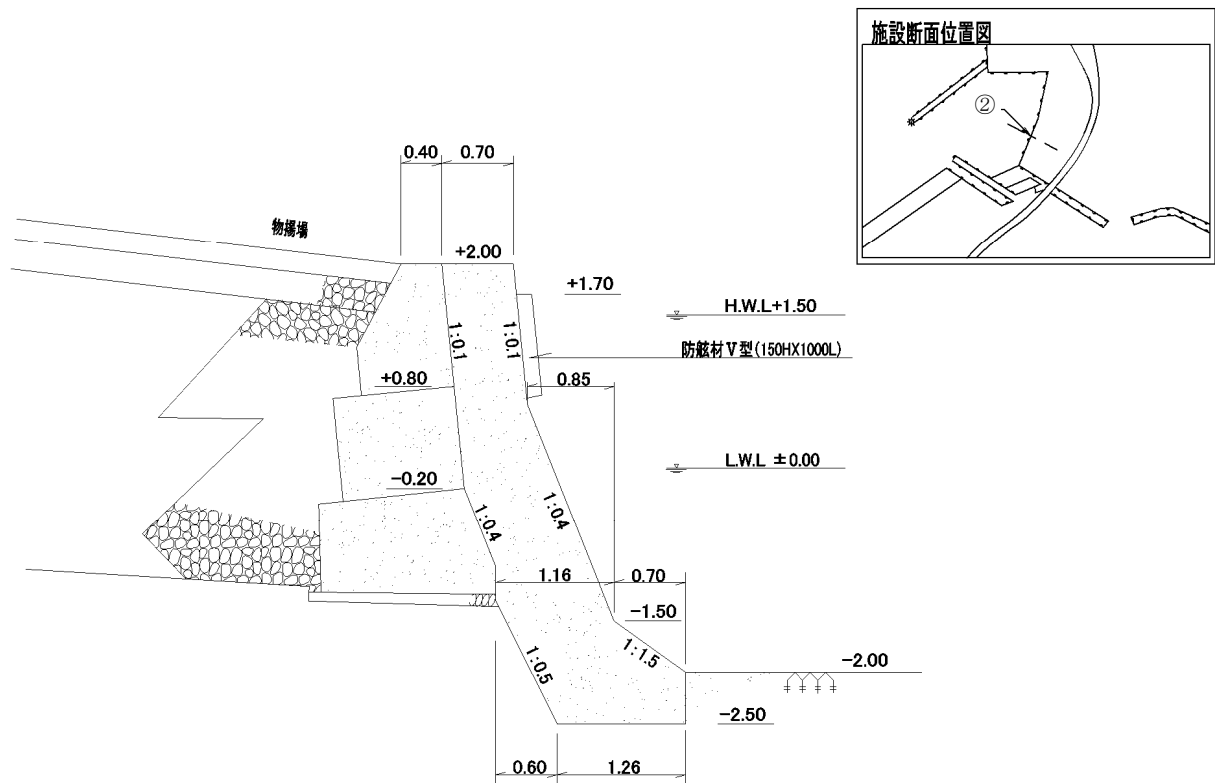


図-A. 4. 137 No. 9 玉の脇-2.0m物揚場の断面図② (被災前)

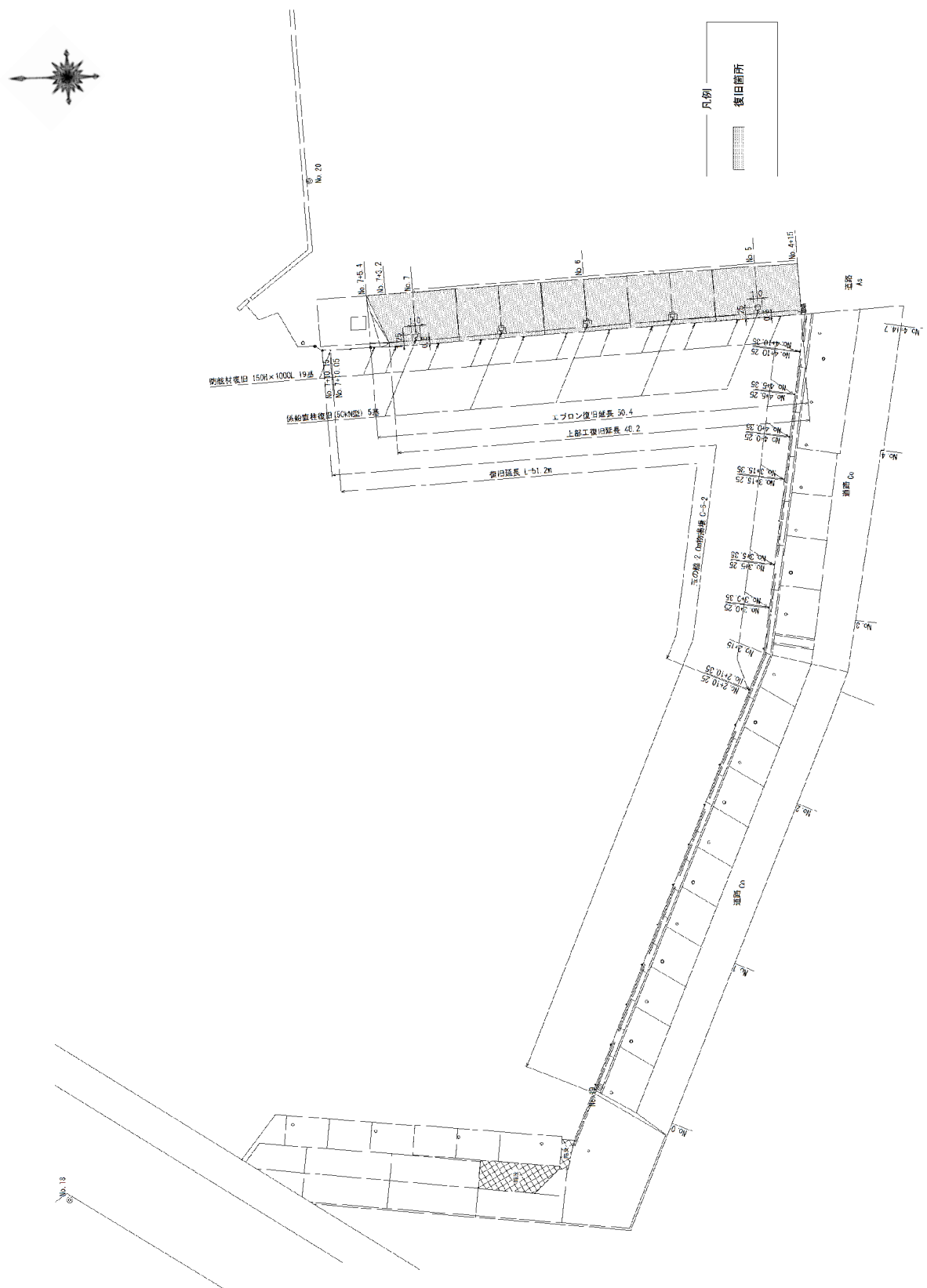


図-A. 4. 138 No. 9 玉の脇-2.0m物揚場の平面図（復旧後）

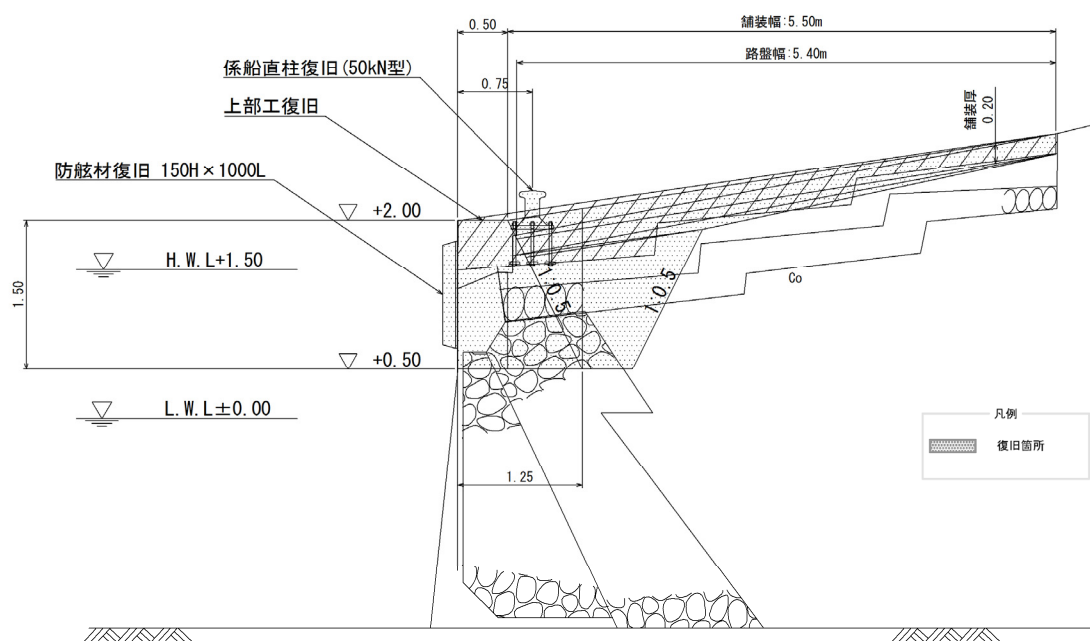


図-A. 4. 139 No. 9 玉の脇-2.0m物揚場の断面図（復旧後）

表-A. 4. 16 No. 10 玉の脇-3.0m物揚場の設計条件

1. 潮位	H. W. L. D. L+1. 50m、L. W. L. D. L±0. 00m
3. 天端高	D. L+2. 50m
3. 設計水深	D. L-3. 10m
4. 土質条件	砂層 $N=24$ 、 $\phi=35^\circ$ 、 $\gamma=18.0\text{kN/m}^3$
5. 設計震度	$K_h=0.10$
6. 上載荷重	常時： $q=5.0\text{kN/m}^2$ 、地震時： $q'=2.5\text{kN/m}^2$
7. 摩擦係数	フ レキャストコンクリートと捨石： $\mu=0.6$
	フ レキャストコンクリートとフ レキャストコンクリート： $\mu=0.5$

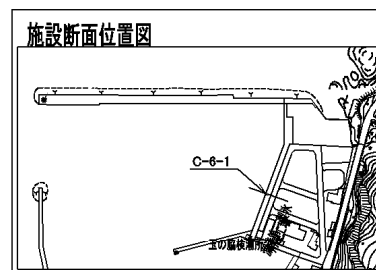
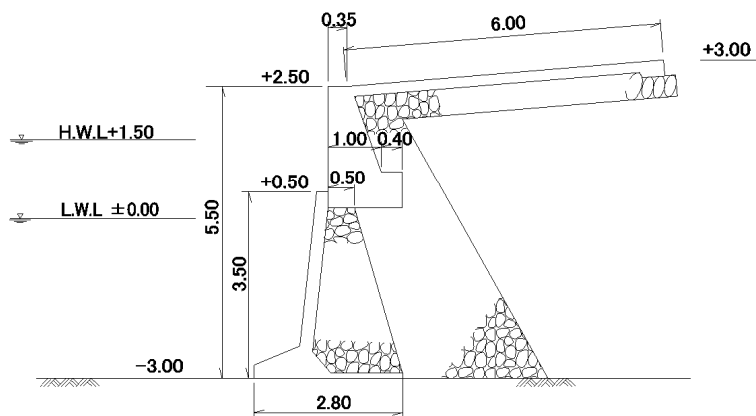


図-A. 4. 140 No. 10 玉の脇-3.0m物揚場の断面図 C-6-1 (被災前)

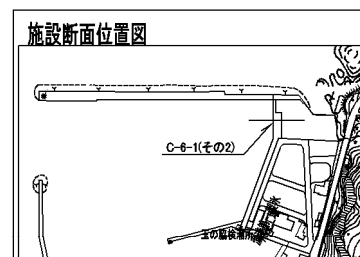
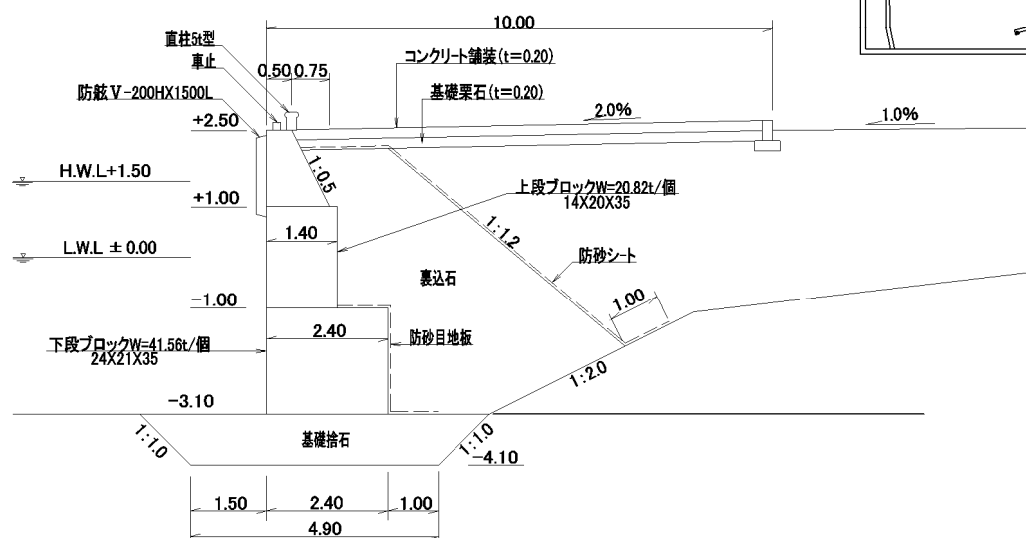


図-A. 4. 141 No. 10 玉の脇-3.0m物揚場の断面図 C-6-1(その2) (被災前)

表-A. 4. 17 No. 11 玉の脇-2.0m物揚場の設計条件

1. 潮位	H. W. L D. L+1. 50m、L. W. L D. L±0. 00m
3. 天端高	D. L+2. 00m
3. 設計水深	D. L-2. 00m
4. 土質条件	GL~-1. 20m : 砂質土 $N=10$ 、 $\phi=31^{\circ}$ 、 $\gamma=18.0\text{kN/m}^3$ -1. 20m~ : 岩盤 $N>50$ 、 $\phi=40^{\circ}$
5. 設計震度	$K_h=0.10$
6. 上載荷重	常時 : $q=10.0\text{kN/m}^2$ 、地震時 : $q'=5.0\text{kN/m}^2$
7. 摩擦係数	フ レキャストコンクリートと捨石 : $\mu=0.6$ フ レキャストコンクリートとフ レキャストコンクリート : $\mu=0.5$

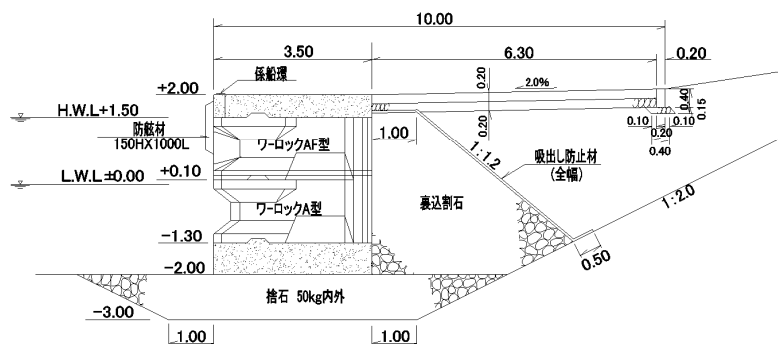
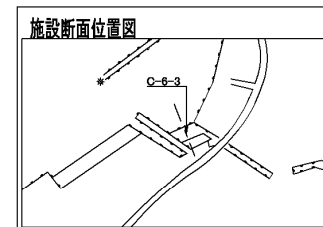


図-A. 4. 144 No. 11 玉の脇-2.0m物揚場の断面図 (被災前)



図-A. 4. 145 No. 11 玉の脇-2.0m物揚場の平面図 (復旧後)

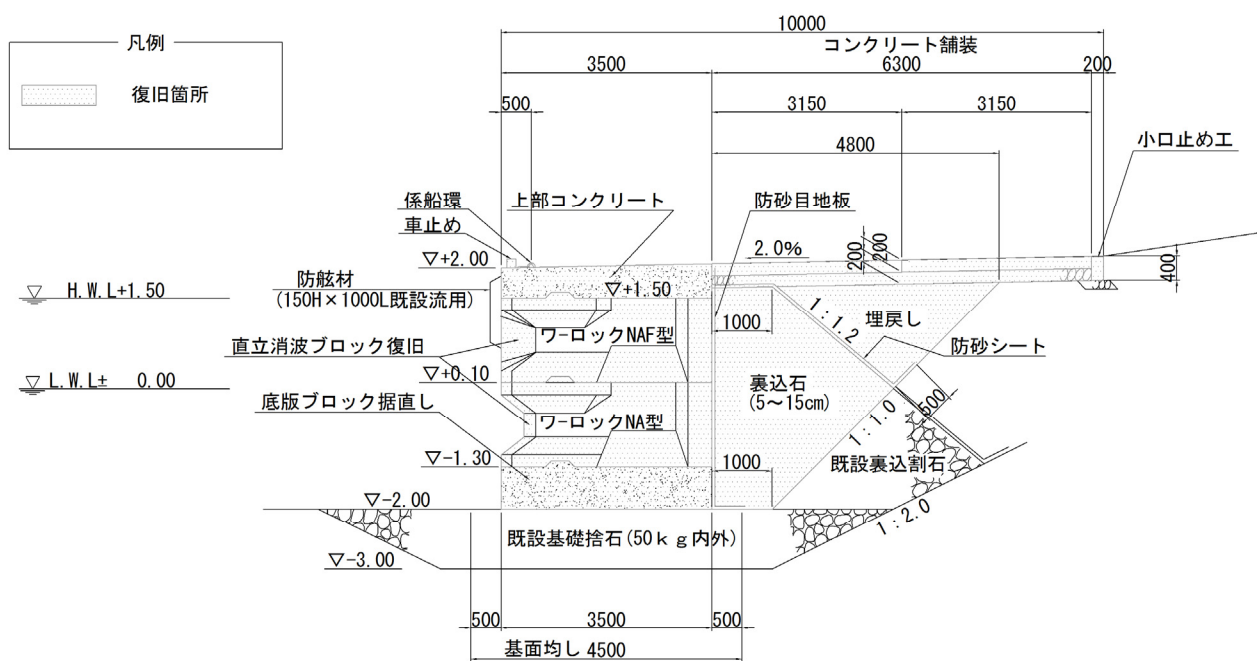


図-A. 4. 146 No. 11 玉の脇-2.0m物揚場の断面図（復旧後）

久慈港 水域施設（補助分）

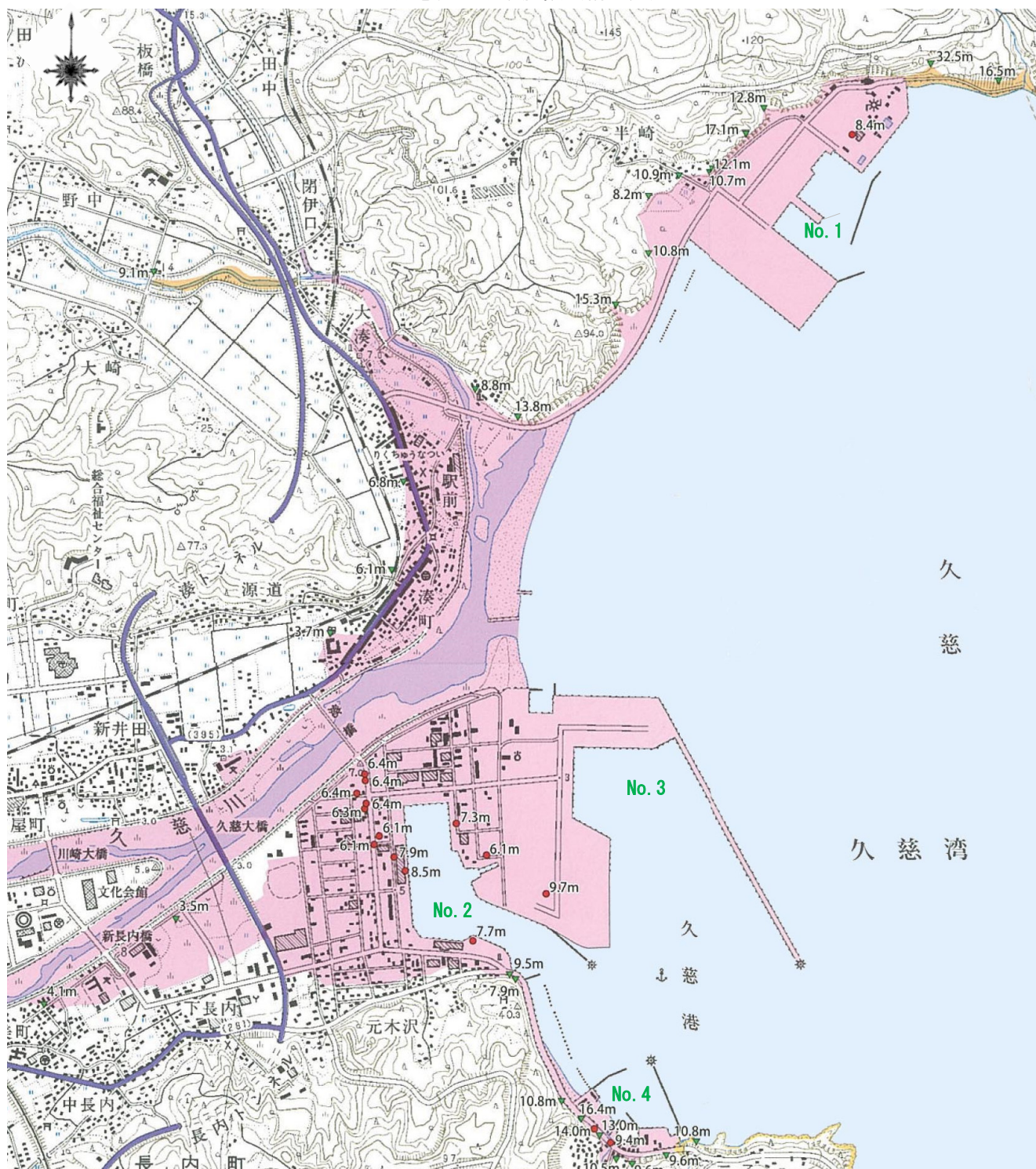


図-A.4.147 久慈港の被災港湾移設（水域施設，補助分）¹⁾に加筆

表-A. 4. 18 久慈港の被災施設一覧（水域施設，補助分）

No.	施設名	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	半崎1号泊地	H3			-4.0m			
2	堀込航路	不明			-7.0m			
	堀込泊地	S44			-4.5m			
	堀込航路泊地	S43			-6.0m			
					-4.5m			
3	諏訪下航路	不明			-11.0m			
	諏訪下1号泊地	S58			-7.5m			
	諏訪下航路泊地(-10m)	S58			-10.0m			
4	玉の脇1号泊地	不明			-3.0m			
	玉の脇2号泊地	不明			-2.0m			

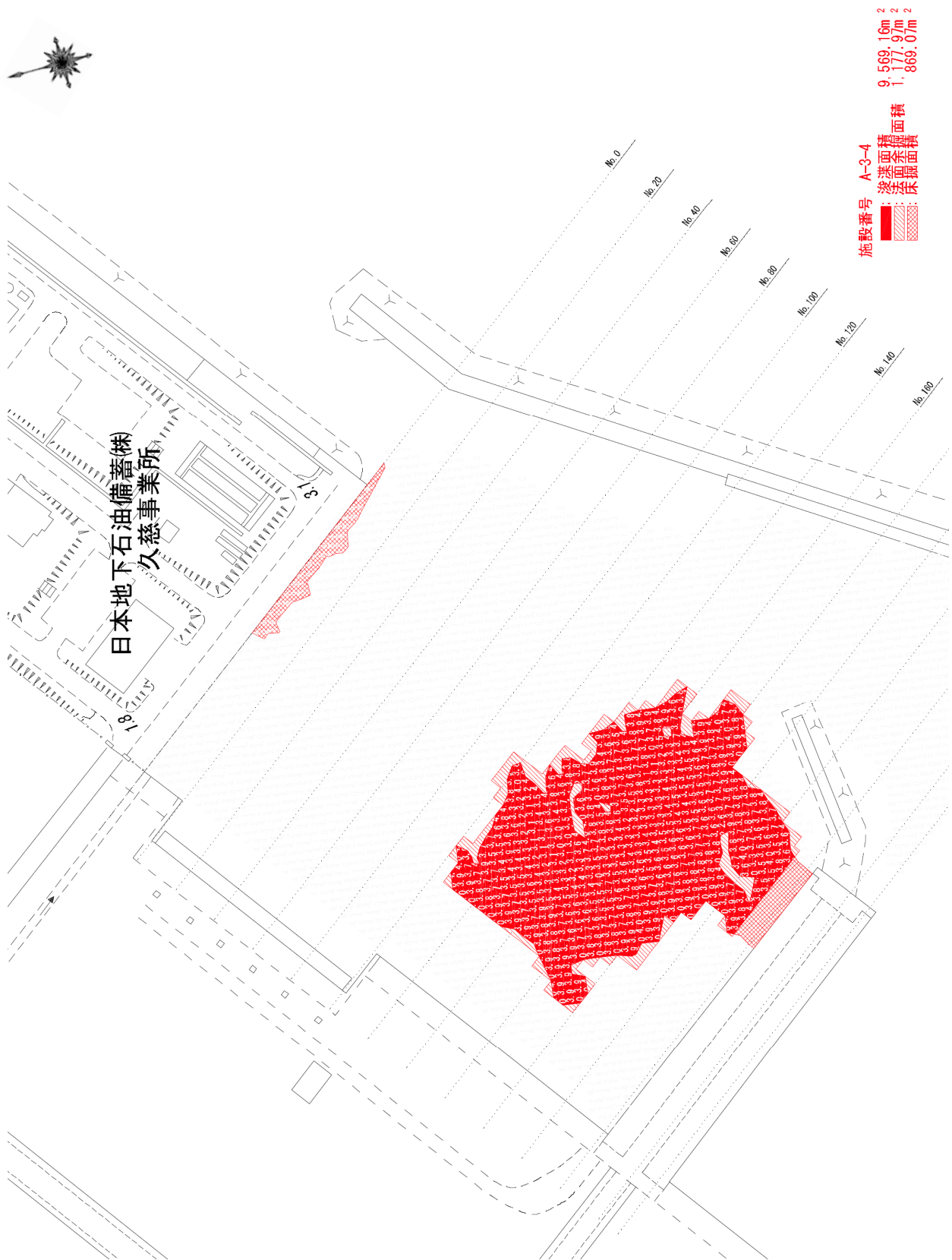


図-A.4.148 No.1 半崎地区_1号泊地埋設堆積状況平面図(被災後)

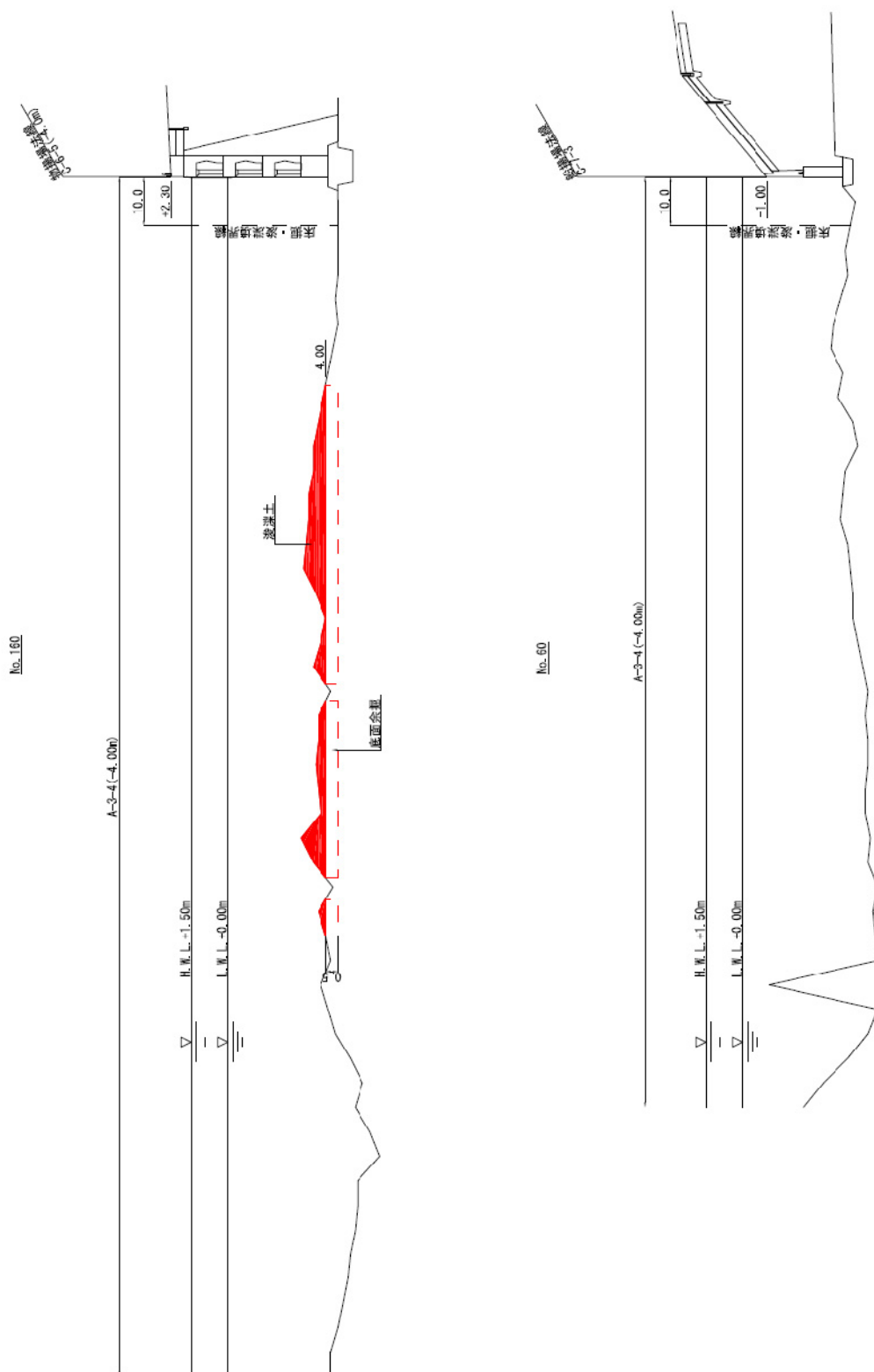


図-A. 4. 149 No. 1 半崎地区_1号泊地浚渫標準断面図（被災後）
 （図-A. 4. 150中のNo. 160, No. 60）

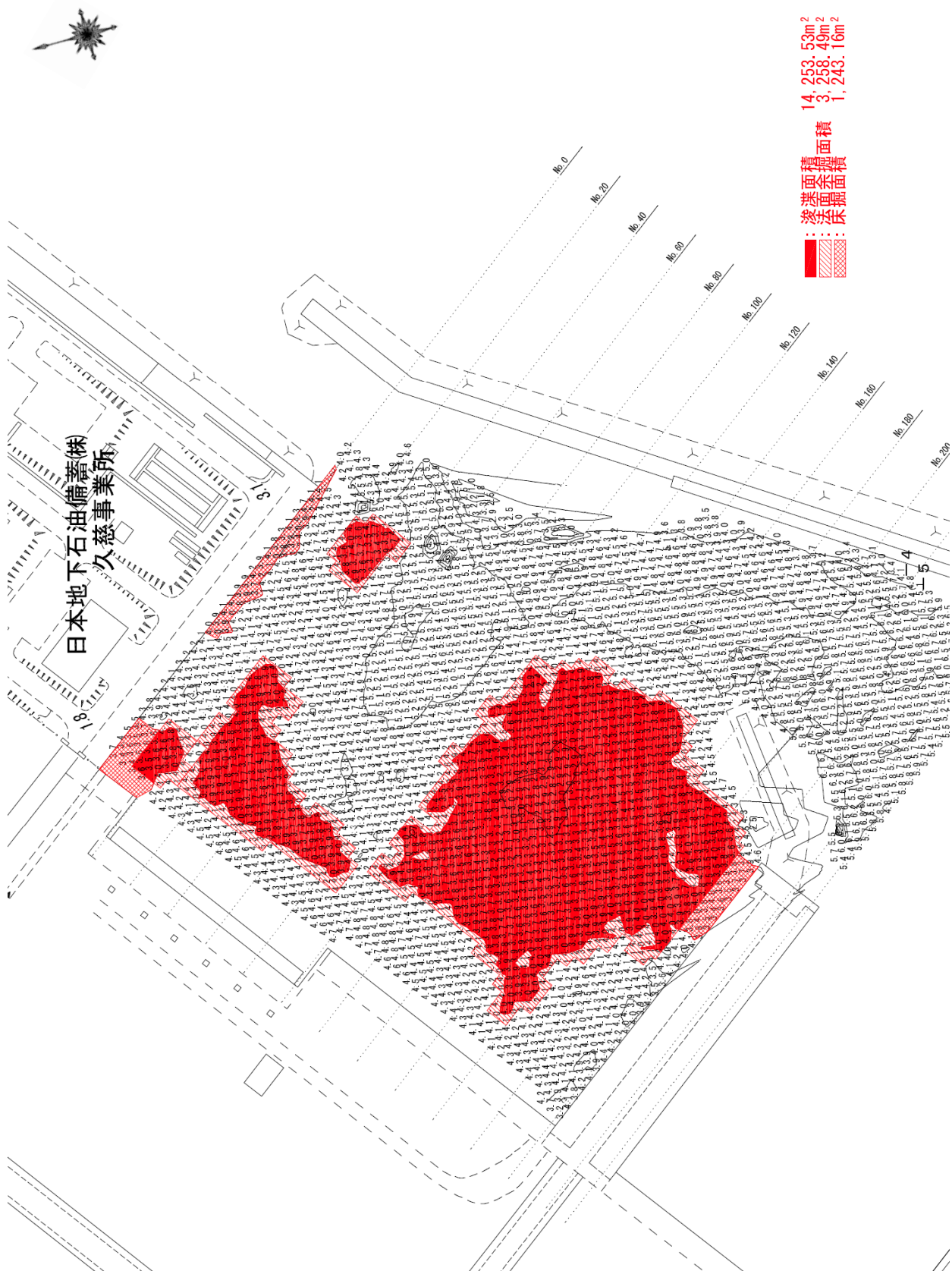


図-A.4.151 No.1 半崎地区_1号泊地埋設堆積状況平面図(復旧後)

(久慈港)



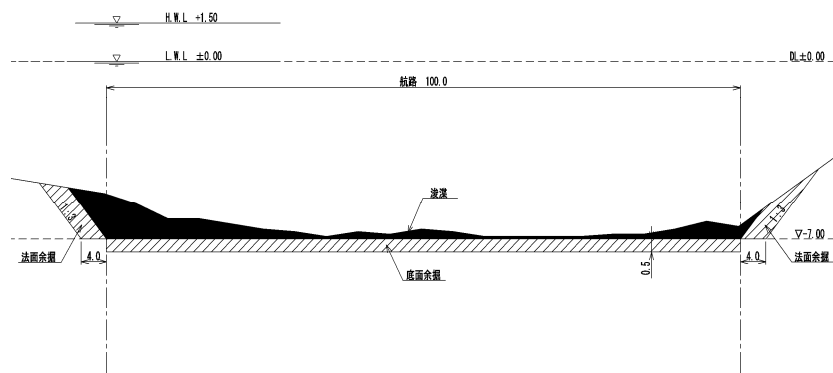
図一A. 4. 152 No. 2 堀込地区_航路・泊地の平面図①（復旧後）

(久慈港)

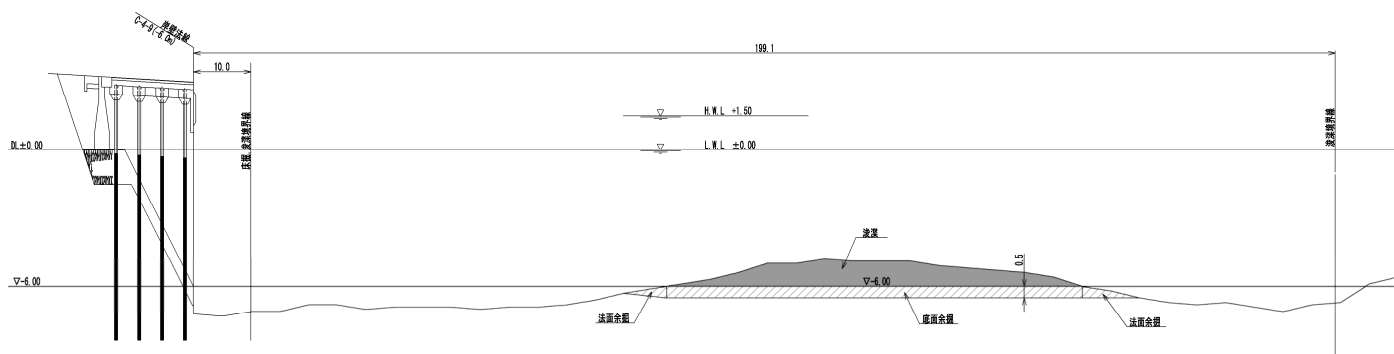


図-A. 4. 153 No. 2 堀込地区_航路・泊地の平面図②（復旧後）

(久慈港)



図—A. 4. 154 No. 2 堀込地区_航路・泊地の断面図①（復旧後）



図—A. 4. 155 No. 2 堀込地区_航路・泊地の断面図②（復旧後）

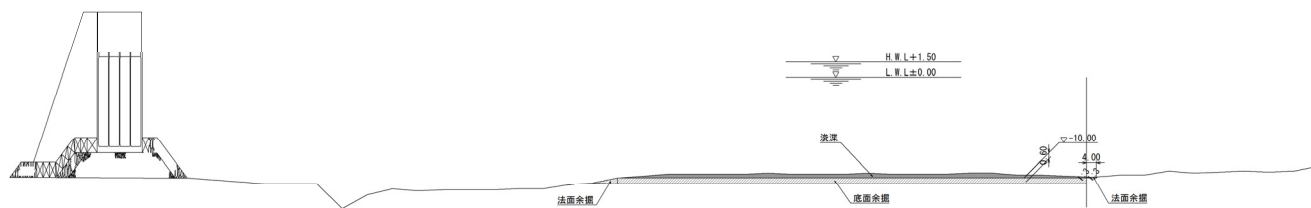


図-A. 4. 157 No. 3 諏訪下地区_航路・泊地の断面図（復旧後）

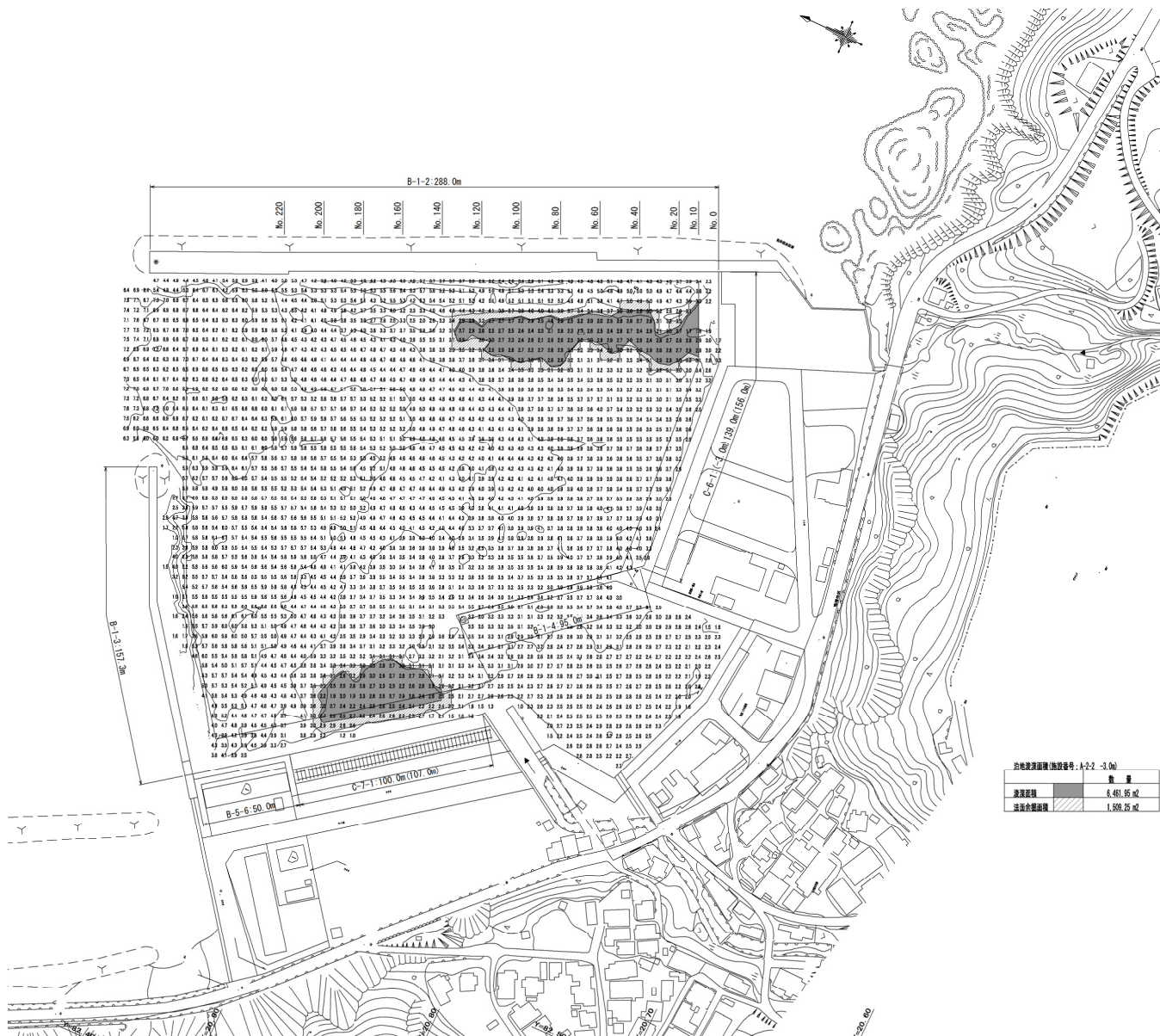


図-A.4.158 No.4 玉の脇地区_1号・2号泊地の平面図(復旧後)

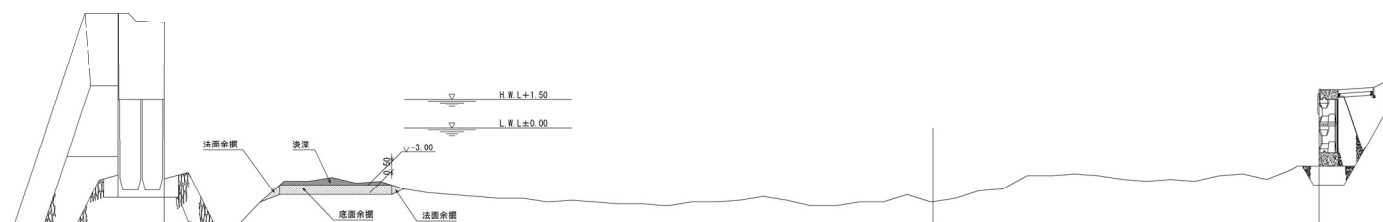
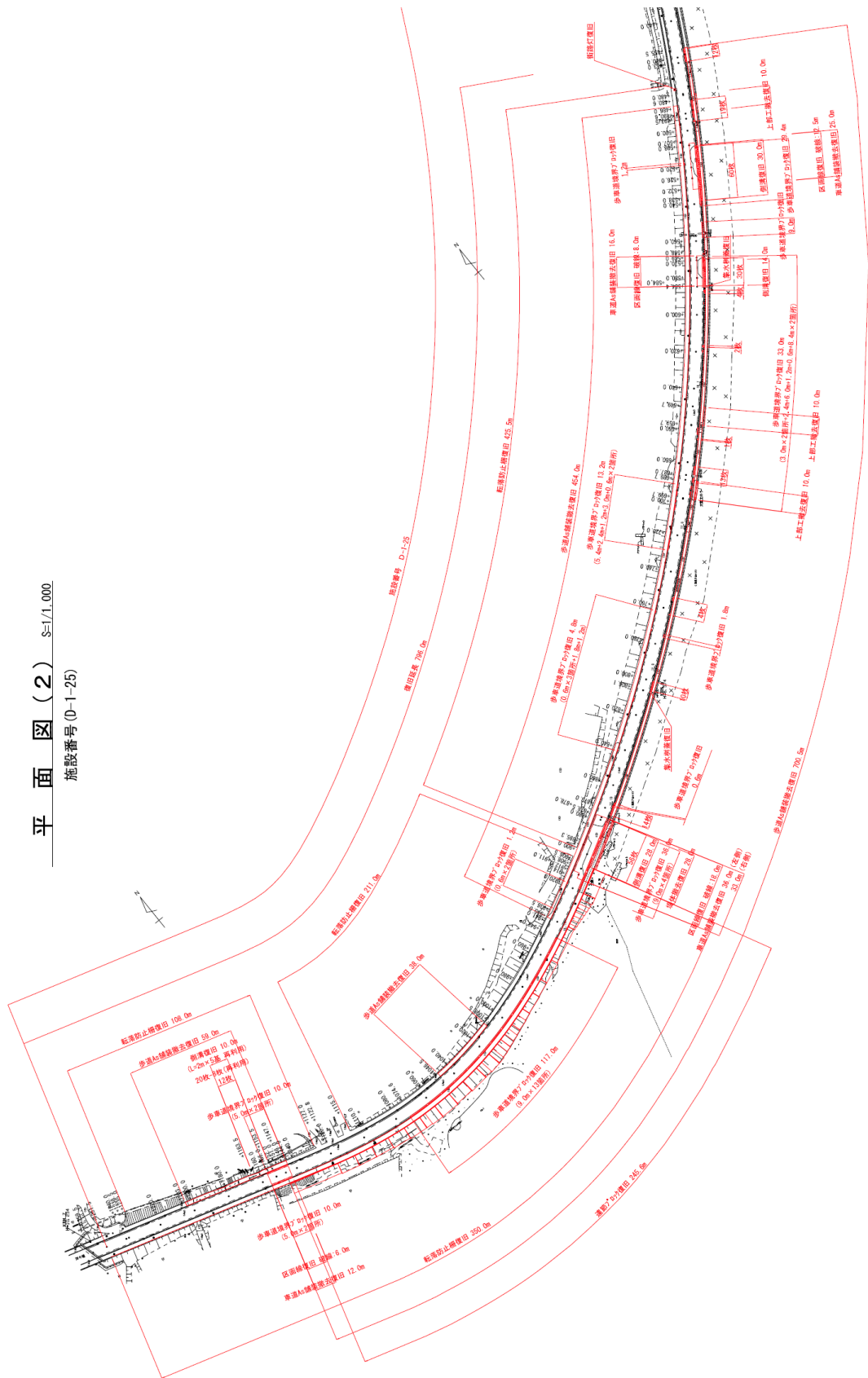


図-A.4.159 No.4 玉の脇地区_1号泊地の断面図(復旧後)

表－A. 4. 19 久慈港の被災施設一覧（臨港交通施設，補助分）

No.	施設名	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	臨海道路湾岸線	—						796.0m
2	臨港道路湾岸線	—						300.3m
3	半崎1号支線	—						143.8m
4	半崎2号支線	—						114.0m
5	半崎3号支線	—						23.5m
6	半崎線	—						223.1m
7	半崎埠頭縦断線	—						250.7m
8	半崎埠頭横断線	—						86.0m

平面図(2) S=1/1,000
施設番号(0-1-25)



凡例
赤字
復旧箇所

図-A.4.161 No.1 臨海道路湾岸線平面図 No.2 (復旧後)

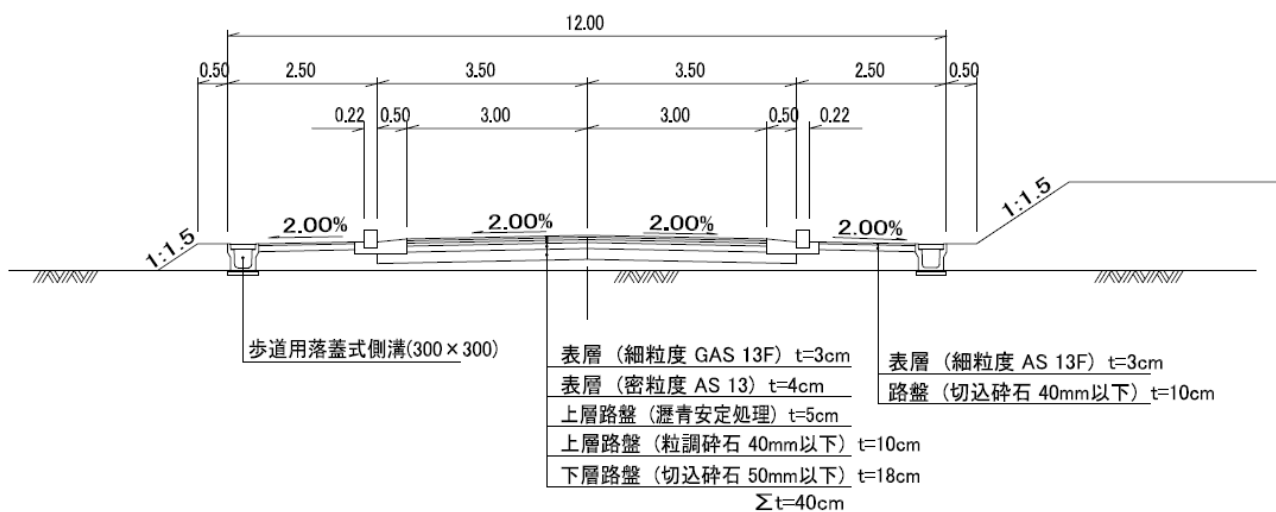


図-A. 4. 163 No. 2 臨港道路湾岸線断面図 No.1 (被災前)

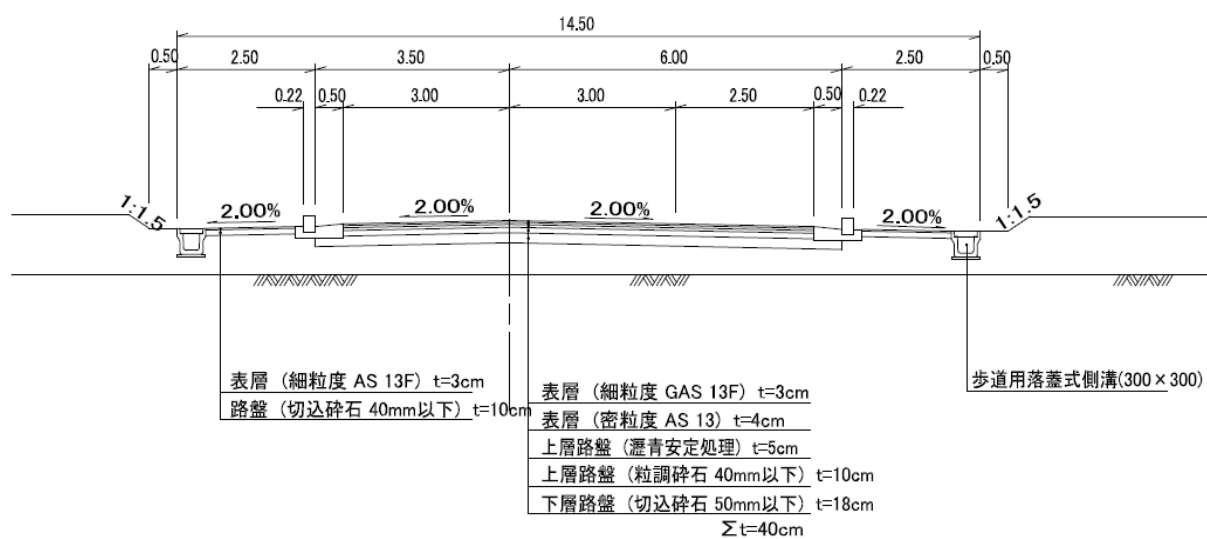
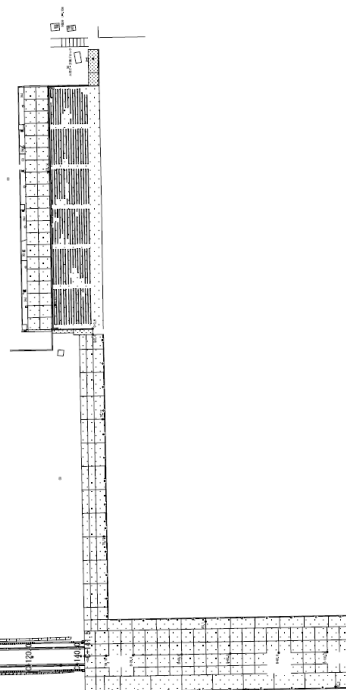


図-A. 4. 164 No. 2 臨港道路湾岸線断面図 No.2 (被災前)



(久慈港)
- 988 -

凡例

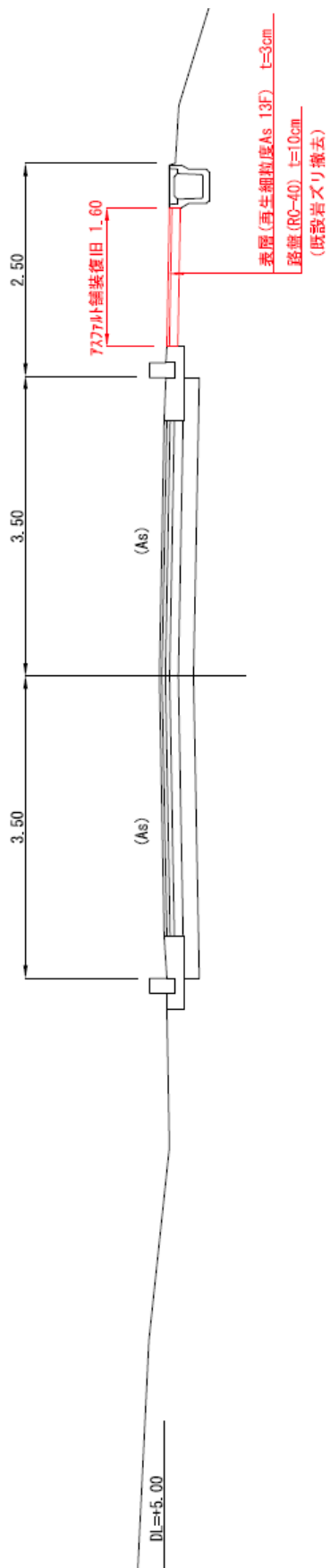


圖-A.4.166 No.2 臨港道路湾岸線断面図 A+585.0 (復旧後)

(久慈港)

凡例
赤字 復旧箇所

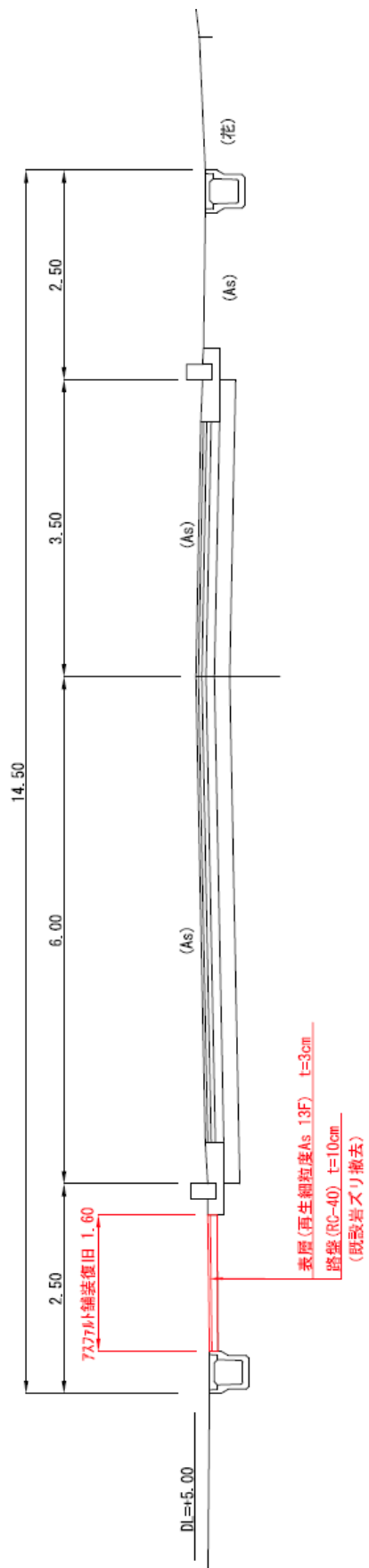
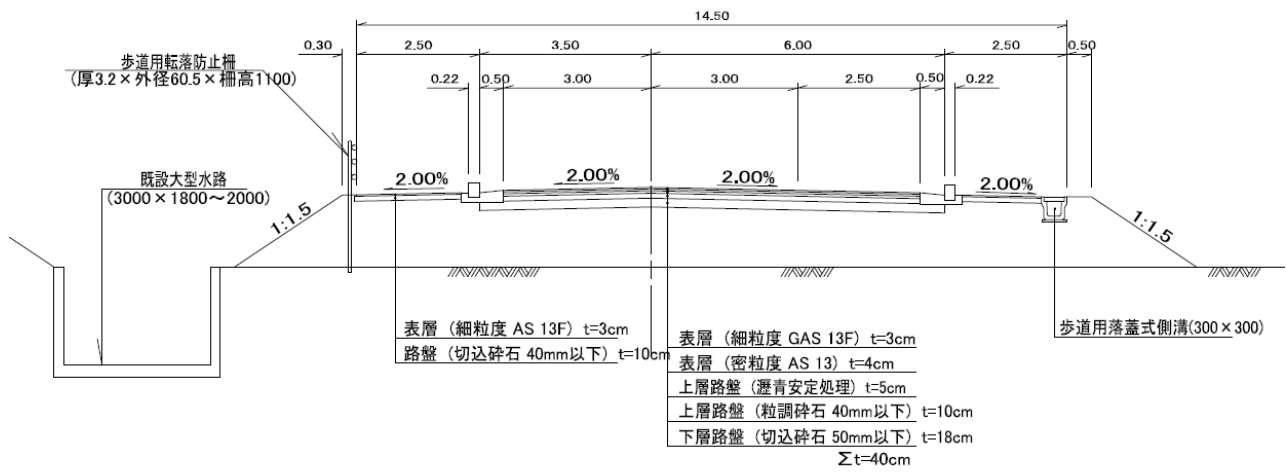


図-A. 4. 167 No. 2 臨港道路湾岸線断面図 A+380.0 (復旧後)

(久慈港)



図—A. 4. 168 No. 3 半崎地区_1 号支線断面図 (被災前)

凡例
赤字 復旧箇所

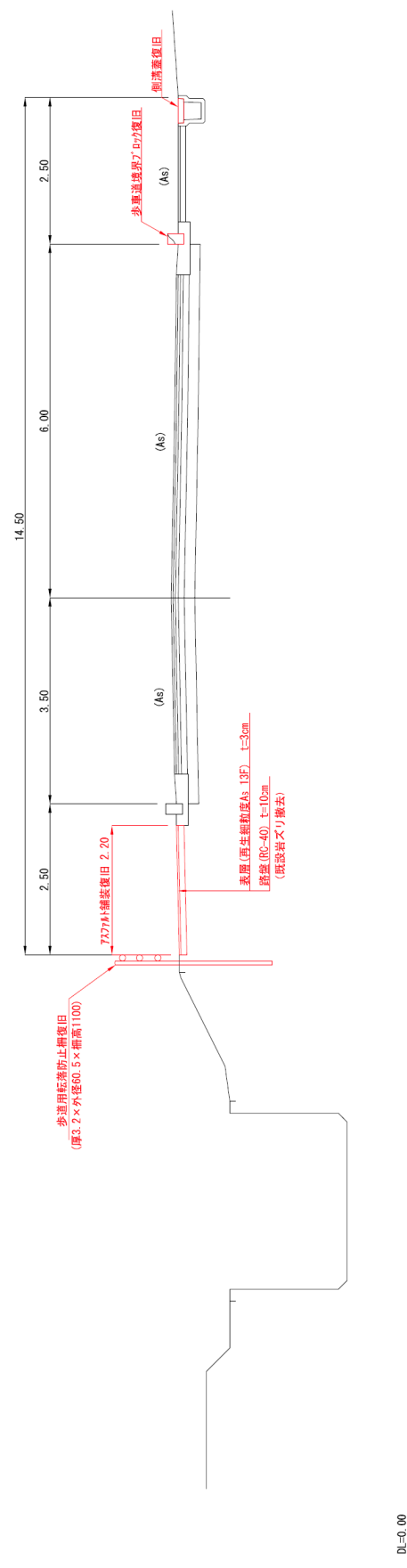


図-A.4.170 No.3 半崎地区_1号支線断面図(復旧後)

(久慈港)
- 993 -

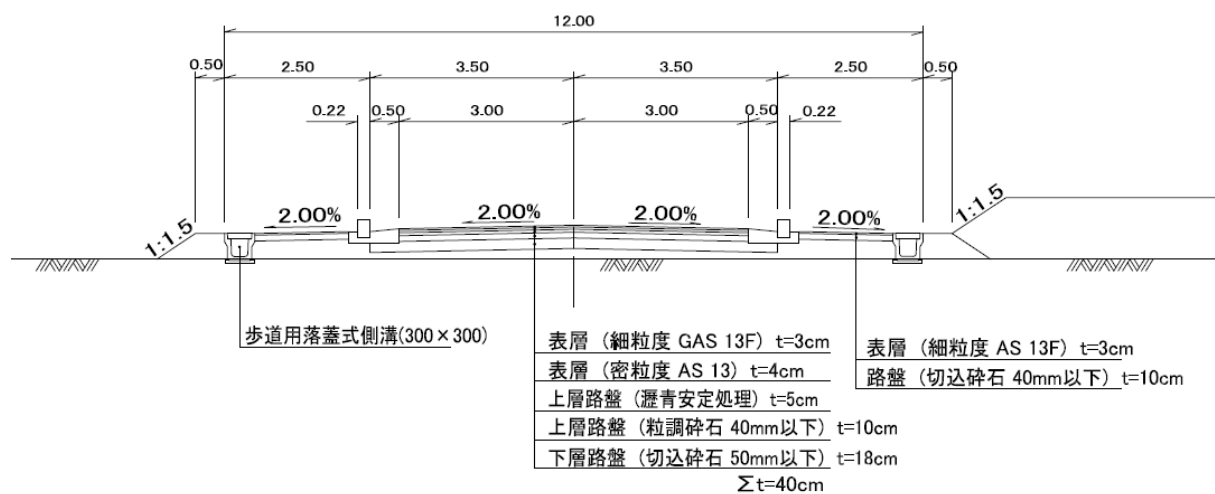
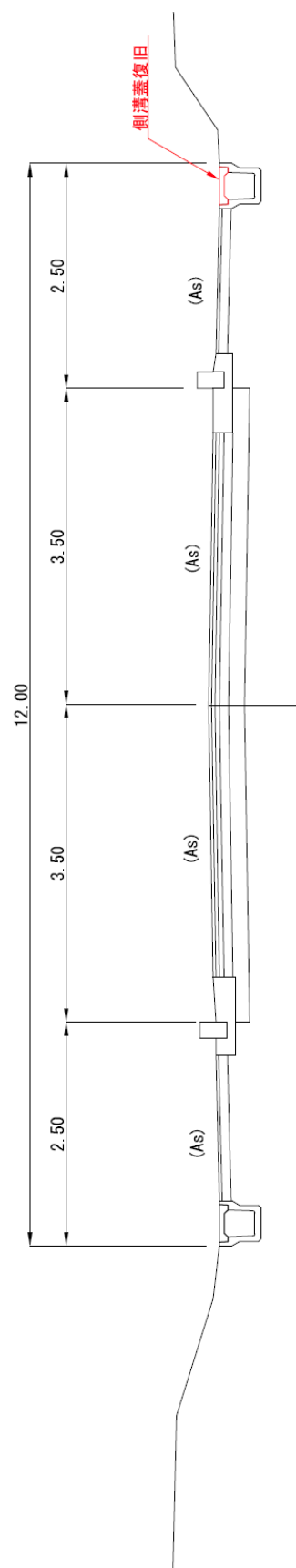


図-A. 4. 171 No. 4 半崎地区_2号支線断面図(被災前)



DL=0.00

図-A.4.173 No.4 半崎地区_2号支線断面図(復旧後)

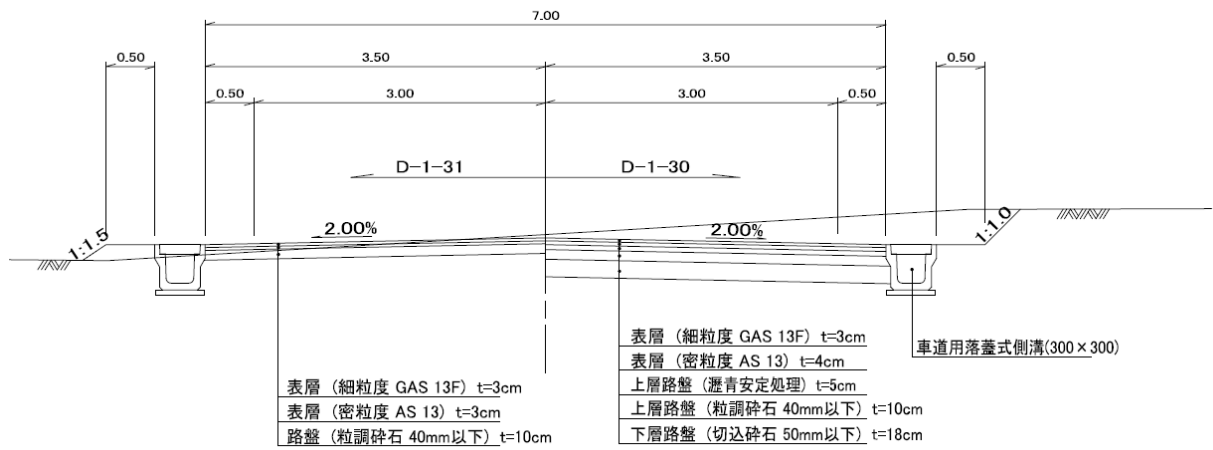


図-A. 4. 174 No. 5 半崎地区_3号支線断面図 (被災前)

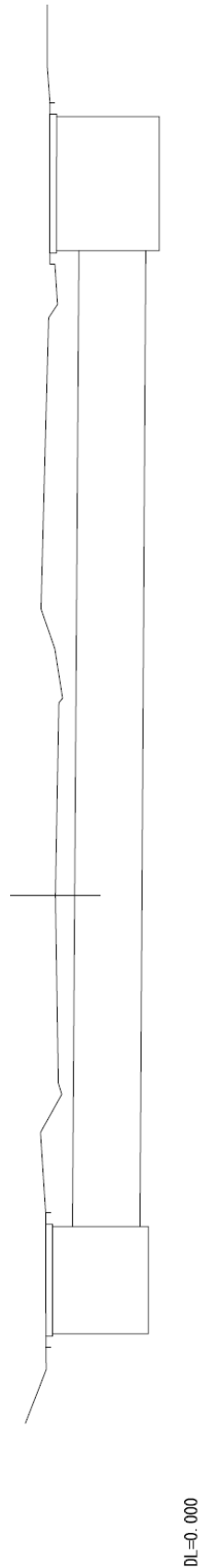
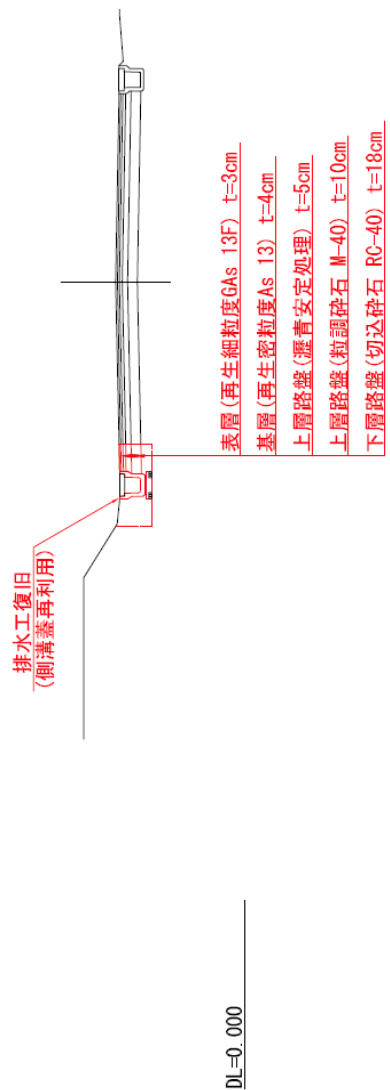


図-A. 4. 176 No. 5 半崎地区_3号支線断面図 A30.0 (復旧後)



図一A.4.177 No.5 半崎地区_3号支線断面図 A+136.5 (復旧後)

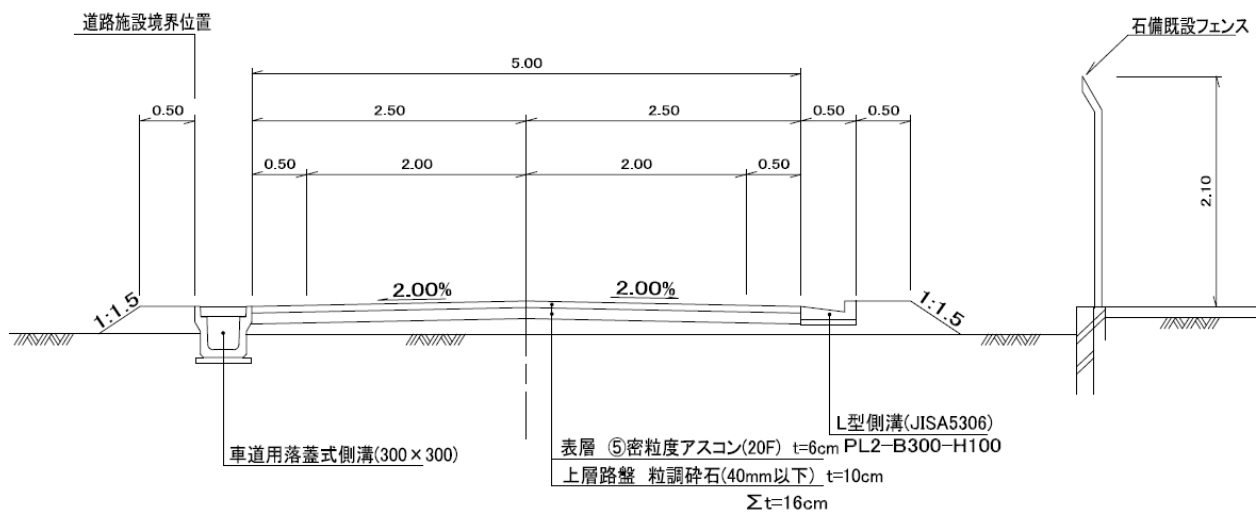


図-A. 4. 178 No. 6 半崎地区_線断面図 (被災前)

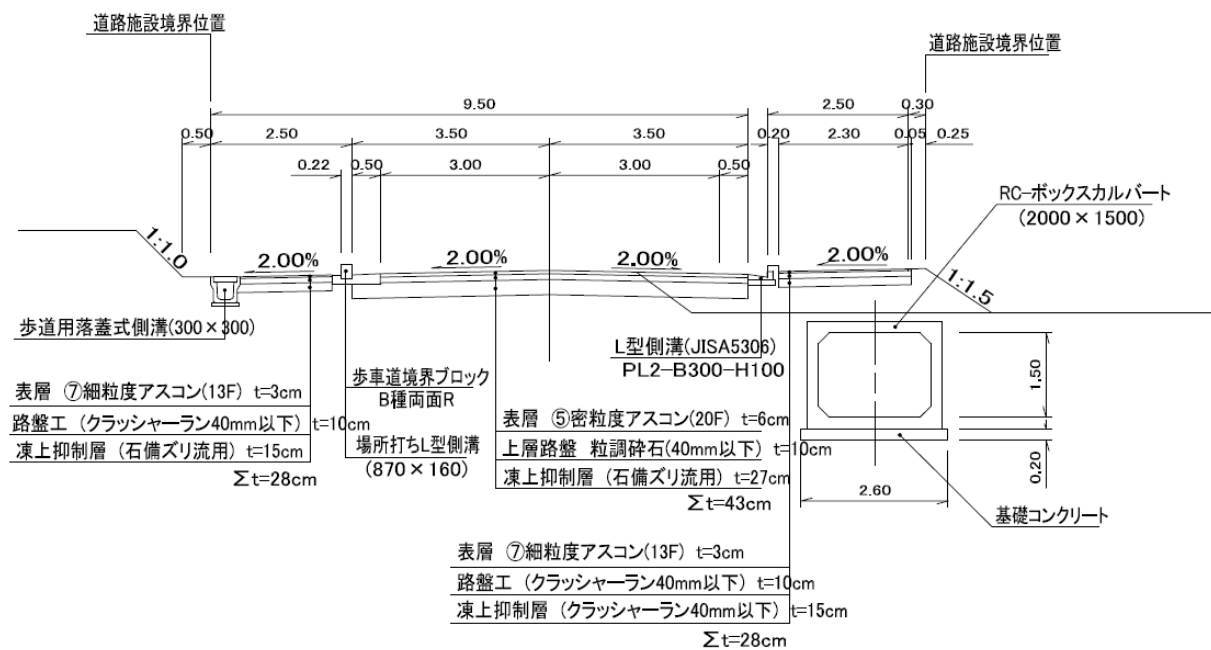


図-A. 4. 179 No. 6 半崎地区_線断面図 (被災前)

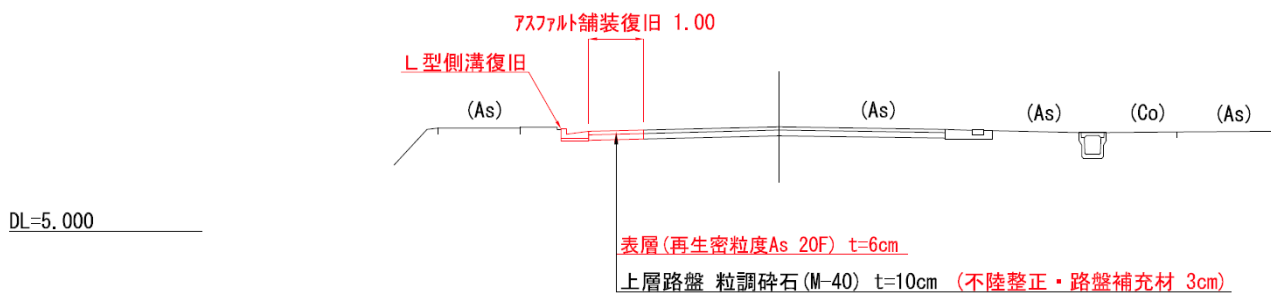


図-A.4.181 No.6 半崎地区_線断面図 B+211.2 (復旧後)

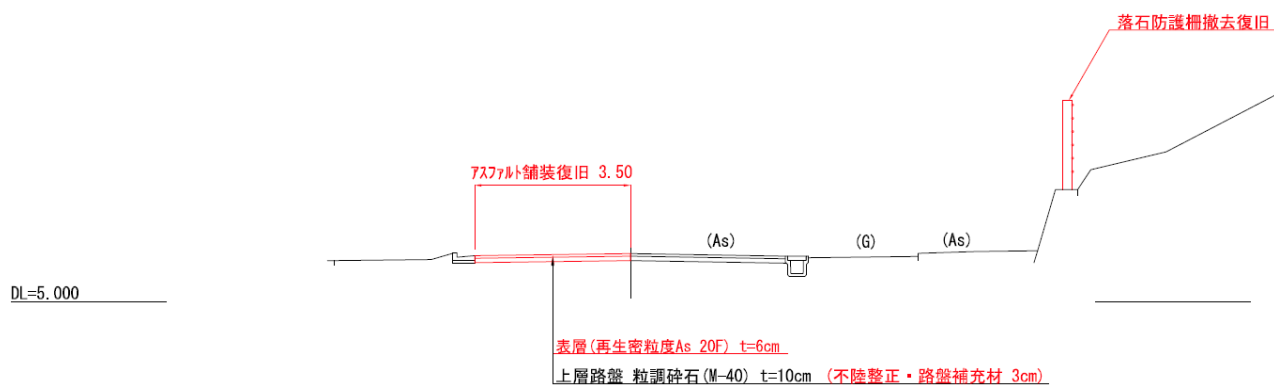


図-A.4.182 No.6 半崎地区_線断面図 B+110.0 (復旧後)

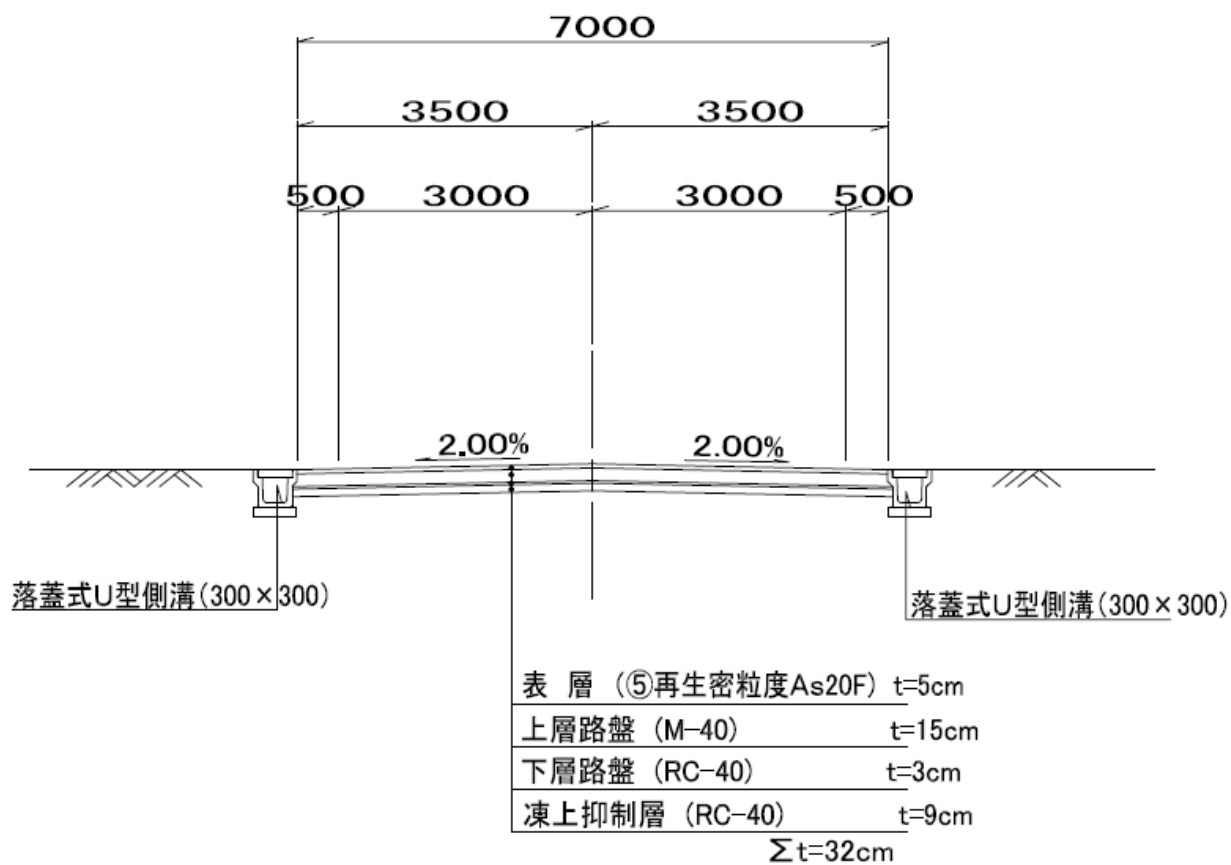


図-A. 4. 183 No. 7 半崎地区_埠頭縦断線断面図 (被災前)

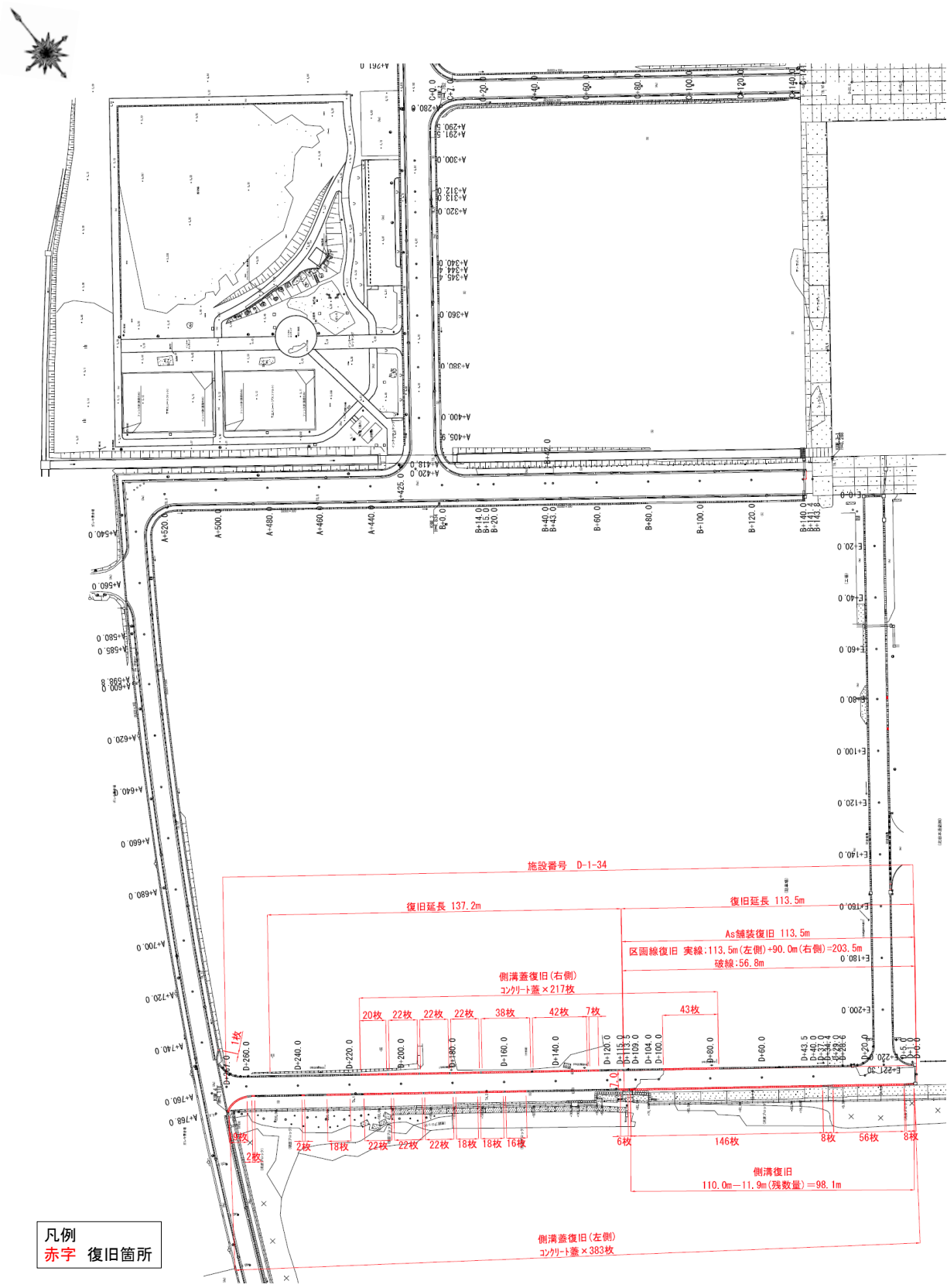


図-A.4.184 No.7 半崎地区_埠頭縦断線平面図(復旧後)

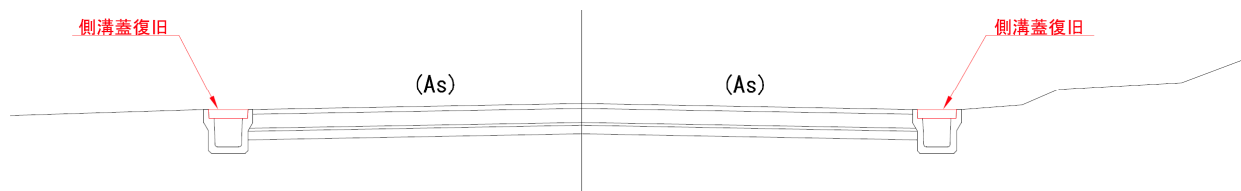


図-A. 4. 185 No. 7 半崎地区_埠頭縦断線断面図 D+200.0 (復旧後)

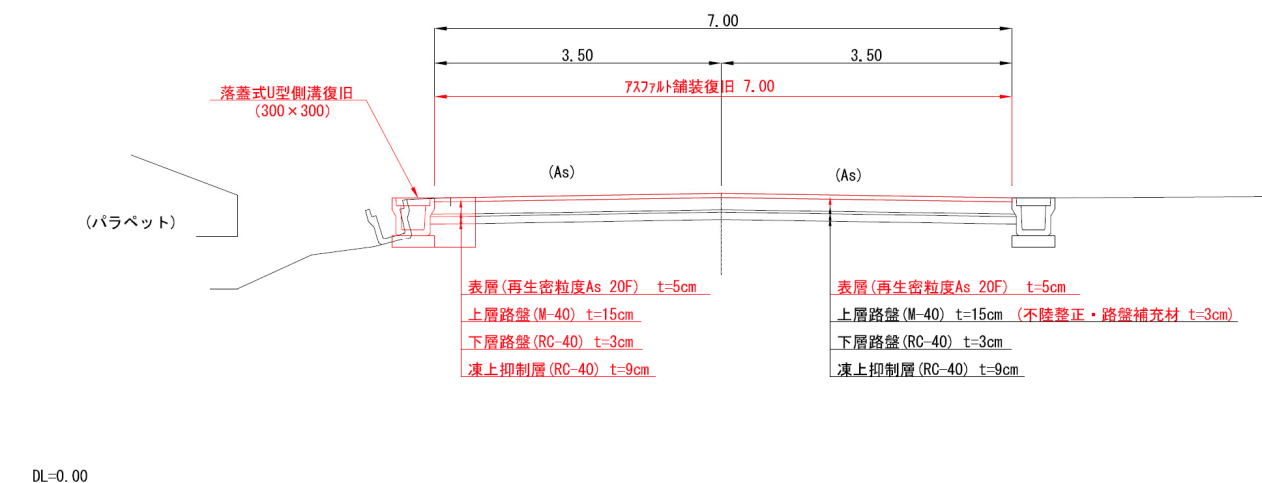


図-A. 4. 186 No. 7 半崎地区_埠頭縦断線断面図 D+109.0 (復旧後)

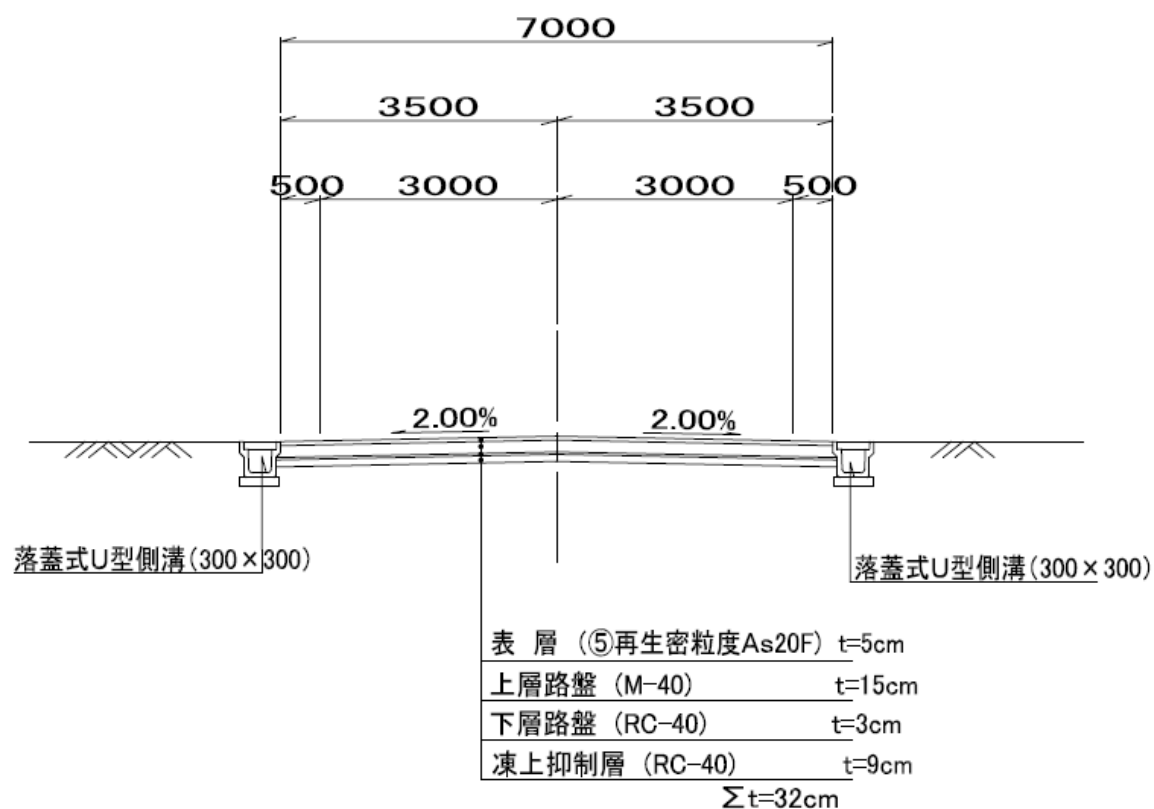


図-A. 4. 187 No. 8 半崎地区_埠頭横断線断面図 (被災前)

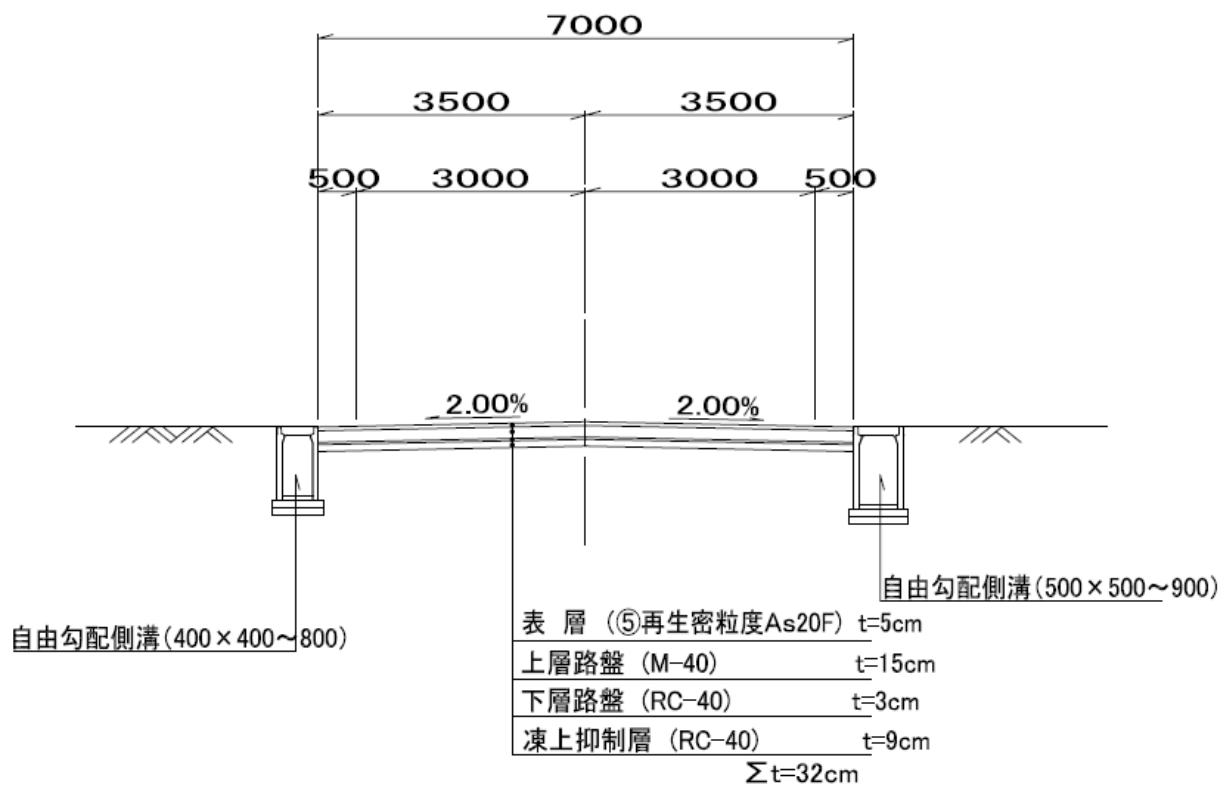


図-A. 4. 188 No. 8 半崎地区_埠頭横断線断面図 (被災前)

(久慈港)

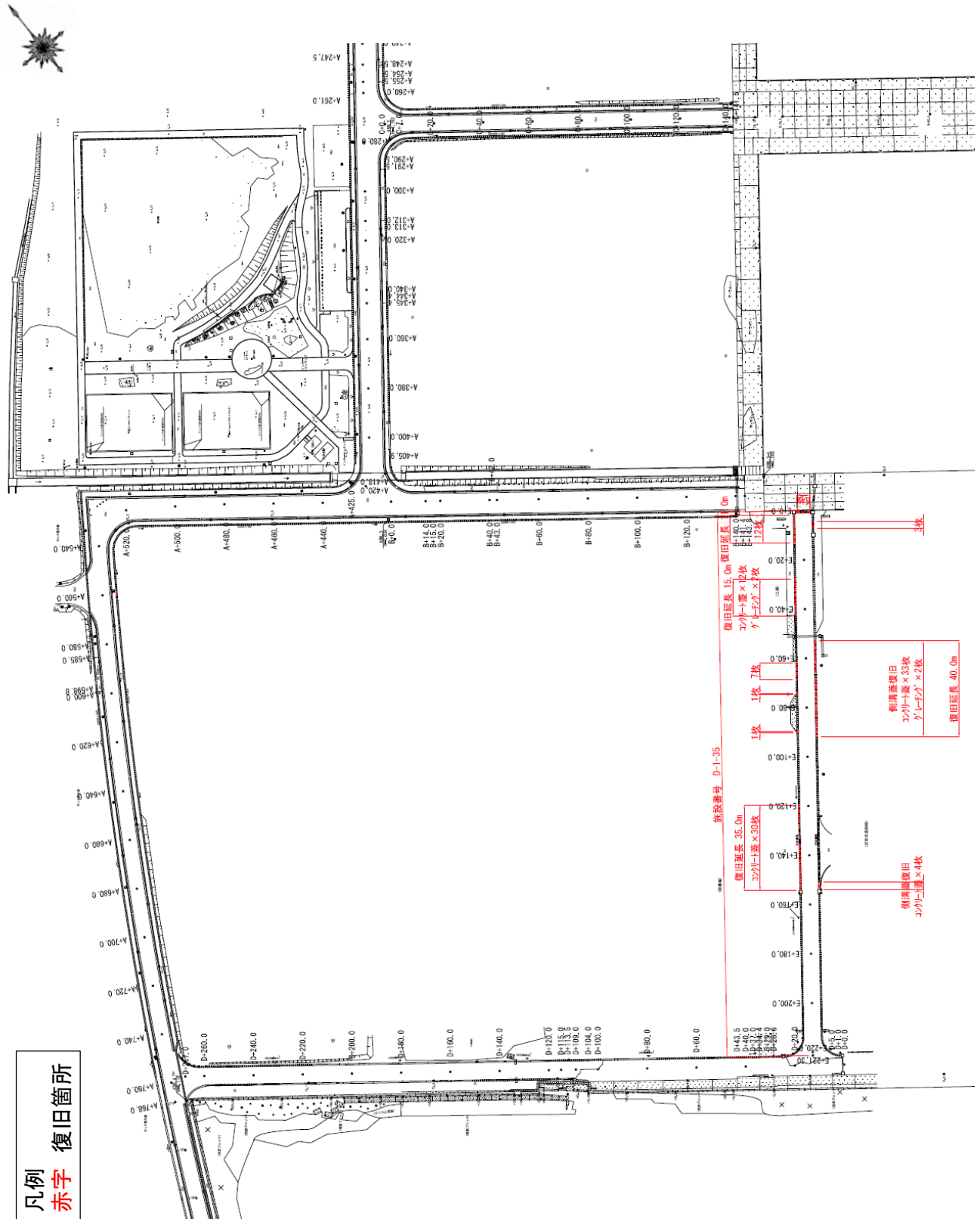


図-A.4.189 No. 8 半崎地区_埠頭横断線平面図 (復旧後)

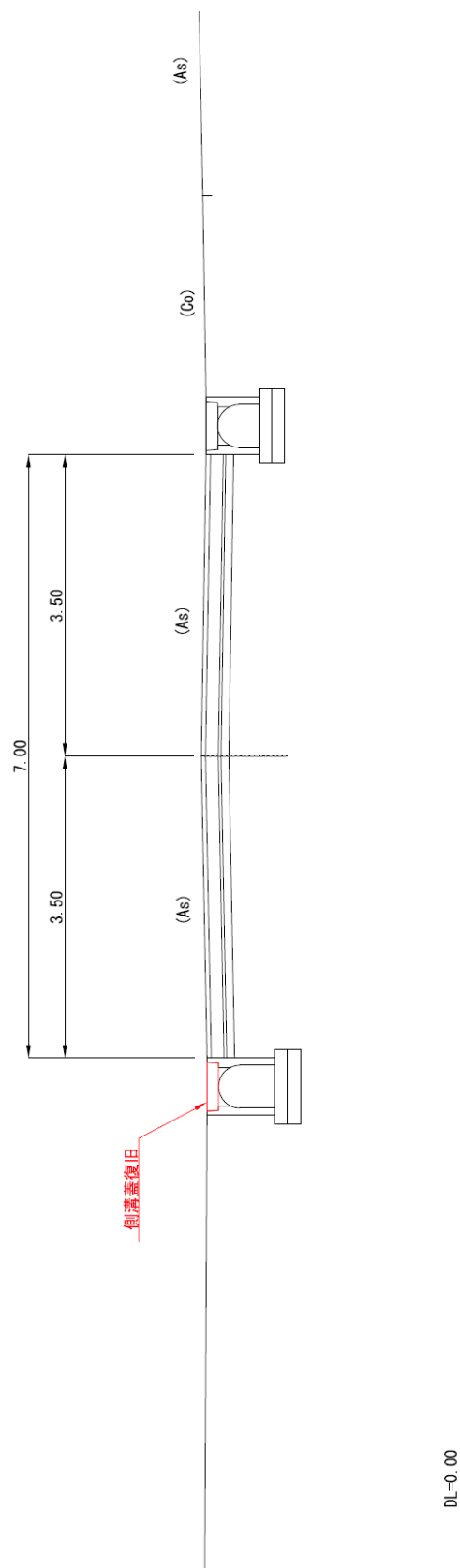
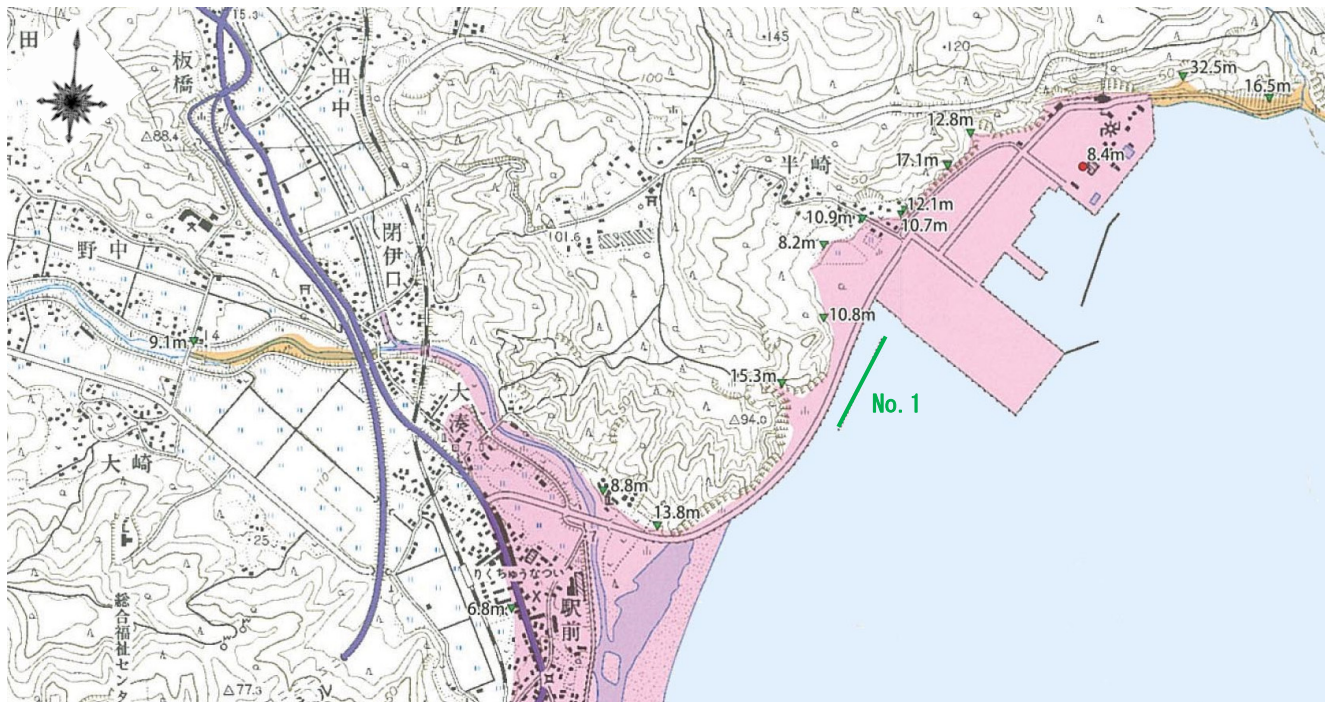


図-A. 4. 190 No. 8 半崎地区_埠頭横断線断面図 (復旧後)

久慈港 その他施設（補助分）



図－A. 4. 191 久慈港の被災港湾移設（その他，補助分）¹⁾に加筆

表－A. 4. 20 久慈港の被災施設一覧（その他，補助分）

No.	施設名	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	半崎地区_離岸堤	—	238m			+2.6m		238m

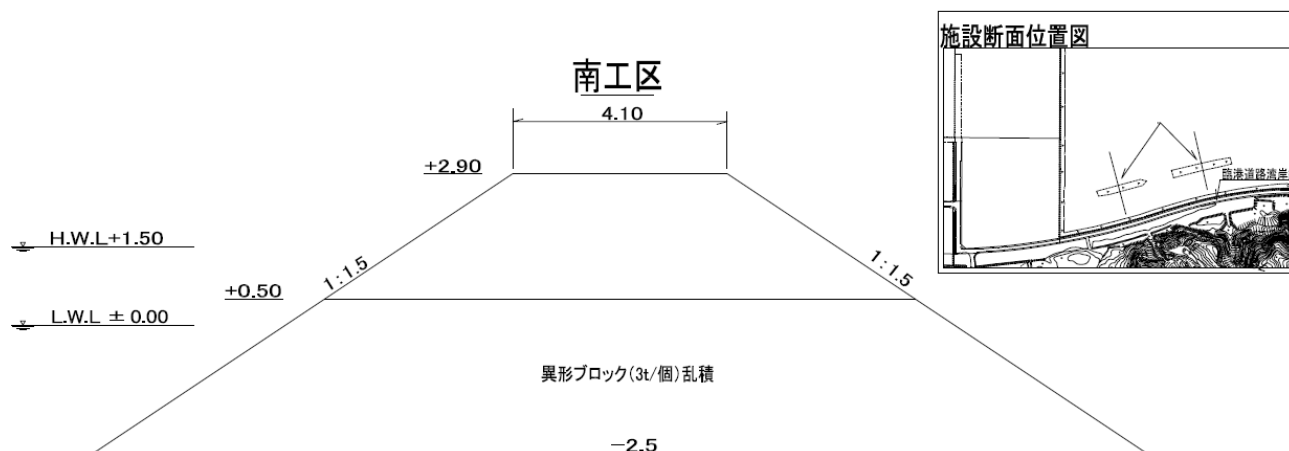


図-A. 4. 192 No. 1 半崎地区_離岸堤断面図（南工区）（被災前）

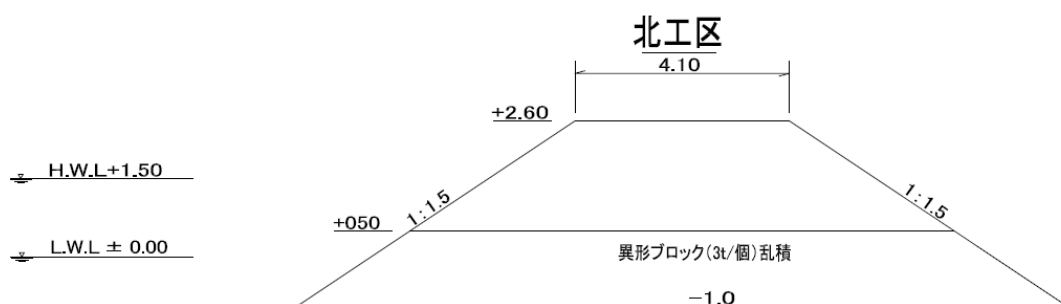


図-A. 4. 193 No. 1 半崎地区_離岸堤断面図（北工区）（被災前）

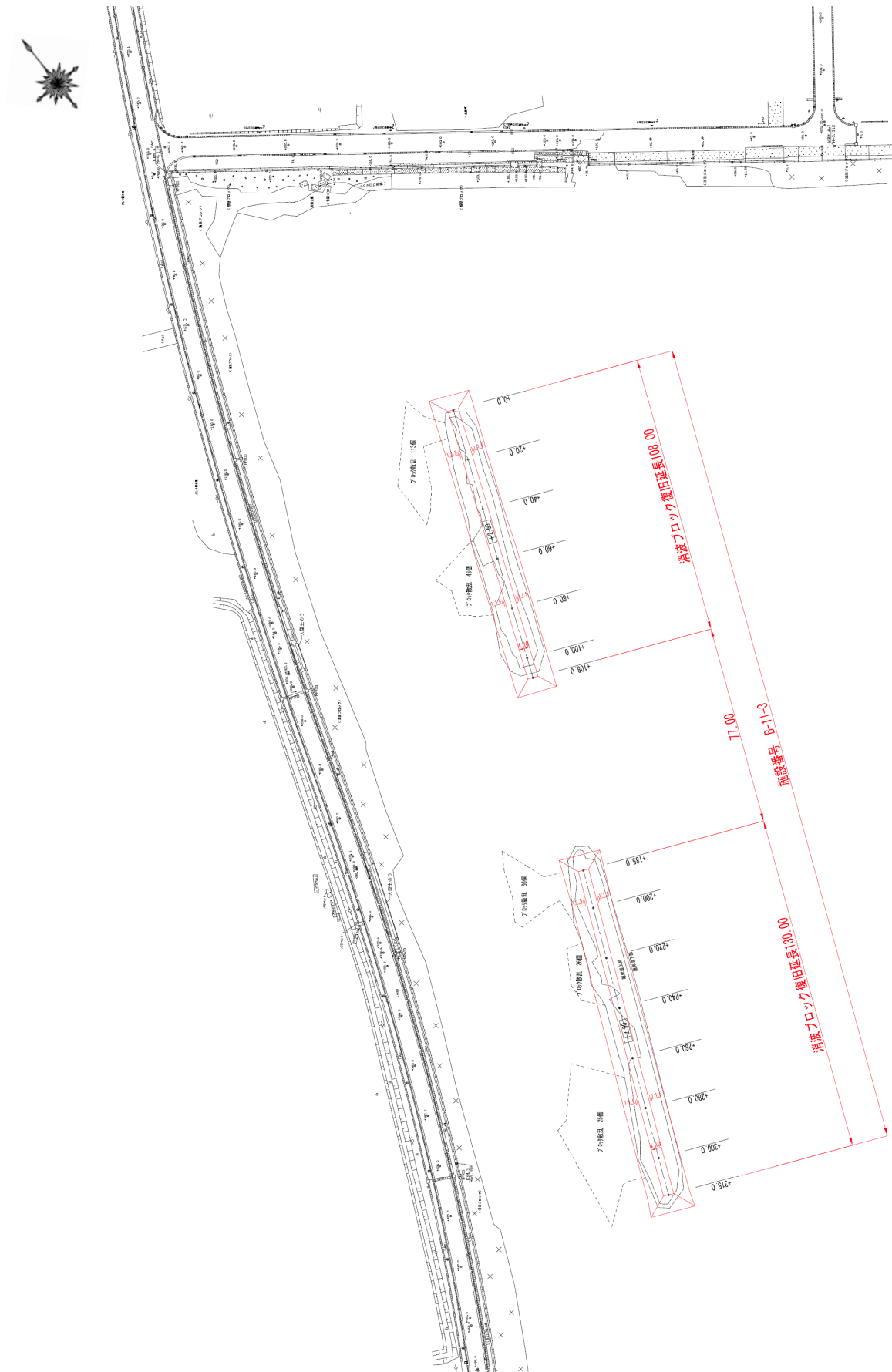


図-A. 4. 194 No. 1 半崎地区_離岸堤平面図 (復旧後)

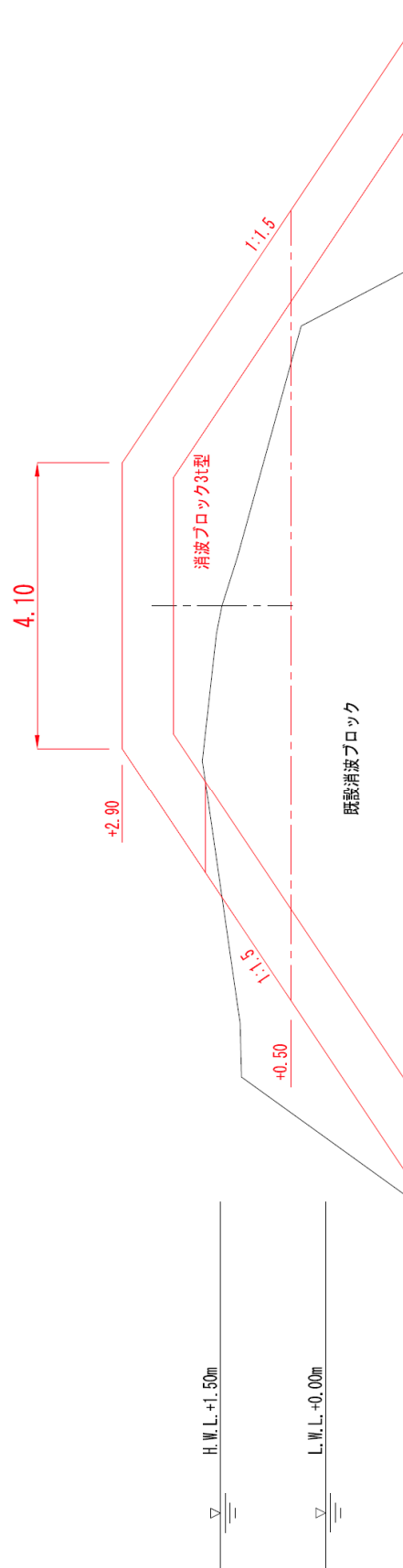


図-A. 4. 196 No. 1 半崎地区_離岸堤断面図 (復旧後)
(平面位置 : 図-A. 4. 197 +260. 0)

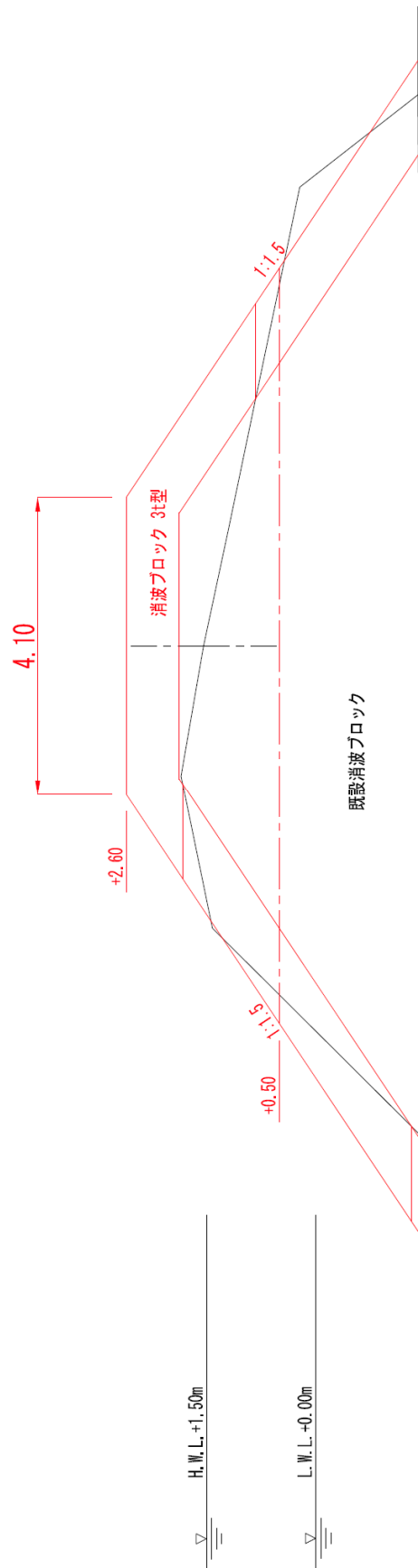


図-A. 4. 198 No. 1 半崎地区_離岸堤断面図 (復旧後)
(平面位置 : 図-A. 4. 199 +60. 0)